

令和7年度 岡崎中央総合公園 事業報告書

公の施設名称	岡崎中央総合公園
施設の設置目的、役割	緑豊かな潤いのある生活環境の形成をはかり、都市の健全な発展と円滑な都市活動を確保し、もって公共福祉の増進に資することを目的とする。
施設の所在地	岡崎市高隆寺町字峠 1 番地
施設規模	敷地面積 111.29ha 建物面積 野球場 11,971 m ² 総合体育館 22,980 m ² 庭球場 372.37 m ² 弓道場 1,947.5 m ² 相撲場 129.96 m ² 運動広場 132.15 m ² アーチェリー場 261.11 m ² 球技場 147 m ²
指定管理者	名 称 一般社団法人 岡崎パブリックサービス 所 在 地 岡崎市朝日町3丁目17番地 代 表 者 代表理事 川久保 貴之
指定期間	令和 7 年 4 月 1 日～令和 10 年 3 月 31 日

1 目次

1	事業の実施状況	4
(1)	岡崎市が開催を要求する事業	4
ア	本施設の特性を活かした家族向け体験型イベント	4
イ	遊休地を活用した取り組み	6
(2)	提案事業	7
ア	新規提案事業	7
イ	その他提案事業	9
(3)	自主事業	46
(4)	事業全体の自己評価	70
(5)	事業全体の総括	72
2	施設の利用状況	74
(1)	利用状況	74
(2)	利用料金収入	75
(3)	利用状況に対する自己評価	76
(4)	利用状況の総括	79
3	収支状況	80
(1)	収支状況	80
(2)	収支状況に対する自己評価	80
4	利用者意見の聴取	82
(1)	利用者アンケート	82
(2)	一般観覧者アンケート	83
(3)	公園利用者アンケート	84
(4)	事業主催者アンケート	85
(5)	未利用者アンケート	86

(6)	市外からの来訪者向けアンケート.....	87
(7)	岡崎市が開催を要求する事業(ファミリーフェスタ)アンケート.....	88
(8)	提案事業(恩賜苑レイクライト&森あそび)アンケート.....	89
(9)	自主事業アンケート.....	90
ア	定例教室.....	90
イ	東レアローズバレーボール教室.....	91
ウ	1日アーチェリー無料体験.....	91
エ	1日弓道無料体験.....	92
(10)	ご意見箱の設置.....	93
ア	実施概要.....	93
イ	結果概要.....	93
(11)	利用者ミーティングの実施.....	94
(12)	利用者意見の聴取に対する総括.....	94
5	その他自己評価.....	95
(1)	利用者サービスに対する自己評価.....	95
(2)	利用者ニーズの把握に対する自己評価.....	98
(3)	苦情対応に対する自己評価.....	100

1 事業の実施状況

(1) 岡崎市が開催を要求する事業

ア 本施設の特性を活かした家族向け体験型イベント

1	事業名	ファミリーフェスタ IN 中総 2025		
	開催日時	5月5日(月祝)	来場者数	9,000人
	開催場所	総合体育館エントランス、武道館、野球場、多目的広場、体育館・野球場第1駐車場・プロムナード周辺		
	実施概要	市民協働、緑化推進、防災性の向上、心身の健康増進、コミュニティ形成、地域活性化を目的として「ファミリーフェスタ IN 中総 2025」を開催しました。総合体育館エントランス、武道館、野球場、多目的広場、駐車場エリアなど広範囲を会場とし、多彩な体験型コンテンツを展開しました。 《武道館》 ・アジア競技大会体験コーナー ・スポーツ体験コーナー ・ちびっこ体力測定 ・パルクール体験 《総合体育館エントランス》 ・モバイルスタンプラリー ・なりきり！アスリートフォトコーナー ・ファミリーフェスタフォトグランプリ ・こいのぼりワークショップ ・キッズプレイランド ・キッズコーナー ・食育コーナー ・OKA SHOP ・しゃぼん玉コーナー ・デコレーションぬりえコーナー ・パフォーマンスコーナー 《プロムナード周辺》 ・花壇づくり体験(あいち森と緑づくり都市緑化推進事業) ・竹灯籠づくり体験(あいち森と緑づくり都市緑化推進事業) ・フラワーアレンジメント講習(あいち森と緑づくり都市緑化推進事業) ・苔玉アレンジ(あいち森とみどりづくり都市緑化推進事業) ・季節の寄せ植え(あいち森と緑づくり都市緑化推進事業) ・フラワーマーケット 《体育館・野球場第1駐車場》 ・ジェイテクト STINGS 愛知 PR コーナー ・警察車両、消防車両、自衛隊車両展示コーナー ・メディカルコーナー		

自 己 評 価		・ボーイスカウト、ガールスカウトによるワークショップコーナー ・サイクリングコーナー ・ドローン操作体験コーナー ・アーケードコーナー ・花火づくり体験コーナー ・ダウンヒルダービーコーナー ・大道芸パフォーマンス 《 野球場・野球場周辺 》 ・わくわくキッズワールド ・キッチンカーグランプリ ・休憩コーナー 《 運動広場 》 ・ニュースポーツに挑戦コーナー ・ボールチャレンジコーナー 《 多目的広場 》 ・ラリーカー試乗体験
		《 参加者の声 》 ・苔玉、寄せ植え、灯籠、すごく良かったです。来年も来ます。 ・フラワーアレンジメントがとても良かったです。 ・来年も是非来たいと思いました。 ・ダンスも盛り上がっていて良かったです。 ・ボッチャがしたかった。モルックのスタッフがとても良かった。 ・とても楽しいイベントでした。今後も実施期待しています。 ・家族で楽しめているイベントです。 ・寄せ植えは前年もその前も定員オーバーでできなくて今年初めてできました。定員を増やしていただけると参加できる人が増えてとても良いです。 ・災害やキャンプに役立つコーナーも欲しいです。 ・ストラックアウトがやりたくて来たが、場所がわかりにくかったので、もう少し看板を増やしてほしい。 ・もう少し小さな子どもが体験できることが多いと良いと思います。
		《 自己評価 》 体育館が改修工事中で会場に制限がある中でも前年度と同程度の約 9,000 人の来場があり多くの方に楽しんでもらえたことは大きな成果となりました。一方で、人気の高いコーナーでは午前中の早い段階で整理券が上限に達するなど、参加希望者が集中する場面も見られ、今後の運営改善のポイントとなりました。また、こどもの日は他イベントとの競合が生じやすいため、独自性を高めていくことも課題として挙げられます。 今回は「冒険(アドベンチャー)」をテーマに統一感のあるイベントづくりを行い、会場全体でテーマ性を感じられる構成とすることができました。得られた効果や課題を踏まえながら、今後も岡崎市及び西三河地域において、スポーツ振興や緑化推進に寄与し、地域の魅力向上に繋がるイベントづくりに取り組んでまいります。

イ 遊休地を活用した取り組み

1	事業名	サバイバルウォーターゲーム ※新規取組		
	開催期間	8月1日(金)～9月30日(火)	貸出数	30組 85個
	開催場所	バーベキュー広場内芝生エリア		
	実施概要	公園内における遊休スペースの有効活用及び新たな利用価値の創出を目的として、「サバイバルウォーターゲーム」を実施しました。 バーベキュー広場内芝生エリアに的台を設置し、水鉄砲でサバイバルゲームを楽しめるエリアとしました。 水鉄砲は無料貸出し、利用ハードルを低減することで新規来園者の獲得及び公園利用の多様化を促進し、遊休地の継続的な利活用モデルとして位置付けました。		
	自己評価	《参加者の声》 ・知らずに来たら無料で遊べる水鉄砲が借りられてラッキーでした。 ・久しぶりに子ども心に戻って楽しめました。 ・水鉄砲で友達に勝てたのが嬉しかった。 ・チーム戦が盛り上がってみんなで楽しめました。 ・子どもが夢中になって遊んでいて、親も一緒に楽しめました。 ・子どもがとても楽しそうに遊んでいて良かったです。 ・夏らしい遊びができて夏休みのいい思い出になりました。 ・的まで用意してあったので、ゲーム感覚で楽しめました。 ・来年も楽しみにしています。 ・子どもが楽しんでいたのは良かったです、場所が少し狭く感じました。		
		《自己評価》 公園内バーベキュー広場に隣接する遊休スペースの有効活用を目的として実施したものであり、既存施設利用者の滞在価値向上及び公園利用の充実化を図る取り組みとして実施しました。 体験型イベント「サバイバルウォーターゲーム」を2か月間実施し、延べ30組85個の利用があり、その多くがバーベキュー広場利用者による利用となりました。バーベキュー利用と遊び体験を組み合わせた利用形態が生まれたことで、施設間の相乗効果が生じ、公園内での滞在時間の延伸及び満足度向上に寄与したものと考えております。 また、運営介入を最小限とした自由利用型の取り組みとして実施したことで、利用者が自主的に楽しむ空間として活用されました。結果として大きな事故やトラブルもなく利用が継続されたことから、当該エリアが既存施設と連動したレクリエーション空間として有効に機能することを確認しました。 以上により、本事業は遊休地の潜在的活用可能性を検証するモデル事業として有効であり、公園空間の新たな利活用手法の確立に資する取り組みであったものと評価しております。 今後は利用実態を踏まえ、広報方法や実施形態の検討を行い、持続的な遊休地活用へ繋げてまいります。		

(2) 提案事業

ア 新規提案事業

公園施設全体を活用した事業(1 事業)

1	事業名	恩賜苑レイクライト&森あそび ※新規取組		
	開催日時	12月6日(土)10時～20時	参加者数	400人
	開催場所	恩賜池・恩賜苑第1駐車場・バーベキュー広場・健康の森		
	実施概要	恩賜池周辺の文化エリアを光で彩るライトアップイベントと、健康の森やバーベキュー広場を活用した自然体験イベントを組み合わせた「恩賜苑レイクライト&森あそび」を、新規取組として初めて開催しました。光の演出と自然体験を融合させ、公園の新たな魅力を創出することを目的とした取り組みです。 《光ゾーン:恩賜苑・恩賜苑第1駐車場》 ・恩賜苑ライトアップ ・竹灯籠モニュメントの設置 ・光の球ワークショップ ・みどりのワークショップ ・竹灯籠づくり体験(あいち森と緑づくり都市緑化推進事業) ・花壇づくり体験(あいち森と緑づくり都市緑化推進事業) ・石の灯籠探し ・水辺の音楽会 ・地元企業のガーデン PR プチコーナー ・キッチンカー、縁日、マルシェ 《森ゾーン:バーベキュー広場・健康の森》 ・アウトドアお菓子作り ・親子で自然観察会 ・健康の森ウォークラリー ・ヤッホーコンテスト		
	自己評価	《参加者の声》 ・竹灯籠づくり、難しかったけど、楽しかったです！ ・貴重な体験でした。 ・初めての体験ができてとても楽しい時間を過ごせました。 ・穴の大きさを揃えて削るのが難しかった ・自然と触れ合える機会が嬉しいです。		

		《自己評価》 この事業は新規取組かつ、初めての夜間までのイベントとして実施しました。「竹灯籠づくり」では持ち帰り用と展示用の 2 つを作っていただき、展示用は恩賜池沿いに並べました。全 4 回行い、整理券が全て配布終了となる盛況をみせました。 「光の球ワークショップ」では、恩賜池に浮かばせる光の球を作成するコーナーを設けました。参加者が各自願い事や好きなイラストを書き込み、完成した光の球は恩賜池に浮かべてもらいました。 また、夜間には恩賜池の傍に設置した竹灯籠のモニュメントとワークショップで作成した竹灯籠を点灯しました。恩賜池をライトアップすることで、当施設の新たな魅力を提供することができました。 さらに点灯した竹灯籠のモニュメント前では、岡崎音楽家協会からフルート奏者 3 名による「水辺の音楽会」を実施しました。モニュメント前に多くの来場者がみえ、盛況をみせました。 バーベキュー広場では「アウトドアお菓子づくり」を実施しました。バーベキュー用の炉でバームクーヘンを調理し、日常生活ではできない体験の場を提供できました。普段イベントが開催されないバーベキュー広場や健康の森でイベントを開催することで、当施設の豊かな自然に触れる機会を提供できました。 総括として、集客予定人数(3,000 人)よりかなり少ない集客となってしまった一方で、アンケート調査では満足度の高い結果を得られました。初開催イベントということもあり、認知度が低いままだったことやイベント内容がわかりづかった点が反省点となりました。また、ライトアップイベント自体が他施設と競合しやすいため、そういった中で独自性を確立し差別化を図ることが今後の課題となります。 今回の開催による課題や効果を踏まえ、来年度はより魅力が伝わりやすい構成や広報方法を工夫し、イベントとしてさらに発展させていきたいと考えています。
--	--	---

イ その他提案事業

業務水準書に基づき提案した事業(105 事業)

地域貢献	1	事業名	ボランティア活動の支援及び推進	
		概要	ボランティア活動の支援や学校の総合学習受入れ、企業の社会貢献活動、福祉施設との連携等、様々な活動を支援しました。	
		実績	5月5日(月・祝) ボランティア	ファミリーフェスタ in 中総にて 岡崎城西高校、人間環境大学岡崎高校、愛産大三河高校、光ヶ丘女子高校各校より総勢91人の生徒に各ブースの運営補助等を行っていただきました。
			9月11日(木)～12日(金) 職場体験	城北中学校 5人 体育館・トレーニング室・庭球場にて、受付業務、機器の点検、使用方法の確認等を体験いただきました。
			10月8日(水)～9日(木) 職場体験	東海中学校 3人 体育館・トレーニング室・庭球場にて、受付業務、機器の点検、使用方法の確認等を体験いただきました。
		自己評価	ファミリーフェスタの開催にあたり、地域ボランティアの受け入れを実施し、イベント運営の実務を通じて安全管理や利用者対応等の現場業務を体験的に学ぶ機会を提供しました。これにより、イベント運営への理解促進とともに、公園運営を身近に感じていただく契機となりました。 また、職場体験の受け入れを行い、公共施設の管理運営に触れる機会を創出することで、施設運営への理解深化及び公共施設に対する関心醸成に寄与しました。これらの取り組みは、地域との関係づくりを深める機会として有効であったものと評価しております。 今後も施設運営に支障のない範囲において、イベント開催時などを中心にボランティア受け入れや体験機会の提供を行い、地域との関わりを継続してまいります。	
	2	事業名	アスリートギャラリーの運営	
		実施期間	通年	
		実施概要	岡崎市ゆかりの現役トップアスリートを紹介しました。来園者に興味深く鑑賞いただく機会を設けることで、地元アスリートの活躍を応援し、スポーツレガシーを伝承していく場として運営しました。	

		自己評価	今年度は、シーホース三河 西田選手のユニフォームを新たに追加展示するとともに、FC マルヤス岡崎のユニフォームを新デザインへ更新し、展示内容の充実を図りました。 これにより来園者への話題性向上に繋がったほか、選手及びチーム関係者にもアスリートギャラリーの存在を認知いただき、地域スポーツの PR 及び情報発信の場としての役割を果たすことができました。 今後も選手・チームとの連携を継続しながら、地域ゆかりのアスリートを身近に感じられる展示運営を行い、地域一体となったスポーツ応援の機運醸成及びスポーツレガシーの継承に努めてまいります。
	3	事業名	地元企業優先の委託先企業の選定
		実施概要	物件費の維持管理・保守点検費については、「岡崎市地元企業優先調達条例」に基づき、地元企業から優先的に調達するよう努めました。 岡崎市内業者契約率 62%
		自己評価	委託業務の発注にあたっては、緊急時における迅速な対応体制の確保及び業務品質の維持向上を重視し、専門的知識と実績を有する地元企業を優先的に選定しました。これにより、突発的な設備不具合等にも速やかに対応できる管理体制を構築するとともに、地域事業者との連携を通じた地域経済の活性化にも寄与しました。 今後も業務内容に応じて専門性・対応力・実績等を総合的に勘案しながら、地元企業との連携を基本とした委託発注を継続し、安全で安定した施設管理体制の維持に努めてまいります。
	4	事業名	地元大学との産学連携
		開催日	6月19日(木)10:00～11:30
		実施概要	愛知学泉大学の協力のもと、加齢に伴う体力低下や疾病・怪我のリスク増加といった課題に対し、地域住民が気軽に相談できる場として「体力測定会&健康相談サポート」を実施。運動と食事の両面から専門的な助言を行うことで、地域住民の健康課題の把握と改善意識の向上を図るとともに、長期的な健康維持・増進を支援しました。

人員体制		自己評価	愛知学泉大学管理栄養学科の学生 10 名と連携して実施しました。体力測定については職員が実施し、学生には測定補助及び栄養指導を担当していただきました。 参加者の普段の食生活や健康に関する悩みを聞き取りながら、摂取カロリーや食事内容に関する具体的なアドバイスを行うことで、運動と栄養の両面から地域住民の健康づくりを支援する機会を提供することができました。 これにより、大学の専門的知見を活かした健康支援を実現するとともに、地域教育機関との連携による公園の社会的価値向上及び地域貢献の推進に繋がったものと評価しております。 今後は、大学との連携を継続しながら、イベント開催時や健康関連事業に合わせた協力体制を検討し、専門性を活かした健康支援機会の充実を図ってまいります。
	5	事業名	岡崎市民病院と連携した健康指導
		開催日	未開催
		実施概要	今年度予定していた「岡崎市民病院との連携による健康指導事業」については、市民病院より感染症予防方針のため協力が難しいという旨の連絡があり、実施できませんでした。
		自己評価	来年度以降、病院側の状況を踏まえ、改めて連携の可否を協議してまいります。
	6	事業名	プレイスマネージャーの配置
		実施概要	プレイスマネージャーが中心となり、「公園の楽しみ方の発信」「安全・安心な使い方の啓蒙」「市民協働の推進」の 3 つの視点から、公園の日常的な利活用を促進しました。 《具体的な取組》 公園の楽しみ方の発信: 星空ガイド、ウォーキング・ランニングマップ、花暦リーフレット、子ども向けマップ、テント等の貸し出し 安全・安心な使い方の啓蒙: 公園マナーの啓発、リスクの管理とハザードの除去、公園利用調整 市民協働の推進: みつばちプロジェクト、自然観察の里調査・再生プロジェクト
		自己評価	実施概要で示した取り組みは、計画的に実施できました。 なかでも、星空ガイド、ウォーキング・ランニングマップ、子ども向けマップ、テント等の貸し出しについては、新規の取り組みとしての実施となりました。 夜の星空を楽しまれる方、健康増進のために利用される方、親子で公園散策を楽しまれる方など個人利用の方をはじめ、市民協働により公園の豊かな自然環境保全について、市民と協力して取り組むことができました。 今後も、当施設の魅力を向上させるためプレイスマネージャーが横断的に関わることで、円滑な施設運営を実施してまいります。
	7	事業名	各種研修の実施
		実施概要	公園管理運営に必要な様々な資格取得及び研修に参加し、職員のスキル及び意識向上に努めました。

		自己評価	公園管理に必要な各種研修へ積極的に参加し、職員の知識・技術向上及び安全意識の強化を図りました。 特に今年度は、公園管理運営士認定試験に 4 名が合格し、公園マネジメントに関する専門的知見の組織内蓄積に繋がりました。 《主な取得資格及び研修》 ・公園管理運営士取得 4 名 ・2 級造園技能士取得 1 名 ・刈払機取扱作業安全者安全教育(10/24、12/3) ・新伐木作業(チェーンソー)特別教育(10/20～22、2/9～11) ・危険予知(KYT)1 日研修会(11/5) ・都市公園法講習会(12/12) ・労働安全衛生法基礎講座(1/27) 他 今後は、研修や資格取得により得た知識・技能を日常業務へ還元するとともに、職員間での情報共有や OJT を通じた技術継承を進め、組織全体の管理運営能力及び安全管理水準のさらなる向上に努めてまいります。
	8	事業名	公園統括管理責任者による個人面談の実施
		実施日	9 月、3 月
		実施概要	公園統括管理責任者が職員一人一人と個人面談を実施し、業務上の課題や職場環境に関する意見、日常業務における悩み等を把握する機会を設けました。面談を通じて職員とのコミュニケーションを深め、情報共有及び業務改善に繋げるとともに、安心して働ける職場環境の維持を目的として実施しました。
		自己評価	職員一人一人との対話から個人の抱える見えない問題などを把握し、適切なフォローを実施することで、職員のスキルアップや業務改善に繋げることができました。 今後も、円滑な業務遂行を図るためにも、職員のケアに十分留意してまいります。
	9	事業名	専門性の高い職員の配置
		実施概要	10 年以上の野球場管理経験者及び芝草管理技術者、スポーツターフ管理者養成講習会を受講した職員を配置しました。

		自 己 評 価	10 年以上の野球場管理経験者 1 名、芝草管理技術者 1 名、造園施工管理技士 1 名、第 3 種電気主任技術者 1 名をはじめ、専門性の高い知識・技能を有する職員を配置し、施設特性に応じた適切な維持管理を行うことで、安全・安心な施設運営に努めました。 今後は、専門職員の知識や経験を組織内で共有し、日常点検や維持管理業務における対応力向上を図るとともに、若手職員への技術継承を進めることで、安定した管理体制の維持とさらなるサービス品質の向上に努めてまいります。
危機管理体制	10	事 業 名	防災担当者の見える化
		実 施 概 要	ホワイトボードに防火管理者・通報連絡班・消火班・避難誘導班・救護班・警備班を掲示し、当日の防災担当者を見える化しました。
		自 己 評 価	当日の出勤状況に合わせ、出勤者の防災担当をホワイトボードへ記載する運用を継続して実施しました。これにより、非常時における役割分担を職員全員が即時に確認できる体制を維持し、災害対応への意識共有と初動対応力の向上を図りました。 今後も本運用を継続しながら、日常的な確認や訓練時の活用を通じて運用の定着を図り、状況に応じて内容を見直すことで、実効性の高い防災体制の維持・向上に努めてまいります。
	11	事 業 名	災害に備えた訓練の実施
		実 施 日 時	6 月 30 日(月)、9 月 3 日(水)、2 月 16 日(月)、3 月 6 日(金)
		実 施 場 所	体育館、野球場
		実 施 概 要	災害時に職員が迅速・的確に対応できるよう、参集ルート確認や施設・ライフライン点検を行い、安全確保と火災対応能力の向上を図りました。
		自 己 評 価	今回の訓練を通じて、災害時の基本的な行動手順を実体験し、現場での動き方を具体的に理解することができました。事前の経験が重要であることを再認識でき、有意義な訓練となりました。 今後も継続的な訓練により、災害時に落ち着いて対応できる体制を強化してまいります。
	12	事 業 名	災害用トイレ、災害用水道蛇口の設置訓練の実施
		実 施 日 時	2 月 16 日(月)
		実 施 場 所	体育館、駐車場
		実 施 概 要	災害時にスムーズに避難所が開設できるようにするため設置訓練を実施しました。
		自 己 評 価	災害用トイレ及び災害用水道蛇口の設置訓練を実施し、実際の災害時を想定した設営手順の確認と、必要資機材の把握を行うことができました。参加者が実際に設置作業を体験することで、初動対応における実務的な理解が深まり、災害時の対応力向上に繋がりました。 今後は、継続的な訓練実施により職員間での知識・技術の共有を図るとともに、設営手順の見直しや資機材管理の精度向上を進め、より迅速かつ確実に対応できる防災体制の維持・強化に努めてまいります。

	13	事業名	市内の幼稚園・保育園との協力による有人での避難訓練 ※新規取組
		開催日時	7月3日(木)
		実施場所	武道館
		実施概要	めぐみ幼稚園協力のもと、最大震度5強程度の地震が発生したと想定し、発生直後の利用者自身の安全確保及び避難経路を確認しました。
		自己評価	めぐみ幼稚園と連携した有人での避難訓練として、安全かつ円滑に避難を完了することができました。避難誘導についても大きな混乱はなく、職員間の連携も一定の成果が見られました。一方で情報伝達や非常時での扉の開錠方法に時間を要したため、情報共有に課題を感じました。 今後は、今回得られた課題を改善することで、実際の有事に円滑な避難誘導ができるよう取り組んでまいります。
	14	事業名	愛知・名古屋 2026 大会を見据えた障がい者や外国人を想定した避難訓練 ※新規取組①
		開催日時	2月16日(月)9:00～10:00
		実施場所	体育館
		実施概要	全国または海外から多くの来場者が予想される大会では、様々な属性の方が想定されるため、特に障がい者、外国人といった特別なケアが必要な方に適切な対応が図れるよう訓練しました。
		自己評価	多言語拡声器や誘導棒の活用により一定の効果は確認できましたが、放送の聞き取りづらさがあるなど課題が残りました。また、視覚的誘導についてもさらなる工夫が必要であり、掲示物やピクトグラムの併用が求められます。 今後は、大会組織委員会との調整を図りながら、職員間の役割分担の明確化と訓練の継続実施により、より円滑で確実な避難誘導体制の構築を図ります。
	15	事業名	災害に備えた整備(備品)
		実施概要	大規模災害に備え、公的な配給に頼らずとも避難所開設や支援活動できるように食料、飲料水、トイレパック等について、職員13名3日分を備蓄しました。
		自己評価	大規模災害時における避難所開設支援活動に備え、職員13名3日分に相当する計39セットの食料及び飲料水等を備蓄するとともに、災害救援型自動販売機の運用を継続しました。また、賞味期限が近づいた備蓄品について計画的な入替作業を実施し、常に実効性のある備蓄体制の維持に努めました。 [購入した備品] ・長期保存水(20) 6本 今後は、備蓄品の定期的な点検・更新を継続するとともに、災害時に迅速な活用ができるよう保管場所や配布手順の確認を行い、実際の避難所運営を想定した防災体制のさらなる強化を図ってまいります。
	16	事業名	災害に備えた整備(設備)
		実施概要	避難所開設や災害救助活動場所として運用された時に断水していても飲料

			水が確保できるよう飲料水タンクを維持するとともに、災害救援型自動販売機を設置しました。
		自 己 評 価	避難所開設時における飲料水確保に備え、ポリタンクの配備及び保管状況の確認など、例年に引き続き適切な維持管理を実施しました。また、災害救援型自動販売機についても平常時からの管理を継続し、断水時においても速やかに飲料水を提供できる体制を確保しました。 今後は、設備の定期点検及び使用手順の確認を継続するとともに、実際の避難所運営を想定した運用確認を行うことで、災害発生時に確実に機能する設備管理体制の維持・向上に努めてまいります。
	17	事 業 名	多言語拡声器の活用
		実 施 概 要	災害時に外国人に対しても避難誘導が行えるように整備しました。
		自 己 評 価	多言語拡声器を配備し、外国人利用者を含めた多様な来園者に対して避難情報を伝達できる体制を整備しました。実際の運用を通じて、施設環境や利用状況に応じた活用方法の確認を行い、災害時における情報伝達手段の一つとして活用可能な状態を維持しています。 今後は、他の情報伝達手段との併用も含め、公園の実情に即した効果的な運用方法を検討しながら、多様な利用者に配慮した防災体制の充実を図ってまいります。
	18	事 業 名	公園内ハザードマップの作成
		実 施 概 要	公園内の危険箇所がわかるようなハザードマップをホームページに掲載しました。
		自 己 評 価	公園利用者の安全意識向上を図るため、ハザードマップをホームページに掲載し、必要な情報を事前に確認できる環境を整備しています。公園内の注意喚起に向けた情報提供については、現状として適切に実施できているものと考えています。 今後も、災害時に来園者が速やかに必要な情報へアクセスできる状態を維持するとともに、関係機関からの情報発信と連動しながら、安全・安心な公園利用環境の確保に努めてまいります。
	19	事 業 名	救命講習修了した職員・従業員の配置
		実 施 概 要	全ての正規職員に上級救命講習を受講させました。
		自 己 評 価	今年度において、未受講職員 3 名に上級救命講習を受講させました。 万一の際に適切な対応が図れるよう、来年度以降も継続して実施してまいります。
	20	事 業 名	AED 講習の実施
		実 施 日 時	9 月 10 日(水)
		実 施 場 所	総合体育館事務所内応接室
		実 施 概 要	パート職員及び常駐する正規職員には当法人内の応急手当普及員が普通救命講習を実施しました。

		自己評価	全職員の応急処置技能の維持と向上を目的として、消防署より器材を借用し、応急手当普及員(職員)による AED 講習を実施しました。職員自らが講師となることで、実務に即した内容で知識と技能の再確認を行うことができ、緊急時における初動対応力の維持・向上に繋がりました。 今後も、日常業務の中で継続的に技能確認を行いながら、職員間で知識を共有する体制を維持し、来園者の安全確保に迅速に対応できる組織体制の維持に努めてまいります。
	21	事業名	来園者が安全かつ快適に利用するための備品の設置
		実施概要	AED、熱中症指標の掲示・熱中症計の設置、ミストシャワー、雷警報器、アイシング用・熱中症用の冷凍庫、ファールボールなどの注意喚起ができる屋外スピーカーを設置しました。
		自己評価	利用者に対して視覚的・聴覚的の両面から注意喚起が可能となり、熱中症や落雷等のリスクに対する意識向上が図られました。特に、熱中症対策においては、暑さ指数の見える化と冷却設備の整備により、予防と応急対応の両面で効果が認められました。加えて、屋外スピーカーによる注意喚起は広範囲に情報を伝達でき、安全管理の向上に寄与しました。 今後も、気象状況に応じた情報提供を継続し、既存設備を効果的に活用しながら、利用者が自ら危険を回避できる環境づくりを維持することで、安全・安心な公園利用の確保に努めてまいります。
	22	事業名	休業日設定の変更
		実施概要	条例の規定では、当施設の休業日を「月曜日(国民の祝日に関する法律に既定する休日に該当する場合は、その翌日以降の最初の休日でない日)」と定めていますが、当法人の提案により、祝日の月曜日を営業した場合の翌日以降の振替休業日を設けず営業しました。
		自己評価	月曜日が祝日の場合、振替休業日がわかりづらいとの意見や火曜日が振替休業日となった場合に岡崎市体育館の休業日が重なり、市民のスポーツ活動が制限されるのを避けるため、月曜日が祝日の場合の振替休業日を設けず、営業しました。 今後も、利用者の利便性向上及び地域におけるスポーツ活動機会の確保の観点から、周辺公共施設の休館状況や利用実態を踏まえた柔軟な休業日運用を継続してまいります。また、利用者へのわかりやすい案内に努めながら、安定した施設運営とサービス水準の維持に取り組んでまいります。
スポーツ施設運営	23	事業名	利用キャンセル時の情報提供
		実施概要	大会キャンセル等で施設に空きが出た時、随時ホームページに掲載するとともに利用団体へ情報提供を行いました。
		自己評価	今年度も遅滞なく情報提供を実施するとともに、キャンセル申出からホームページ掲載までのタイムラグについても、迅速な対応により短縮を図り、稼働率向上に努めました。

			・体育館 24 件(キャンセル件数 36 件) ・武道館 23 件(キャンセル件数 41 件) 今後も、利用キャンセル情報の迅速な共有を継続し、空き施設情報をわかりやすく提供することで、施設の有効活用及び利用機会の拡大に努めてまいります。また、既存の情報発信手法を活用しながら、利用者が円滑に予約機会を得られる環境の維持に取り組んでまいります。
24	事業名	愛知・名古屋 2026 大会関連特設コーナーの設置 ※新規取組②	
	設置期間	2 月 24 日(火)～	
	実施概要	総合体育館エントランスに特設コーナーを設置しました。 愛知・名古屋 2026 大会の競技や選手紹介のパネル等をレイアウトし、大会 PR を行いました。	
	自己評価	岡崎市に協力を仰ぎ、各競技の紹介パネルやフラッグを設置しました。多くの来場者がある大会やイベント時にも効果的な PR を行うことができ、大会開催に向けた機運醸成及び周知啓発に貢献しました。 今後も、行政及び関係団体と連携しながら、愛知・名古屋 2026 大会への関心向上と地域全体で大会を盛り上げる環境づくりに努めてまいります。	
25	事業名	愛知・名古屋 2026 大会関連多目的広場をはじめ施設の有効活用	
	実施概要	多目的広場については良質な芝生を活用できるラグビーをはじめ、新たな競技の誘致を積極的に行いました。	
	自己評価	改修工事により新しくなった良質な芝生を活かし、ラグビーをはじめとした競技の誘致に積極的取り組み、フライングディスクの合宿利用など施設の新たな活用の可能性を広げることができました。 ・中京大中京フライングディスク合宿 4 件 ・人間環境大学附属岡崎高校 陸上競技 4 件 今後も更なる競技の誘致により、利用の幅の拡大と稼働率向上に努めてまいります。	
26	事業名	個人や少人数での利用促進	
	実施開始日	7 月 22 日(火)	
	対象施設	体育館・武道館	
	実施概要	体育館で従来行っていた部分貸しを 1/12 面(バドミントンコート 1 面分相当)まで細分化し、少人数での利用を促進しました。またボールやラケットに加え、ピックルボールやボッチャ等のニュースポーツの器具などの無料貸出を行うことで、ニュースポーツを知るきっかけづくりにも繋げました。	
	自己評価	体育館・武道館においてバドミントンコート 1 面分相当の部分貸し区分を導入しました。導入後は合計 9 件の利用がありました。 現状はその大半がバドミントンにおける利用となっているため、今後は卓球や簡易的なダンスの練習などの利用など、幅広い使用方法があることを周知し、利用促進に繋げてまいります。	
27	事業名	企業を対象とした利用促進	
	配布日	6 月 14 日(土)、8 月 9 日(土)、10 月 30 日(木)	
	実施概要	愛知県内に所在する従業員 500 名以上の企業 23 社に社内スポーツ大会な	

		どの活用例を記した施設利用案内チラシを配布しました。		
	自 己 評 価	企業利用の促進を目的として、年間 3 回チラシ配布を実施し、施設利用の周知に努め、結果配布した 23 社中 3 社に利用いただきました。来年度はチラシ内容を見直し、新料金体系の案内を含めた情報発信を行うことで、新規利用者の獲得及び利用拡大に繋げてまいります。 今後は、既存の広報手法を活用しながら、企業ニーズを踏まえた利用提案を行うことで、平日利用の活性化及び施設の有効活用を図り、安定した利用環境の確保に努めてまいります。		
28	事 業 名	障がい者スポーツの普及促進		
	実 施 概 要	障がいがある人でも安心してスポーツを楽しめるように初級パラスポーツ指導員を配置しました。また、施設利用者へ向けてレクリエーションボッチャの無料貸し出しを始めました。		
	自 己 評 価	初級パラスポーツ指導員の資格を有する職員を配置し、岡崎市が主催するパラスポーツ連絡協議会へ参加することで、市内団体・事業所等と連携を図りながら、障がい者スポーツの普及促進に取り組みました。関係機関との情報共有を通じ、地域における受入体制づくり及び理解促進に寄与することができました。 今後も、関係団体との連携を継続しながら、施設特性を活かした利用環境の整備及び情報共有を進め、誰もがスポーツに親しめる公園運営の推進に努めてまいります。		
29	事 業 名	多目的練習室で卓球利用 ※新規取組③		
	事 業 開 始 日	7 月 22 日 (火)	利用件数	25 件
	実 施 概 要	利用種目の拡充による新規利用者の獲得と利用の促進を目的に、多目的練習室で「卓球」の利用を可能にしました。		
	自 己 評 価	新規取組として実施しました。1 か月あたり 3 回ほどの頻度で利用があり、概ね良好な利用状況であったといえ、卓球を気軽に楽しんでいただけるよい取り組みであったと自負しています。 今後もコンスタントに PR することで、利用促進を図ってまいります。		
30	事 業 名	東海オンエア直筆サイン入り卓球台の貸し出し		
	事 業 開 始 日	通年	利用件数	3 件
	実 施 概 要	若い世代に人気が高い YouTuber 東海オンエアの公式 YouTube 内で使用された直筆サイン入り卓球台の貸出を積極的に実施しました。		
	自 己 評 価	卓球の個人利用者に対し積極的な案内を実施し、備品の活用促進に努めました。一方で、展示物として認識されるケースも多く、利用可能な備品であることの認知向上及び利用に繋げる運用方法の整理が課題として明らかになりました。今後は案内方法や設置環境の工夫を図り、利用しやすい環境づくりを進めることで、さらなる利用増加を目指してまいります。 引き続き、話題性を活かした利用促進に取り組むとともに、施設の魅力向上及び利用者満足度の向上に繋がる運用改善を継続してまいります。		
31	事 業 名	野球場キャンプ地としての誘致		
	利 用 実 績	2 月 3 日 (火)～2 月 7 日 (土)		

		実 施 概 要	社会人野球チームのキャンプ利用に対応できる施設として、受入環境の調整及び利用支援を行い、三菱自動車岡崎硬式野球部のキャンプ地として野球場を提供しました。改修工事期間中であったため、工程との調整や安全管理を行い、円滑な利用環境の確保に努めました。
		自 己 評 価	改修工事が行われている中での実施となりましたが、関係者との綿密な調整により支障なく利用を受け入れることができました。継続的な競技利用に対応することで、施設の活用促進及び運営実績の蓄積に繋がりました。 今後も高水準の利用環境を維持し、キャンプや強化練習等の受入に柔軟に対応できる体制を整えることで、安定的な競技利用の確保と野球場の活用促進を図ってまいります。
	32	事 業 名	高校野球・社会人野球の予備日空き情報開示
		実 施 概 要	高校野球や社会人野球の予備日などで利用されない日には、空き情報をホームページで案内する他、利用実績のある団体に案内しました。
		自 己 評 価	ホームページにおいて野球場の予備日を含めた空き状況を随時更新し、利用可能日程の情報提供を行いました。高校野球連盟を通じた練習試合の誘致を行ったほか、三菱自動車岡崎硬式野球部やドラゴンズベースボールアカデミーの練習会場として予備日が有効活用され、施設の稼働機会の創出及び利用促進に繋がりました。 今後も、空き情報の積極的な公開を継続し、競技団体との連携を図りながら、未利用時間帯の有効活用による施設稼働率の向上に努めてまいります。
	33	事 業 名	野球場での結婚式の前撮りを誘致 ※新規取組④
		実 施 概 要	空きのある平日の有効利用をするため結婚式の前撮りを誘致活動を実施しました。
		自 己 評 価	新たな施設活用の可能性創出を目的として、野球場における結婚式前撮り利用の誘致に取り組みました。専用チラシを作成しホームページへ掲載するとともに、岡崎市内の結婚式場 4 社(グランシエル岡崎、アンティアコート岡崎、サンフィレール岡崎、ブルーブラン)へ配布を行い、民間事業者との連携による利用促進を図りました。 今年度は実際の利用には至らなかったものの、施設の新たな魅力発信及び利用用途拡大に向けた基盤整備を進めることができました。野球場という特徴的なロケーションへの関心も確認できており、新規利用創出に向けた第一歩となったものと評価しております。 今後は、引き続き結婚式場等との情報共有を行いながら PR を継続し、施設特性を活かした多様な利用提案を進めることで、スポーツ利用に加えた新たな需要の創出及び施設価値の向上に繋げてまいります。
	34	事 業 名	トレーニング室利用者のための月極ロッカー設置 ※新規取組⑤
		供 用 開 始 日	3 月 10 日 (火) ～

		実 施 概 要	トレーニング利用者専用の月極ロッカーを設置しました。利用者が個人用ロッカーを継続的に確保できる仕組みとし、トレーニング用品・シューズ等の保管を可能とすることで、来館頻度の高い利用者の負担軽減を図りました。ロッカーは既存スペースを活用して設置し、管理は受付にて契約・更新・鍵の貸与等を行う仕組みとしました。		
		自 己 評 価	トレーニング室において利用者の利便性向上を目的に月極ロッカーを設置しました。事前周知が十分でなかったことに加え、年度末に設置したことで契約には至りませんでした。 今後は利用ニーズの再確認と周知方法の改善を図り、必要に応じて運用内容の見直しを検討してまいります。		
	35	事 業 名	トレーニング室の説明動画の配信		
		実 施 概 要	トレーニング室を利用するまでの流れを説明した動画を YouTube で配信し、利用されたことのない人に施設の PR することで利用促進を図りました。		
		自 己 評 価	今年度は券売機の更新に伴い、設置場所の案内及び購入方法に関する説明動画を追加し、利用者が円滑に施設を利用できるよう情報提供の充実を図りました。また、来年度からの料金改定に関する案内も動画内に組み込み、事前周知の強化に努めました。 今後も、利用者が来館前に必要な情報を確認できる環境を維持するとともに、既存動画を活用したわかりやすい情報発信を継続し、受付対応の効率化及び利用者サービス向上に努めてまいります。		
	36	事 業 名	トレーニング室で定期的にミニレッスンを開催		
		開 催 日 時	毎月 1 回 土曜 18:30～ ※月によって変動あり	参加者数	総計 56 人
		実 施 概 要	利用者の運動習慣の定着及びトレーニング技術の向上を目的として、トレーニング室内にて月 1 回のミニレッスンを定期開催しました。短時間で参加しやすい形式とし、ストレッチポール等を用いた基本的なエクササイズやフォーム指導を行うことで、初心者を含む幅広い利用者の運動理解を促進に努めました。		
		自 己 評 価	ミニレッスンは毎回平均 2 名の参加があり、継続的な利用者の確保に繋がっています。特にダンベルトレーニングの人气が高く、基礎的なトレーニング指導への需要が確認できました。 今後は他のレッスン内容も試行し、利用者ニーズの把握とプログラムの拡充を図ります。		
	37	事 業 名	トレーニング室利用者へ個別メニューの提供サービス		
		実 施 期 間	通年		
		実 施 概 要	トレーニング室利用者に対して 3 種類の個別メニューが記載された用紙を配布しました。		
		自 己 評 価	トレーニング室利用者に対し、目的別を選ぶ 3 種類の個別メニューを配布し、初心者でも取り組みやすい環境づくりを進めることができました。利用者からは「何をすればよいかわかりやすい」といった声もあり、運動内容の選択に迷う層への一定の支援効果が確認できました。一方で、配布のみでは活		

		用が定着しにくい場面も見られたため、掲示物や動画との連携など、より目に触れやすい周知方法の工夫が必要であると考えます。 今後は利用者の反応を踏まえ、内容の改善や説明機会の拡充を図り、継続的な利用促進に繋げてまいります。
38	事業名	庭球場稼働率向上のための注意案内チラシの配布
	実施期間	通年
	実施概要	利用直前のキャンセルを減らし稼働率を向上させるため、利用者登録時に配布する予約マニュアルへ注意喚起チラシの挿し込みを継続実施しました。 また、直前キャンセルに関する他の利用者からの意見を踏まえ、新たな取り組みとして年度後半より、1日5面以上の予約者に対し事前連絡を行い、利用状況に変更が生じた場合は早期調整への協力を依頼する運用を開始しました。
	自己評価	利用直前のキャンセルに関する意見への対応として、従来の注意喚起に加え、年度途中から事前連絡による運用改善を実施しました。 新たな取り組みとして利用者への直接的な働きかけを行ったことで、利用調整を促す体制を構築し、公平な利用環境確保に向けた具体的な改善を図ることができました。導入時期が年度後半であったため効果検証は継続中ではあるものの、運営改善に向けた第一歩として位置付けています。 今後は、今年度導入した事前連絡の運用を継続しながら利用状況の推移を検証し、対象条件や連絡方法の見直しを行うことで、直前キャンセルの抑制と施設稼働率のさらなる向上を図ります。また、利用者への継続的な周知を通じて、相互に配慮した予約利用の定着を目指してまいります。
39	事業名	屋外施設の利用時間延長
	実施期間	10月1日(水)～3月31日(火)
	実施概要	野球場・庭球場・運動広場・多目的広場・球技場について、条例上夜間の利用時間が無い10月～3月について、利用者の利便性を高めるため、当法人の提案により利用時間帯を延長しました。 さらに、冬季制限中の早朝単位について、公式の大会に限り希望があれば開放しました。
	自己評価	前年度に引き続き、該当期間における利用時間の延長を実施し、冬季期間においても利用機会の確保を図りました。条例上夜間利用が設定されていない期間においても、利用者ニーズに応じた柔軟な運営を行うことで、施設の有効活用及び利便性向上に寄与しました。 [利用実績] 野球場 改修工事 庭球場 2,453 件 運動広場 136 件 多目的広場 54 件 球技場 49 件 今後も、利用状況及び季節的な需要を踏まえながら、施設特性に応じた弾力的な運用を継続し、利用機会の拡大と安定した施設運営の両立に努めて

			まいります。
公園運営	40	事業名	イベント・フェスの誘致
		実施概要	当初計画に基づき、キッチンカーフェスや大道芸フェス、ドローンショー等の新規イベント誘致に向けた検討を進めました。その中で、今年度はジェイテクト STINGS 愛知のファン感謝祭について誘致活動を行い、開催に向けた調整を実施しました。
		自己評価	今年度は、来年度の開催に向けたイベント誘致活動を進め、その成果としてジェイテクト STINGS 愛知のファンフェスティバルの誘致に成功しました。これにより、当公園の特性に適したイベントの方向性がより明確になり、地域団体との連携強化にも繋がったと評価しております。 当初は複数のイベント誘致を視野に入れて検討を進めておりましたが、実際の主催者との協議や開催条件の確認を通じて、当公園の環境や利用状況に適合するイベントの選定が重要であることが再認識されました。その結果、今年度はジェイテクト STINGS 愛知のファン感謝祭を中心に誘致活動を展開する形となりました。 今後は、誘致したイベントが継続的に開催されるよう主催者との調整を進めるとともに、当施設に適した新規イベントの誘致にも引き続き取り組み、地域の賑わい創出と交流促進に寄与してまいります。
	41	事業名	星空ガイドの作成 ※新規取組⑥
		配布開始日	2月18日(水)
		実施概要	周りに明かりが少なく星が良く見える当公園の新たな魅力発信を目的に、専門家と協力し、当公園で20時頃に見られる星空のガイドを作成しました。
		自己評価	市民活動団体「岡崎星と遊ぶ会」と連携し、公園の新たな魅力創出を目的として星空ガイドを新規作成しました。園内での配布を通じ、昼間利用が中心であった公園において夜間の自然環境へ目を向けるきっかけづくりを行い、公園資源の新たな活用提案に繋げることができました。 本事業は、公園が持つ環境特性を活かした新しい利用価値の提示であり、公園利用の多様化及び魅力向上に寄与する新規事業として評価できるものと考えています。 今後は、作成した星空ガイドを基盤として季節ごとの星空情報の充実を図り、継続的に活用していくことで、公園の新たな魅力として定着を目指します。
	42	事業名	ウォーキング・ランニングマップの作成 ※新規取組⑦
		配布開始日	8月5日(火)
		実施概要	ウォーキング・ランニング利用者向けの園内コースマップを作成し、公園の利用促進を図りました。短距離、長距離、健康の森を活用したトレランコースなど、複数のコースを用意することで、目的に応じた利用を可能としました。
		自己評価	看板として掲示していたウォーキング・ランニングマップについて、新たに紙面配布を開始し、利用者が園内コースを把握しやすい環境整備を行いました。配布開始直後であり、現時点では利用者への認知が十分に進んでいる状況には至っていませんが、公園利用の多様化に向けた基盤整備として取り組むことができました。

			今後は配布場所や周知方法の見直し、ホームページ・SNS 等での情報発信との連動を図ることで認知向上に努めるとともに、利用状況を踏まえたコース内容の更新を行い、ウォーキング・ランニング利用の定着及び公園の回遊性向上に繋げてまいります。
43	事業名	花暦リーフレットの活用	
	実施概要	園内に生育する多様な草花・樹木の見頃を紹介した既存の花暦リーフレットについて、四季を通じた公園の魅力発信を目的として内容を整理し、ホームページへ掲載しました。 来園前に季節ごとの見どころを確認できる環境を整備することで、散策利用や自然観察を目的とした来園促進を図りました。	
	自己評価	既存の花暦リーフレットについて、四季全ての情報をホームページへ掲載し、年間を通じて園内の見どころを確認できる情報発信を行いました。 来園前に開花状況や季節の魅力を把握できる環境を整えることで、散策や自然観察を目的とした利用のきっかけづくりに寄与しました。既存資源を有効活用した情報提供として、安定した魅力発信を継続できたものと評価しています。 今後も既存リーフレットを活用した情報提供を継続し、来園時期の参考となる基礎情報として定着を図ることで、公園利用の促進及び満足度向上に繋げてまいります。	
44	事業名	安全安心な使い方の啓蒙	
	実施概要	ペットの散歩マナー啓発や自転車の練習の制限など誰もが安心して公園を利用できるよう啓発活動を実施しました。 子どもの発育には危険を伴う遊びが必要であることから、むやみに規制をせずリスク管理を行うとともに、遊具の不具合といったハザードを除去しました。 また、多目的広場の遊具利用者とグラウンド利用者間などの利用調整を行いました。	
	自己評価	マナー啓発と現地での声かけを組み合わせることで、利用者の理解促進に一定の効果が認められました。 また、子どもの遊びについては安全性を確保しつつ、発育機会の確保に配慮した運営ができたと思います。 一方で、利用者の価値観の違いによる意見の相違や、ルール認知不足によるトラブルが一部見られるなどから、双方の意見を踏まえながら利用調整を行い、改善に向けて取り組んでまいります。	
45	事業名	情報看板の設置 ※新規取組⑧	
	設置日	3月20日(金祝)	
	設置場所	健康の森内2ヶ所(夕日の小道、水辺の小道)	
	実施概要	自然についての豆知識や知っていると楽しくなる情報を掲載した看板を、散策路に新たに設置しました。	

		自 己 評 価	「セミはどんな木がすきなの?」と「ソメイヨシノとヤマザクラの違いは?」の2種類の情報看板を設置しました。 それぞれ看板内容と関連がある場所に設置をし、健康の森の散策を楽しめるように工夫しました。 今後は、散策者の反応などを考慮しつつ、情報の更新や看板の増設などを検討し、健康の森の魅力発信の一助となるよう活用してまいります。
	46	事 業 名	子ども向けマップの作成(健康の森) ※新規取組⑨
		配 布 開 始 日	3 月 1 日(日)
		実 施 概 要	散策路周辺で見られる木の実などを掲載し、子どもが楽しく学びながら散策できるようなマップを新たに作成・配布しました。
		自 己 評 価	小さい子どもでも散策しやすいバーベキュー広場を中心とした木の実マップを作成し、バーベキュー広場及び総合体育館エントランスに設置しました。 今後は、さらに情報を充実させることで、健康の森散策の動機づけになるよう活用してまいります。
	47	事 業 名	自然体験プログラムの提供(バーベキュー広場)
		開 催 日 時	
		概 要	「1 事業の実施状況/(3)自主事業/No.41 自然観察会」と同一事業
		自 己 評 価	
	48	事 業 名	利便性の向上(バーベキュー広場)
		実 施 概 要	①土日祝日限定でバーベキューの食材を提供するサービスを実施しました。 ②7 月から 9 月までの夏季において、通常 16:00 までの利用時間を 17:00 まで延長しました。
		自 己 評 価	①食材提供サービスにおいては、食材を自分達で用意される利用者も多く、年間を通じて 5 件の利用となりました。 ②利用時間の延長については、昼の一番暑い時間を避けて利用している方もみえ、一定のニーズに応えることができていたのではないかと考えます。 今後も引き続きバーベキュー広場を気軽に利用していただけるよう取り組んでまいります。
イ ベ ン ト 企 画 運 営	49	事 業 名	ワンストップサービスの提供
		実 施 概 要	スポーツコミッション担当が中心となり、広報・情報発信、チケット販売、大会機運醸成、ボランティア運営、業者・スタッフ手配、行政手続き等様々な支援等を担い、ひとつの催事が申請のみで企画から準備・本番まで行える「ワンストップサービス」を実施しました。
		自 己 評 価	主にプロスポーツリーグの試合や大規模催事の際に主催者の負担となる業者選定や打ち合せなどを窓口で一括して請け負うワンストップサービスを案内し、会場設営・ごみ処理・キッチンカーの手配等の提供をしました。 《催事、実施件数》 Bリーグ 2 件

		SVリーグ 10 件 ものづくりフェア in 岡崎 1 件 自転車技士・自転車安全整備士試験 1 件 広中ふれあいフェア 1 件 合計 15 件 今後も引き続きワンストップサービスを継続することで、利用者負担の軽減を図り利用者満足度向上に繋げてまいります。
50	事業名	プロリーグや大規模イベント誘致のためのトップセールス実施
	実施概要	プロ野球(オープン戦・ウェスタンリーグ)、SVリーグ、Bリーグ、社会人野球、高校野球等の競技レベルの高い大会誘致を目的として、来年度大会計画が検討される時期に合わせ、大会主催団体及び関係者との情報共有や利用調整を実施しました。 既存の関係性を活かしながら施設利用環境や運営体制について説明を行い、継続的な大会開催に向けた連携強化を図ることで、大規模イベント受入れ体制の維持・向上に努めました。
	自己評価	大会誘致及び継続開催の確保を目的として、例年開催されている SV リーグ、B リーグ、社会人野球、高校野球等の大会について、大会主催者との情報共有及び利用調整を継続的に実施しました。 各大会が円滑に開催されるよう、施設利用条件の調整や運営面での支援を行い、安定した受入体制を維持したことにより、今年度も継続的な大会開催に繋げることができました。特に、大規模イベントにおける迅速な対応及び柔軟な調整を積み重ねたことが、主催者からの信頼確保に寄与し、施設の継続利用の維持に繋がったものと評価しております。 今後も既存大会との良好な関係を基盤として受入体制の充実を図り、継続開催の安定確保を通じて施設稼働率の維持向上及び地域活性化に寄与してまいります。
51	事業名	ジェイテクト STINGS の応援 ※新規取組⑩
	実施概要	岡崎市をホームタウンとするジェイテクト STINGS 愛知を地域一体で応援する機運醸成を目的として、施設管理者として応援活動を実施しました。 公式試合開催時における職員の応援体制づくりとして、チームロゴを使用したオリジナルスタッフジャンパーを製作し、来場者への歓迎意識及びホームタウンとしての一体感の創出を図りました。 また、チームとの連携強化を目的にコラボグッズの製作に着手し、ふるさと納税返礼品としての活用に向けた取り組みを進めるなど、公園施設を拠点とした地域スポーツ振興及び地域経済活性化への寄与を目指しました。

		自 己 評 価	ジェイテクト STINGS 愛知のホームタウン施設として、施設管理者の立場からチームを応援する新たな取り組みを実施しました。公式試合開催時には、ロゴをあしらったオリジナルスタッフジャンパーを職員が着用することで、来場者に対しホームタウンとしての一体感や歓迎意識を視覚的に示し、スポーツを通じた地域の機運醸成に寄与することができました。 また、チームとの連携強化の一環としてコラボグッズの製作に着手し、ふるさと納税返礼品としての活用を進めることで、公園施設を起点とした地域経済への波及効果創出にも取り組みました。本事業は、施設管理運営と地域スポーツ振興を結び付けた新規事業として一定の成果が得られたものと評価しております。 今後も試合開催時の応援体制や日常業務の中で継続可能な応援活動を実施し、ホームタウンとしての機運醸成を定着させるとともに、チームとの連携を通じた地域活性化に繋げてまいります。
	52	事 業 名	プロスポーツリーグ利用支援
		実 施 概 要	職員が温度、照明照度などを天候や観客数に応じてきめ細かくコントロールし、各プロスポーツリーグの細かい競技規定に適合させるよう管理運営しました。
		自 己 評 価	試合時に職員が会場内で立ち会いをし、きめ細やかな対応をしました。職員が会場に常駐することで、事務所との連携も取りやすく、会場の温度調節や救急搬送などの緊急対応が速やかに行えることにも繋がり、安全性・快適性の高い試合運営に貢献しました。 今後は、これまでの対応で培った温度・照明管理のノウハウや緊急時の連携手順を職員間で共有し、業務の効率化を図ります。限られた人員体制であってもスムーズな対応ができるよう備え、引き続き主催者・観客の双方にとって安全で快適な競技環境の提供に努めてまいります。
レストラン運営	53	事 業 名	テイクアウトスイーツの販売 ※新規取組⑪
		販 売 開 始 日	夏季
		実 施 概 要	施設利用者の利便性及び満足度の向上を図るため、豊かな自然環境の中で気軽に楽しめるテイクアウトスイーツの提供を実施しました。特に、散策や屋外活動の合間に手軽に購入できるアイスクリーム等のメニューを中心にラインナップを整備し、家族連れや観光客など幅広い利用者が利用しやすい売場環境の整備にも努めました。
		自 己 評 価	夏休み期間中は親子連れの利用が増え、テイクアウトスイーツの販売は一定の利用がありました。アイスクリームについては、自動販売機の設置もあるため大きな需要には繋がりませんでした。散策の合間に立ち寄る利用者も見られ、施設での過ごし方の選択肢を広げる効果はあったと考えています。 今後は、季節や利用者層に合わせたメニューの見直しや、より気軽に立ち寄っていただける売場づくりなど、サービスの充実を検討していきたいと考えています。

	54	事業名	スポーツドリンク・栄養食品の販売 ※新規取組⑫
		販売開始日	3月6日(金)～8日(日)
		実施概要	利用者の健康維持と運動後の適切な栄養補給を支援することを目的とし、土日を中心にレストラン窓口にてゼリー飲料の販売を実施しました。来館者の動線や利用時間帯を踏まえ、手に取りやすい場所への商品配置や、利用者への声かけによる案内を行い、購入機会の創出に努めました。
		自己評価	今年度は販売実績には至りませんでしたが、利用者の購買傾向やニーズを把握するうえで有意義な取り組みとなりました。販売時間帯や商品ラインナップが利用者の需要と十分に合致していなかった可能性があり、改善の方向性が明確になったと考えております。 今後は、周知方法や商品選定の見直しを図り、利用者に購入いただける体制づくりを図ってまいります。引き続き、利用者の健康づくりに寄与する商品提供を目指し、事業の質の向上に努めてまいります。
	55	事業名	愛知・名古屋 2026 大会特別企画 アジア料理フェアの開催 →アジアの味体験 ※新規取組⑬
		開催期間	1月24日(土)～2月8日(日)
		実施概要	愛知・名古屋 2026 大会開催に向けた機運醸成及び国際色豊かな来場環境づくりを目的として、ジェイテクト STINGS 愛知公式試合に合わせ「アジア料理フェア」を企画しました。 当初はアジア料理メニューの開発を検討しましたが、製造体制やコスト面の課題を踏まえ提供方法を見直し、スイートチリソースやチョレギサラダドレッシング等のアジア調味料をセルフサービス形式で提供し、来場者が手軽にアジアの味を楽しめる内容として実施しました。
		自己評価	簡易な提供方法へ転換することで実施可能な形に調整し、国際大会開催を見据えた雰囲気づくりに取り組むことができました。期間中にはアーチェリー大会参加の海外選手からも好評を得るなど、多様な来場者に対応したサービス提供の有効性を確認できました。 今後も愛知・名古屋 2026 大会に向け、海外来場者を意識した企画を検討し、開催会場としての魅力向上と大会機運の醸成に努めてまいります。
	56	事業名	プロスポーツコラボ企画の実施 ※新規取組⑭
		実施概要	プロスポーツ大会開催時の賑わい創出及び利用者サービス向上を目的として、チームにちなんだメニュー提供など、レストラン事業者と連携したコラボ企画を計画しました。
		自己評価	本事業はジェイテクト STINGS 愛知との連携を前提として企画しましたが、運営方針との調整が整わず、今年度は実施に至りませんでした。 飲食事業はレストラン事業者の自主運営による部分が大いことを踏まえ、今後はレストラン連携に限定せず、施設管理者主体で実施可能なサービスやイベント企画など、来場者満足度向上と賑わい創出に繋がる取り組みを検討してまいります。
	57	事業名	岡崎名産メニューの販売→岡崎の味体験 ※新規取組⑮
		販売開始日	1月24日(土)～2月8日(日)

		実 施 概 要	ジェイテクト STINGS 愛知の公式試合に合わせて、味変用の「八丁味噌パウダー」や「岡崎おうはん 鶏節」などをセルフサービスのカウンターで提供し、岡崎の食の PR を行いました。
		自 己 評 価	岡崎名産メニューの開発・販売を視野に検討を進めてまいりましたが、検討過程において製造体制やコスト面などの課題が明らかとなり、提供方法について改めて見直しが必要であることを認識しました。 そのため、岡崎ゆかりの調味料を活用した「岡崎の味体験」として、八丁味噌パウダーや岡崎おうはん鶏節などをセルフサービス形式で提供し、来園者に岡崎の食文化を気軽に楽しんでもいただける取り組みへと方向性を調整しました。この工夫により、特に県外からの利用者に好評を得ることができ、岡崎の魅力発信として一定の成果があったと評価しております。 今回の取り組みで得られた利用者の反応やニーズは、今後の公園運営における地域資源の活用方法を検討するうえで有益な知見となりました。 今後は、岡崎の食文化や地域産品の魅力を発信できる機会の創出に向け、イベントや館内サービスなど他の事業との連携可能性を探りながら、より効果的な情報発信の方法を検討してまいります。
	58	事 業 名	未病栄養コンサルタント監修弁当の開発・販売
		実 施 概 要	スポーツ施設という特色を活かし、未病栄養コンサルタント監修のもと、栄養バランスの取れた健康弁当や体づくりを重視したスポーツ弁当を提供しました。 家庭でもバランスの良い食事を作ることができるように、レストランスペース内やホームページにレシピを公開しました。
		自 己 評 価	未病栄養コンサルタントの監修のもと、栄養バランス弁当やタンパクリッチ弁当の提供を行い、チラシや館内掲示を通じて周知を図りました。また、一部メニューのレシピをレストラン内で配布するとともに、ホームページでも公開し、家庭でも健康的な食事づくりに取り組めるよう情報提供を行いました。 弁当の利用者数は限定的ではありましたが、健康志向の利用者からは関心が寄せられ、スポーツ施設としての特色を活かした食の提案として一定の意義があったと評価しております。一方で、利用状況から、提供方法や情報発信の工夫が必要であることも明らかになりました。 今回の取り組みで得られた利用者の反応やニーズは、今後の健康づくり支援や食育に関する事業を検討するうえで有益な知見となりました。今後は、栄養情報の提供方法や発信の工夫を進めるとともに、イベントや館内サービスなど他事業との連携可能性を探り、利用者の健康増進に寄与する取り組みへと活かしてまいります。
	59	事 業 名	地域コミュニティー形成の場として活用 ※新規取組⑩
		利 用 日	5 月 20 日 (火)

		実 施 概 要	地域コミュニティ形成の場としてレストランの活用を促進するため、利用案内(利用方法)を施設内外に掲示し、積極的な広報・周知活動を実施しました。体育館及びレストラン出入口への掲示板設置や、レストラン窓への横断幕掲示など、視認性を高めるプロモーションを行い、地域団体を含む幅広い利用者に向けて利用促進を図りました。
		自 己 評 価	掲示板や横断幕の設置など、施設内外での広報・周知活動を強化した結果、岡崎市民生委員会にカフェレストをご利用いただくことができ、地域団体の活動場所として一定の活用が進みました。これは、地域コミュニティ形成の場としての可能性を示す成果であったと評価しております。 一方で、利用団体の拡大には至らず、広報手法や情報提供のタイミングなど、さらなる工夫が必要であることも明らかになりました。 今後は、今回の取り組みで得られた反応を踏まえ、地域団体や市民活動との連携の可能性を探りながら、コミュニティ形成に資する場づくりのあり方を検討してまいります。また、イベントや館内サービスとの連動など、他事業との協働による活用機会の創出にも取り組み、地域交流の促進に繋がる取り組みへと発展させていきたいと考えております。
	60	事 業 名	ビジネスミーティング等に利用できる予約制スペースの設置 ※新規取組⑰
		設 置 日	通年で使用可能
		実 施 概 要	ビジネスミーティングや打ち合わせなど、多様な利用目的に対応できる環境整備を目的として、カフェレスト内に予約制のワークスペースを設置しました。利用者が快適に作業できるよう、フリーWi-Fiを整備するとともに、落ち着いて会話や作業ができる席配置とし、ビジネス用途にも対応できる空間づくりを行いました。
広報・プロモーション	61	自 己 評 価	本事業は、カフェレスト空間の新たな利活用を図ることを目的として、フリーWi-Fi環境を整備し、ビジネスミーティングや打ち合わせ等に利用可能な予約制スペースとして運用を試行したものです。 運用の結果、当該施設においてビジネス目的での専用利用は限定的であり、実際の会議・打ち合わせ需要については、設備が充実しているエントランス会議室、第1会議室及び第2会議室が主に選択される傾向が確認されました。 これにより、利用者ニーズと施設特性の関係性を把握することができ、ビジネス用途においては専用会議室への需要が高いことが明確となりました。 以上の結果を踏まえ、カフェレスト空間については今後、カフェ利用や来園者の休憩・交流スペースとしての活用を中心に位置付けるなど、施設特性に応じた利活用方針の整理に繋がる有効な検証事業であったと評価しております。
		事 業 名	施設インドアビューの導入 ※新規取組⑱
		導 入 日	4月11日(金)
		実 施 概 要	利用者が来館せずとも施設内部の様子を把握できるよう、施設インドアビューの導入に向けた取り組みを進めました。施設内の動線や主要設備が視覚

			的に理解できるよう、屋内施設へのアクセス方法を動画として制作し、YouTube にて公開しました。また、今後のインドアビュー追加を見据え、動画配信との連携により、施設の利用方法や季節ごとの楽しみ方など、利用者にとって有益な情報発信の基盤づくりを行いました。
		自 己 評 価	施設インドアビュー導入に向けた第一段階として、屋内施設へのアクセス方法を動画で公開し、オンライン上で施設情報を得られる環境整備を進めました。現時点では特定施設の案内にとどまっていますが、来館前の不安解消や利用イメージの向上に一定の効果が見られ、情報発信手段としての有効性を確認することができました。 一方で、利用者からの問い合わせ内容や動画の反応から、諸室や倉庫など、より詳細な内部情報へのニーズがあることも把握できました。これらの点を踏まえ、今後は需要に応じて案内範囲の拡大を検討するとともに、インドアビューの導入に向けた準備を進め、施設の利便性向上と利用促進につながる情報発信を強化してまいります。
	62	事 業 名	X(旧 Twitter)・LINE の導入 ※新規取組⑱
		導 入 日	3 月 1 日(日)
		実 施 概 要	情報発信手段の拡充と利用者とのコミュニケーション強化を目的として、既存の Instagram や Facebook に加え、新たに X(旧 Twitter) 及び LINE 公式アカウントの導入準備を進めました。アカウント開設に加え、投稿内容の方向性や運用ルールの整理、イベント連動型の発信方法の検討など、来年度の本格運用に向けた基盤整備を行いました。また、ファミリーフェスタ in 中総 2026 に合わせて公開する計画を立て、イベントと連携した情報発信体制の構築を図りました。
		自 己 評 価	X 及び LINE 公式アカウントを新たに開設し、SNS を活用した情報発信の基盤を整備することができました。運用開始は来年度となりましたが、アカウント開設に向けた準備や運用方針の検討を進めたことで、イベント連動型の発信やリアルタイム情報の提供に向けた体制づくりが進展しました。特に、ファミリーフェスタ in 中総 2026 に合わせた初公開の準備を進めたことは、利用者との新たな接点づくりに向けた重要なステップとなりました。 今後は、来年度の本格運用開始に向けて、イベント情報や季節の話題、休講情報など、利用者にとって有益な情報をタイムリーに発信できる体制を整えてまいります。また、動画活用や他事業との連携を進め、SNS を通じた利用促進とコミュニケーション強化を図り、より多くの利用者に親しまれる情報発信を目指してまいります。
	63	事 業 名	YouTube「中総チャンネル」の活用
		実 施 概 要	YouTube「中総チャンネル」を活用し、各スポーツ施設の利用風景や利用方法を動画でわかりやすく紹介する取り組みを継続して実施しました。初めて利用する方でも安心して来館できるよう、施設の特徴や利用可能種目、予約方法などを視覚的に伝える動画を制作・公開し、利用促進に繋がる情報提供の充実を図りました。

		自 己 評 価	YouTube「中総チャンネル」において、施設紹介や利用可能種目、利用方法を説明する動画を継続的に公開し、利用者が事前に施設の様子を把握できる環境整備を進めました。動画による視覚的な案内は、利用者の不安軽減や施設理解の向上に寄与し、利用促進に向けた有効な手段であることを改めて確認できました。 一方で、動画の本数やテーマはまだ限定的であり、より多様な利用者ニーズに応えるためには、紹介する施設や内容の拡充、更新頻度の向上など、さらなる工夫が必要であることも明らかになりました。 今後は、継続事業として、利用者から寄せられる質問や反応を踏まえ、競技別の利用方法、イベント紹介、季節の見どころなど、より実用的で魅力的な動画コンテンツの制作を進めてまいります。
64	事 業 名		季節ごとの動画配信 ※新規取組⑳
	実 施 概 要		健康の森、自然観察の里や、美しい修景を見せる風の道・プロムナード、恩賜苑周辺など季節ごとの魅力ある風景を動画で配信することで、公園施設への来訪促進に努めました。
	自 己 評 価		Instagram においてリール動画として発信していた映像を、ホームページにも季節ごとに再編集・掲載することで、媒体間の連携を図りながら公園の魅力発信を強化しました。これにより、SNS 利用者以外の層にも情報を届けることが可能となり、来園動機の創出及び認知度向上に寄与しました。 今後も季節性や話題性を意識した情報発信を継続し、さらなる利用促進に繋げてまいります。
65	事 業 名		チラシの配布 ※新規取組㉑
	配 布 日		4 月 8 日(火)
	実 施 概 要		トレーニング室の利用促進を目的として、周辺地域への情報提供を強化するため、案内チラシの配布を実施しました。特に来館機会の少ない地域住民への周知を図るため、南公園周辺エリアを中心に新聞折込を活用し、トレーニング室の特徴や利用方法、料金などをわかりやすくまとめたチラシを16,000 部配布しました。また、館内掲示や受付での配布も併用し、幅広い層に向けた情報発信体制の整備を進めました。

		自己評価	南公園周辺地域に対しトレーニング室の案内チラシを新聞折込で 16,000 部配布し、これまで情報が届きにくかった地域住民に対して広く周知を行うことができました。特に、高齢層やインターネット利用が少ない層に対して、紙媒体による情報提供の有効性を再確認する機会となりました。 一方で、チラシ配布による具体的な利用行動への影響については把握が難しく、今後は効果測定の方法を検討する必要があることも明らかになりました。 今後は、来館動機の把握を強化するため、館内アンケートや受付時の声かけを通じて情報収集を行うとともに、SNS や施設内掲示など他媒体との併用により、より効率的で効果的な周知方法を検討してまいります。また、地域特性や利用者層に応じた配布エリアや内容の見直しも進め、利用促進に繋がる情報発信の改善を図ってまいります。
66	事業名	広告・フリーペーパーの活用	
	実施概要	施設利用案内やイベント情報を効果的に周知するため、次のとおり新聞折込及び駅構内ポスター掲示を活用した広報活動を実施しました。 《新聞折込》 ・トレーニング室「新生活応援キャンペーン」の案内チラシ 16,000 部(4/8) ・来年度のスポーツ施設利用料金改定案内チラシ 10,000 部(2/13) ・愛知・名古屋 2026 大会による施設休業案内チラシ 10,000 部(2/13) ・春休みの学生に向けた庭球場利用案内チラシ 10,000 部(2/13) 《名鉄東岡崎駅構内》 ・恩賜苑レイクライト&森あそび案内ポスター掲示:12/1～6	
	自己評価	新聞折込と駅構内ポスター掲示を組み合わせた広報活動により、施設利用案内やイベント情報を幅広い層に届けることができました。特に、来年度の利用料金改定や愛知・名古屋 2026 大会に伴う施設休業など、利用者への影響が大きい情報については、新聞折込に加えてホームページや館内掲示、利用団体への個別連絡を併用することで、確実な周知に努めることができました。 今後は、来館時の聞き取りやアンケートを通じて、どの媒体から情報を得たかを把握を継続するとともに、SNS や館内デジタル掲示など他媒体との併用により、より効率的で効果的な周知方法を検討してまいります。また、配布エリアや掲出場所の見直しを行い、利用者層に応じた最適な広報手法の構築を目指してまいります。	
67	事業名	プロモーション・営業活動 ※新規取組②	
	活動日	9 月 20 日(土)、10 月 9 日(木)	

		実 施 概 要	施設の新規利用獲得とイベント誘致の強化を目的として、イベント企画会社や体験型コンテンツを提供する企業に対し、積極的な営業活動を実施しました。AR(拡張現実)技術を活用した次世代アクティビティを提供する企業や、乳幼児親子向けイベントを展開する企業など、多様な分野の事業者に対して、当施設での開催メリットや利用可能なスペース、設備環境を紹介し、具体的な活用イメージを持っていただけるよう提案を行いました。	
		自 己 評 価	AR 技術を用いたアクティビティを提供する企業や乳幼児親子向けイベントを展開する企業に対し、当施設での開催を検討いただけるよう働きかけを行った結果、前向きな反応を得ることができ、今後の利用に繋がる可能性を確認することができました。これにより、施設の新たな活用方法を探るうえで、有益な情報収集と関係構築を進めることができたと評価しています。 一方で、具体的な開催に向けては、企画内容や条件調整など、企業との継続的なコミュニケーションが必要であることも明らかになりました。 今後は、今回得られた企業との繋がりを元に、開催に向けた調整を進めるとともに、他の事業者への働きかけも段階的に広げ、施設の新たな利用機会の創出に繋げてまいります。また、施設の特性を活かしたイベント誘致の可能性を検討し、地域のにぎわい創出や利用促進に寄与するプロモーション活動を継続して推進してまいります。	
意見聴取	68	事 業 名	アンケートの実施	「4 利用者意見の聴取」に記載
	69	事 業 名	未利用者アンケートの実施	
	70	事 業 名	市外からの来訪者向けアンケート ※新規取組③	
	71	事 業 名	ご意見箱の設置	
	72	事 業 名	利用者ミーティングの実施	
	73	事 業 名	自己評価の実施	
保守管理	74	事 業 名	ライフラインに関わる設備の自主点検	
		実 施 頻 度	週 1 回	
		実 施 概 要	施設運営における安全確保のため、給排水設備及びガス設備の自主点検を継続して実施しました。週 1 回の定期点検を基本とし、漏水や異常の有無、設備の作動状況などを確認し、安定した施設運営に必要なライフライン設備の状態把握に努めました。	
		自 己 評 価	給排水設備及びガス設備について、週 1 回の点検を欠かさず実施し、安定した点検体制を維持することができました。大きなトラブルもなく、日々の点検が施設の安全な運営にしっかりと役立っていることを再確認できました。 今後は、これまでどおり自主点検を実施し、設備の状態に応じて必要なタイミングで専門業者とも連携することで、安心して利用いただける環境づくりを継続して進めてまいります。	
75	事 業 名	グラウンド管理		
	実 施 日	1 月 23 日(金)、1 月 28 日(水)		
	実 施 概 要	冬季における運動広場及び球技場の安全な利用環境を確保するため、塩		

			化カルシウムの散布と転圧作業を実施しました。凍結防止と地面の硬さ調整を目的に、ローラーによる転圧で地中の空気層を減らし、冬季特有の凍結やぬかるみを抑えるよう管理を行いました。
		自 己 評 価	運動広場及び球技場に対して塩化カルシウムの散布と転圧作業を適切に行い、凍結対策を講じることで、安全・安心を確保した状態で利用者に提供することができました。冬季特有の地面の硬化や滑りやすさを抑える効果が見られ、安定したグラウンドコンディションの維持に繋がったと評価しています。今後は、これまでの管理方法を基本としつつ、気温や降雪状況に応じて作業のタイミングや量を柔軟に調整するなど、より無理のない形でグラウンド状態を整えていきたいと考えています。また、利用者の声や現場での気づきを取り入れながら、必要に応じて管理方法の見直しも行き、季節に左右されにくい快適な利用環境づくりを続けてまいります。
76	事 業 名	遊具点検	
	実 施 頻 度	日常点検:毎日 施設安全点検:毎月2回	
	実 施 概 要	来園者の安全確保を最優先とし、園内遊具の点検を継続して実施しました。日常点検に加え、月2回の施設安全点検を行い、遊具の破損・摩耗・緩み・異常の有無を確認しました。特に子どもが利用する施設であることから、落下・挟み込み・転倒などの危険に繋がる箇所を重点的に確認し、事故防止に向けた安全管理を徹底しました。	
	自 己 評 価	日常点検と月2回の安全点検を継続して実施し、遊具の破損や欠陥の有無を丁寧に確認することで、来園者が安心して利用できる環境を維持することができました。点検期間中にケガや苦情などの事故は一件も発生しておらず、定期的な点検が安全確保に有効であることを再確認しました。今後は、これまでの点検体制を維持しつつ、季節や利用状況に応じて点検項目を見直すなど、安全管理を続けていきたいと考えています。また、遊具の劣化傾向や利用者の声を踏まえ、必要に応じて補修や更新の検討も進め、引き続き安心して利用できる環境づくりに努めてまいります。	
	77	事 業 名	庭球場コート管理
	実 施 頻 度	コート整備1回/月、人工芝張替え修繕1回/年、人工芝部分修繕(通年)	
	実 施 概 要	庭球場の安全で快適な利用環境を維持するため、年次計画に基づき練習コートの人工芝張替え修繕を実施しました。また、職員による月1回の定期整備を継続し、人工芝の状態確認や目砂の補充、ライン周辺の調整など、日常的な維持管理を行いました。さらに、No.10コート及びセンターコートでは、摩耗が進んだ箇所の人工芝部分張替えを実施し、利用者が安心してプレーできる環境づくりに努めました。	

		自己評価	年次計画に沿って練習コートの人工芝張替えを修繕費にて実施し、コート全体のコンディション改善を図ることができました。また、職員による月 1 回の定期整備及び部分修繕(No.10、センターコート)を継続したことで、人工芝の摩耗や浮きなどの早期発見に繋がり、安定した施設維持に寄与しました。 一方で、一部コートにおいて地盤沈下が確認され、人工芝の張替えだけでは対応が難しい状況も見られました。今後は、こうした地盤の問題も含めて修繕計画を見直し、必要に応じて専門業者と連携しながら、段階的に対応していく必要があると考えています。 今後は、これまでの整備体制を維持しつつ、利用状況や劣化の進行に応じて整備内容を柔軟に調整するなど、計画的にコート状態の改善を進めてまいります。また、利用者の声や現場での気づきを取り入れながら、より快適に利用できる庭球場環境づくりを継続して進めてまいります。
78	事業名	四阿や浮き橋などの木造構造物の点検	
	実施頻度	毎月 2 回	
	実施概要	四阿や浮き橋などの木造構造物について、安全な利用環境を維持するため、腐朽や蟻害が発生しやすい箇所を重点的に点検しました。木材の割れ・緩み・沈み込み・表面劣化など、事故に繋がる恐れのある部分を中心に確認し、異常の早期発見に努めました。点検は月 2 回の頻度で継続し、季節による状態変化も踏まえながら、安定した管理体制を維持しました	
	自己評価	四阿及び浮き橋について月 2 回の定期点検を実施し、腐朽や蟻害の兆候、木材の劣化状況を丁寧に確認しました。特に劣化が進みやすい浮き橋については、職員が対応可能な範囲の修繕を随時行い、安全性の確保に努めました。また、直営での対応が難しい箇所については修繕業者と連携し、段階的な修繕を進めることで、利用者が安心して通行できる状態を維持することができました。 今後は、これまでの点検体制を継続し、点検で得られた情報を蓄積しながら、劣化の進行状況に応じて適切な修繕を進めてまいります。	
79	事業名	修繕改修計画の作成	
	実施概要	施設安全点検結果報告書を基に、園内施設及び体育施設の修繕改修計画を作成しました。老朽化が進む建築物や構造物について、ライフサイクルコストの縮減と延命化を図ることを目的に、毎年点検結果を反映しながら、中長期的な修繕方針を整理しました。特に、劣化が進行しやすい箇所については優先度を明確にし、計画的な維持管理が行えるよう体制を整えました。	
	自己評価	浮橋やボスケなど園内で劣化が進んでいる施設について、長期修繕計画に基づき段階的な修繕を実施しました。また、総合体育館では、大規模大会の開催を見据え、設備の補修や必要箇所の改善を行い、利用環境の向上に取り組みました。毎年点検結果を反映しながら計画を進めることで、施設全体の維持管理に向けた取り組みが着実に進んだ一年となりました。 今後も、毎年安全点検で得られる情報を計画に反映し、修繕の優先度を整理しながら、必要な箇所の改修を継続して進めてまいります。また、施設の利用状況や劣化の進行に応じて、長期的な視点で修繕計画を更新し、安定	

			した施設運営に繋がる維持管理を継続してまいります。
80	事業名	木製床の点検補修	
	実施頻度	1か月に2回程度	
	実施概要	体育館・武道館・錬成道場の木製床について、利用者の安全確保と施設機能の維持を目的に、定期的な点検及び補修を実施しました。床材の浮き・きしみ・摩耗・破損など、転倒事故に繋がる恐れのある箇所を重点的に確認し、必要に応じて部分補修を行いました。	
	自己評価	体育館・武道館・錬成道場の木製床について定期的な点検を継続し、床材の浮きや破損などの異常を早期に把握することで、安心して利用できる環境づくりに努めました。点検で確認された軽微な不具合については随時補修を行い、施設の安全性と快適性の維持に寄与しました。 今後も、これまでの点検体制を継続し、床面の状態を丁寧に確認しながら、必要に応じて補修を進めてまいります。また、点検で得られた情報を蓄積し、床材の劣化傾向を把握することで、適切なタイミングでの補修や更新に繋げ、引き続き安全で利用しやすい環境を維持してまいります。	
81	事業名	雨漏り対策	
	実施概要	弓道場における雨漏り対策として、屋根裏及びフロアに水受けを設置し、降雨時の被害拡大を防ぐための事前対策を実施しました。また、防水塗装の劣化が確認された箇所については、トップコートの塗り直しによる一時的な補修を行い、防水機能の維持と延命化を図りました。毎年の点検結果を踏まえながら、必要な箇所に適切な対策を講じる体制を継続しました。	
	自己評価	弓道場の屋根裏及びフロアに水受けを設置し、雨漏りによる影響を最小限に抑えるための対策を継続して実施しました。また、雨漏り箇所の状況を記録し、図面化することで、発生位置や範囲を明確にし、関係各所へ速やかに情報共有を行う体制を維持しました。これにより、応急対応と原因把握の両面で、毎年積み重ねてきた取り組みがより確実なものとなりました。 今後は、記録した雨漏り箇所の情報を基に、必要な補修の優先度を整理し、計画的な修繕に繋げてまいります。また、降雨時の状況確認を継続し、変化が見られた場合には早期に対応できるよう、関係部署との連携を引き続き図りながら、安定した施設環境の維持に努めてまいります。	
82	事業名	重要設備の延命化	
	実施概要	スピードガンやスコアボードなどの重要設備について、予防保全の観点から定期的なメンテナンスを実施しました。機器の状態確認や清掃、動作チェックを行い、故障の早期発見と延命化を図りました。また、使用頻度や劣化状況を踏まえ、計画的な備品交換を進めることで、安定した運用体制の維持に努めました。	
	自己評価	スコアボードやスピードガンの点検を継続し、使用前の点灯チェックや動作確認を徹底することで、利用時のトラブル防止に努めました。特に夏場は使用頻度が高く、機器が高温になることで不具合が発生する場面もありましたが、部品交換を早急に行うなど、適切な対応により運用への影響を最小限に抑えることができました。	

			今後は、機器の使用状況や不具合の発生傾向を記録し、交換時期の目安を整理しながら、計画的な更新を進めてまいります。また、季節による負荷の変動も踏まえ、必要に応じて点検頻度や確認項目を調整し、重要設備の安定した運用と延命化に引き続き取り組んでまいります。
83	事業名	競技フロアの照度測定とランプ交換	
	実施日	照度測定	6月6日(金)、12月2日(火)
		ランプ交換	2月19日(木)
	実施概要	競技フロアの照度を適切に維持するため、年2回の照度測定を計画に基づき実施しました。測定結果をもとに、基準値を下回った箇所や照度低下が見られるランプについては交換を行い、競技やイベントに支障が出ない明るさを確保しました。また、照明設備の状態を継続的に把握し、安定した利用環境の維持に努めました。	
	自己評価	年2回の照度測定を例年どおり実施し、測定結果に基づいて必要なランプ交換を適時行うことで、競技フロアの照度を安定的に維持することができました。特に、照度の低下が顕著な箇所については早めに交換を行い、利用者が安心して活動できる環境づくりに寄与しました。 一方で、水銀灯の在庫が少なくなっており、武道館の照明交換に向けて課題が生じています。 今後は、在庫状況や機器の劣化状況を踏まえ、交換時期の整理や代替照明の検討を進めながら、毎年の照度測定とランプ交換を継続し、安定した照度環境の確保に努めてまいります。	
84	事業名	木製移動収納席の保全	
	実施頻度	1回	
	実施概要	木製移動収納席の保全として、座面の劣化を抑えるためのウレタン塗装を実施しました。木材表面の保護と耐久性の向上を目的に、状態を確認しながら必要箇所への塗装を行い、長期的な機能維持に努めました。	
	自己評価	木製移動収納席の座面にウレタン塗装を施し、表面の保護及び耐久性の向上を図りました。これにより、摩耗や湿気による劣化・ひび割れの進行を抑制し、収納席を良好な状態で維持することができました。また、点検時に確認された軽微な不具合については随時補修を行い、利用者が安心して使用できる環境づくりに寄与しました。 今後も、毎年の点検を継続し、木材の状態や劣化の進行状況を踏まえながら、必要に応じてウレタン塗装や補修を行ってまいります。	
85	事業名	空調フィルターの清掃	
	実施日	5月27日(火)、8月29日(金)、11月26日(水)、2月13日(金)	
	実施概要	空調設備の性能を適切に維持するため、年4回のフィルター清掃を計画に基づき実施しました。清掃によりフィルターに付着した汚れやほこりを除去し、空調機器の負荷軽減と能力の最大化を図りました。また、清掃前後の圧力損失(Pa値)を測定し、状態を数値で把握しながら設備の延命化に取り組みました。	

		自 己 評 価	年 4 回のフィルター清掃を例年どおり計画的に実施し、清掃前後の圧力損失(Pa 値)を確認することで、汚れによる空調機器への負荷を適切に取り除くことができました。その結果、空調能力の維持と機器の延命化の両立に繋がりを、利用者が快適に過ごせる環境づくりに寄与しました。 今後も、定期清掃と Pa 値の測定を継続し、フィルターの状態を把握しながら適切なタイミングでの清掃・交換につなげてまいります。設備の劣化傾向を記録し、必要に応じて保全計画に反映させることで、安定した空調環境の維持に努めてまいります。
86	事 業 名	排煙窓の作動点検	
	実 施 日	6/20、9/17、12/24、3/24	
	実 施 概 要	排煙設備の確実な作動を維持するため、消防設備点検とは別に、年 4 回すべての施設で排煙窓の動作確認を実施しました。さびや油の固着による動作不良を防ぐことを目的に、実際に開閉動作を行い、可動部の状態を把握しながら設備の延命化を図りました。	
	自 己 評 価	排煙窓の動作点検を例年どおり年 4 回実施し、開閉動作の確認を通じて設備の状態を把握しました。大きな不具合は確認されませんでしたが、一部で動作の重さや軽微な固着の兆候が見られたため、早期対応として簡易清掃や注油を行い、正常な作動を確保しました。これにより、排煙設備の確実な作動維持に加え、突発的な故障リスクの低減や設備の延命化に寄与したと考えています。 今後も、定期的な動作点検を継続し、可動部の状態変化を丁寧に記録しながら必要に応じて調整や修繕に繋げることで、排煙設備が確実に機能する環境を維持できるよう、引き続き適切な保全に取り組んでまいります。	
87	事 業 名	収納場所の見える化	
	実 施 概 要	利用者が使用する物品を適切な場所へ収納できるよう、器具庫内の収納場所の見える化を進めました。物品収納レイアウト図を掲示するとともに、倉庫床面に収納位置を示すラインを設置し、誰でも直感的に収納場所を把握できる環境づくりを図りました。	
	自 己 評 価	利用者自身が直感的に収納場所を把握できるようになり、返却時の迷いや誤った配置が減少するなど、器具庫内の整理状況の改善が見られました。あわせて、職員による確認や整頓作業の負担軽減にも繋がりました。 一方で、一部利用者においては従来の習慣により定位置外への収納が見受けられたため、今後は掲示物の工夫や周知の強化を図る必要がある等改善点も見られました。 今後も継続的に運用状況を確認し、よりわかりやすく利用しやすい環境づくりを推進してまいります。	
88	事 業 名	バスケットゴールの点検	
	実 施 日	5/16、5/30、8/15、8/29、11/4、11/20、12/16、2/10	
	実 施 概 要	バスケットボールゴールの安全性と競技基準の維持を図るため、3 か月に 1 度の定期点検を実施しました。ボード及びリングの水平レベルを確認し、必要に応じて水平調整や部品交換を行うことで、公式大会等で求められる基準を安定して満たせる状態を維持しました。	

		自 己 評 価	3 か月に 1 度の定期点検を例年どおり実施し、ボード及びリングの水平レベルを確認することで、競技に支障のない状態を維持することができました。点検の結果、軽微なズレや摩耗が見られた箇所については、早期に水平調整や部品交換を行い、利用者が安心して使用できる環境づくりに寄与しました。 今後も、定期点検を継続し、部品の摩耗状況や使用頻度に応じた適切な調整・交換を行うことで、公式基準を満たす設備状態の維持に努めてまいります。
	89	事 業 名	物品の点検整備清掃
		実 施 日	6/13、9/20、12/18、3/19
		実 施 概 要	スポーツ物品の安全性と適切な使用環境を維持するため、チェックリストに基づき年 4 回の点検・整備・清掃を実施しました。全てのスポーツ物品を対象に、破損・摩耗・汚れの有無を確認し、必要に応じて調整や清掃を行うことで、利用者が安心して使用できる状態の確保に努めました。
		自 己 評 価	定期的な点検・整備・清掃は計画どおり実施できたものの、一部において軽微な不具合の発見が遅れる事例が見られました。日常点検の精度や職員間での確認意識に差があることが課題として挙げられます。 今後は、日常点検の強化及びチェックリストの運用方法の見直し、記録様式の統一と情報共有の徹底を図るとともに、保管環境の改善に取り組んでまいります。
	90	事 業 名	物品の更新計画立案
		実 施 概 要	これまでの備品購入履歴を整理・分析し、3 年間を見通した備品購入計画を立案しました。老朽化や利用頻度、故障履歴などを踏まえ、計画的な物品更新を提案することで、施設運営に必要な物品を安定的に確保できる体制づくりを進めました。
		自 己 評 価	更新計画に基づき、新紙幣対応の券売機の更新を実施しました。旧券売機では窓口での両替対応が必要となり、利用者にとって手間となっていました。更新後は利便性が向上し、顧客満足度の改善に繋がったと評価しています。 今後も、経年劣化が進んでいる備品や、利用者の利便性向上に直結する物品については、計画的な更新を進めてまいります。
	91	事 業 名	トレーニング機器の点検
		実 施 日	4/28、6/30、9/29、12/22、2/16
		実 施 概 要	トレーニング室の安全確保と機器の適切な運用を目的に、職員による毎日の始業前点検に加え、専門業者による定期点検を実施しました。可動部の動作確認、ボルトの緩み、ワイヤーの摩耗や劣化など、事故につながる可能性のある項目を重点的に確認し、機器の状態を常に良好に保つ体制を継続しました。

		自 己 評 価	日常点検と専門業者による定期点検を組み合わせることで、可動部の摩耗やボルトの緩み、ワイヤーの劣化など、事故に繋がり得る不具合を早期に把握し、適切に補修・調整を行うことができました。その結果、利用者が安心してトレーニング機器を使用できる環境を維持できたと評価しています。 今後も、日常及び定期点検に努め、機器の劣化傾向を把握しながら必要に応じて部品交換や更新を計画的に行ってまいります。
植栽管理	92	事 業 名	桜パトロールの実施
		実 施 日	年 12 回 (4/25、5/23、6/26、7/30、8/24、9/28、10/29、11/29、12/18、1/25、2/24、3/19)
		実 施 概 要	園内の桜の健全な生育を維持するため、毎月 1 回の桜パトロールを実施しました。各個体の生育状況を確認し、異常が見られた桜については適切な対応を行うことで、桜の維持保全に努めました。また、ヤゴの発生状況や枝葉の状態など、季節ごとの変化を把握しながら、継続的な管理体制を維持しました。
		自 己 評 価	毎月 1 回の桜パトロールを計画どおり実施し、個体ごとの生育状況をきめ細かく確認することができました。点検時に発見したヤゴについては、除去(ヤゴ切り)などの適切な処置を行い、主木への栄養分散を防ぐことで、健全な生育環境の維持に寄与しました。 今後も、継続的なパトロールを通じて生育状況を把握し、異常の早期発見と適切な対応に繋げてまいります。
	93	事 業 名	バーベキュー広場の芝生エリアに桜の挿し木 ※新規取組④
		実 施 日	10 月 30 日(木)
		実 施 概 要	新たな取り組みとして、バーベキュー広場の芝生エリアに桜の挿し木を行いました。プランターを用いて育苗を進めることで、将来的な定植に向けた基盤づくりを行い、広場の景観向上と緑化の推進を図りました。
		自 己 評 価	バーベキュー広場東側の芝生エリアにおいて、16 個のプランターを使用した桜の挿し木事業を実施しました。現在は育苗段階としてプランターでの管理を行っており、順調に生育が進んでいます。これにより、将来的な定植に向けた準備が整いつつあり、広場の景観向上に寄与する取り組みとして一定の成果が得られたと評価しています。 今後は、苗木の生育状況を継続的に観察し、適切なタイミングでの定植を検討してまいります。
	94	事 業 名	ユキヤナギ・マツバギク・クチナシの花木類の重点管理
		実 施 概 要	公園の景観向上に寄与するユキヤナギ・マツバギク・クチナシなどの花木類について、専任担当者を配置し、重点的な管理を行いました。週に 1 度、生育状況や樹形、病虫害の有無を確認し、必要に応じて除草・剪定・散水などの作業を実施することで、良好な景観の維持と利用者の安全確保に努めました。

		自己評価	ユキヤナギ・マツバギク・クチナシなど、公園のアピールポイントとなる花木類について、専任担当者が週 1 回の巡回を行い、生育状況をきめ細かく確認しました。必要に応じて除草や剪定、散水を実施し、適切な樹形の保持と景観の向上に取り組むことができました。また、利用者が安心して公園を利用できるよう、安全面にも配慮した管理を継続しました。 今後も、季節ごとの生育変化や気象条件に応じた管理を行い、花木類の魅力を最大限に引き出せるよう取り組んでまいります。
95	事業名	チャドクガへの安全対策	
	実施概要		近年ツバキ類に頻繁に発生しているチャドクガへの安全対策として、巡視パトロール時に重点的な確認を行いました。毛虫の発生状況を確認し、発見時には周知看板による来園者への注意喚起を行うとともに、速やかに除去を徹底することで、公園利用者の安全確保と樹木の健全な維持に努めました。
	自己評価		巡視パトロールの重点項目としてツバキ類の定期的な点検を継続しましたが、チャドクガの発生は確認されませんでした。発生ゼロの状態を維持できたことは、日頃の警戒体制と適切な管理の成果であると評価しています。 今後も、発生時期や気象条件に応じた警戒を継続し、早期発見・早期対応が確実に行える体制を維持してまいります。また、必要に応じて来園者への注意喚起や情報提供も適宜行い、安全で安心して利用できる公園環境の確保に努めてまいります。
	事業名	高木パトロール(健康の森)	
	実施日		月 2 回実施 (4/9、25、5/9、29、6/15、30、7/9、26、8/22、31、9/10、25、10/10、26、11/8、22、12/18、25、1/12、26、2/9、27、3/16、30)
96	実施概要		枯損木や園路沿いの倒木、枯れ枝落下による事故を未然に防ぐため、健康の森において高木パトロールを毎月 2 回実施しました。園内の高木の状態を巡視し、倒木の危険性や枝折れの兆候を確認することで、安全な園内環境の維持に努めました。
	自己評価		計画どおり月 2 回の高木パトロールを継続して実施し、園内の高木の状態を定期的に把握することができました。特に台風通過後や強風時には重点的に巡視を行い、倒木や危険枝を発見した際には速やかに処理を行うことで、利用者の安全確保に寄与しました。 今後も、気象条件や季節変化に応じた重点的な巡視を継続し、危険木の早期発見・早期対応を徹底してまいります。また、巡視記録を蓄積し、倒木リスクの高い樹木の傾向を把握することで、より計画的な樹木管理に繋げてまいります。
97	事業名	土壌分析に基づいた管理(野球場)	
	実施概要		野球場のグラウンドコンディションを最適に維持するため、土壌分析に基づいた年間管理を実施しました。pH、陽イオン交換容量(CEC)、土壌中の栄養素、透水速度などの分析結果をもとに、年間のメンテナンス方針を策定し、土壌状態に応じた施肥・エアレーション・排水改善などの対応を行いました。これにより、主要大会に適した競技環境の維持を図りました。

		自己評価	社会人野球や高校野球など主要大会の開催を見据え、最高のグラウンドコンディションを提供するため、土壌分析に基づく年間メンテナンス計画を策定・遂行しました。 10月1日(水)に実施した詳細分析では、ライト側エリアにおける透水性の低下及びリン成分の過剰が判明しました。これを受け、2月に深層エアレーションを実施し排水性の改善を図るとともに、施肥設計を見直してリンの散布量を調整しました。これらのデータに基づく適切な処置により、大会期に合わせた芝の健全育成と競技環境の最適化を実現できたと評価しています。 今後も、定期的な土壌分析を継続し、データに基づいた精度の高い管理を行うことで、安定したグラウンド品質の維持とさらなる競技環境の向上を目指してまいります。
98	事業名	降雨時の対応(野球場)	
	実施概要		野球場のグラウンドコンディションを保護するため、降雨が予想される際には事前対応としてピッチャーマウンド及びバッターボックスに防水シートを敷設しました。大雨や長時間の降雨による土壌の軟化・流出を防ぎ、雨上がり後でも利用者が快適にプレーできる環境を維持することを目的に、気象情報を踏まえた迅速な対応を行いました。
	自己評価		気象情報の早期把握に努め、降雨が予測される際には事前に防水シートを敷設する対応を徹底しました。その結果、雨上がり後のグラウンド復旧作業を迅速化でき、利用者がぬかるみや不均一な地面を気にせず利用できる環境を維持することができました。これにより、利用率の向上にも寄与したと評価しています。 今後も、気象状況に応じた柔軟な対応を継続し、グラウンド保護と利用者の利便性向上の両立を図ってまいります。また、降雨後の状態記録を蓄積し、より効果的な保護方法や復旧手順の改善にも取り組んでまいります。
99	事業名	負荷の高い状態での管理(野球場)	
	実施概要		利用頻度が高い野球場において、芝生への負荷を軽減しつつ良好な練習環境を維持するため、使用状況に応じた独自の芝生管理を実施しました。特に、サッチをあえて適度に残すことでクッション性を確保し、摩耗の激しい外野エリアなどの保護を図るなど、負荷の高い環境に適した管理方法を採用しました。
	自己評価		高頻度の利用による芝生への負荷を軽減するため、あえてサッチを適度に残す阪神甲子園球場と同じ管理(過去に現地で研修実績あり)を実施しました。これにより、外野ポジション等の摩耗が激しい箇所の保護やクッション性を高め、競技者の足腰への負担軽減と、過酷な使用状況下における練習環境の維持を両立させました。 今後も、利用状況や季節ごとの芝生の状態を踏まえ、最適な管理方法を柔軟に取り入れながら、競技者にとって安全で快適なグラウンド環境の維持に努めてまいります。
100	事業名	主催者の要望に応じた調整(野球場)	

		実 施 概 要	社会人野球、高校野球など、主催者や大会の特性に応じた最適な競技環境を提供するため、芝生の刈込み高さや管理方法を柔軟に調整しました。大会ごとの要望や競技性、安全性を踏まえ、芝生の状態を細かく調整することで、利用者にとって最適なプレー環境の維持に努めました。
		自 己 評 価	社会人野球開催時には、芝の刈込み頻度を増やし、低刈り管理を行うことで高速な打球転がりを実現し、競技性の向上に寄与しました。 一方で、高校野球開催時には、連戦による選手の身体的負荷を考慮し、芝を長めに維持することで衝撃吸収性を高め、安全面を第一に考えたコンディション調整を行いました。これにより、大会の特性や主催者の要望に応じた柔軟な芝生管理を徹底できたと評価しています。 今後も、各大会の目的や競技レベルに応じた最適な芝生管理を継続し、競技性と安全性の両立を図りながら、利用者にとって質の高いグラウンド環境を提供してまいります。
	101	事 業 名	芝生のリサイクル(野球場)
		実 施 概 要	野球場で実施するコアリング作業により発生する抜き芝を有効活用し、バーベキュー広場の芝生化に再利用しました。本来であれば廃棄される芝生を資源として循環させることで、広場の緑化推進と環境負荷の低減を図る取り組みを継続しました。
		自 己 評 価	野球場のコアリング作業で発生した抜き芝をバーベキュー広場の芝生化に再活用し、裸地の解消と緑化の推進に寄与しました。これにより、廃棄物処理コストの抑制と資源の有効利用を同時に実現できたと評価しています。 今後も、芝生の生育状況を確認しながら追加の補植や管理を行い、広場全体の景観向上と利用環境の改善に繋げてまいります。
	102	事 業 名	公園資源の有効活用・リサイクル ※新規取組㉔
		実 施 概 要	豊かな自然環境を有する当該施設の管理にあたり、SDGs の観点を踏まえた公園資源の循環利用に取り組みました。野球場で発生する廃芝のリサイクルや、園内で収集した枯葉・落ち葉の堆肥化を行い、植栽管理に活用することで、環境負荷の低減と資源の有効活用を図りました。

		自 己 評 価	SDGs に配慮した持続可能な施設管理の一環として、公園内資源の循環利用を推進しました。野球場外野芝のパレット育苗による再活用の仕組みを構築したほか、収集した枯葉・落ち葉を堆肥化し、植栽管理に還元する循環サイクルを確立しました。 また、提案事業「恩賜苑レイクライト&森遊び」では、落葉を工作素材として提供し、環境教育の一助とするなど、廃棄物削減と資源活用の両面で効果を上げる取り組みとなりました。これらの活動により、園内資源の循環利用を促進し、環境負荷の低減と地域への価値提供を両立できたと評価しています。 今後は、日常の維持管理業務の中で実施可能な資源循環の取組を継続しながら、発生資源の有効活用範囲を段階的に整理・共有することで、職員全体による継続的な運用定着を図ってまいります。
その他維持管理	103	事 業 名	プロスポーツ大会に合わせた人員配置
		実 施 概 要	プロスポーツ大会や大規模イベント開催時において、来館者数の増加に対応するため、必要に応じて大会期間中の会場立ち合い及び施設巡回を実施しました。あわせて、利用者が快適に施設を利用できるよう、トイレ清掃の回数を増やすなど環境衛生管理を強化し、安全かつ円滑な施設運営に努めました。
		自 己 評 価	プロスポーツ大会や大規模イベント開催時には、来館者数の増加に対応するため、会場立ち合いや施設巡回を行うとともに、トイレ清掃を強化することで利用環境の維持に努めました。これにより、大きな混乱や事故なく大会運営を支えることができ、施設管理者として求められる受入体制を適切に確保できたと評価しています。 また、継続的な大会対応を通じて、来館者動向や運営上の留意点に関する知見を職員間で共有することができ、イベント対応力の向上に繋がりました。 今後も、大会規模や利用状況に応じた柔軟な対応を行いながら、安心・安全・快適に利用できる施設環境の維持に努めてまいります。
	104	事 業 名	排水桝の定期清掃
		実 施 日	月 1 回以上 (4/14、5/19、6/23、7/14、8/19、9/16、10/9、11/25、12/15、1/19、2/24、3/20)
		実 施 概 要	排水桝の崩落防止及び園内の冠水対策を目的に、月 1 回の定期清掃を実施しました。傾斜地に設置された排水桝は、落ち葉や泥が堆積すると水圧が増し、桝の破損や排水不良に繋がるため、定期的に堆積物を除去し、排水機能の維持に努めました。
		自 己 評 価	計画どおり月 1 回以上の排水桝清掃・点検を実施し、崩落防止と冠水対策に取り組みました。特に堆積物が多く発生する「健康の森」エリアや、落葉期の秋冬、台風シーズンには巡回頻度を増やし、落ち葉や土砂の即時除去を徹底しました。 落葉量が多く維持管理に高い負荷がかかる時期もありましたが、気象状況に応じた機動的な対応により、年間を通じて排水機能を正常に維持し、園内の

			安全性を確保できたと評価しています。 今後も、季節変動や気象条件を踏まえた重点的な清掃を継続し、排水設備の健全性を維持することで、利用者が安心して施設を利用できる環境づくりを進めてまいります。
105	事業名	公園利用マナー啓発巡視の実施	
	実施日	通年	
	実施概要	誰もが安心して公園を利用できる環境づくりを目的に、公園利用マナー啓発巡視を通年で実施しました。ペットの散歩マナーや自転車練習の制限など、利用者への啓発を行うとともに、子どもの健全な発育に必要な「適度なリスクを伴う遊び」を尊重し、過度な規制を避けつつリスク管理を行いました。また、多目的広場の遊具利用者とグラウンド利用者の動線調整など、利用者間の安全確保と円滑な利用調整にも取り組みました。	
	自己評価	利用者の安全確保と自由な利用環境の両立を図る取り組みとして、公園利用マナー啓発巡視をおおむね適切に実施できたと評価しています。マナー啓発看板の設置に加え、現地での声かけを組み合わせることで、利用者の理解促進に一定の効果が見られました。 一方で、利用者の価値観の違いによる意見の相違や、ルール認知不足に起因するトラブルが一部発生しており、継続的な周知と運用改善の必要性も確認されました。今後も、施設管理者として利用調整を丁寧に行い、立場の異なる利用者同士でも快適に利用できる公園運営を心がけてまいります。	

(3) 自主事業

業務水準書に基づき自主的に行う事業 11 種 53 事業)

スポーツ振興	1	事業名	バスケットボール教室(シーホース三河)		
		開催日時	8月30日(土)10:00～12:00	参加者数	31人
		開催場所	体育館		
		実施概要	シーホース三河と連携し、地元中学校の生徒を対象としたバスケットボール教室を体育館で開催しました。プロチームによる専門的な指導を受けられる機会を提供することで、競技力向上とスポーツへの関心醸成を図りました。		
		自己評価	≪参加者の声≫ ・プロ選手の指導がわかりやすい。 ・練習のモチベーションが上がった。		
			≪自己評価≫ シーホース三河との連携により、生徒がプロ選手から直接指導を受けられる貴重な機会を提供できました。参加者からは、技術面の理解が深まったことや練習意欲が高まったとの声が多く寄せられ、スポーツへの関心向上にも繋がったと評価しています。 一方で、参加枠の調整や学校側との日程調整に時間を要する場面もあり、運営面で改善の余地が見られました。 今後は、募集方法や事前調整の仕組みを見直し、より多くの生徒が参加しやすい体制づくりを進めてまいります。		
	2	事業名	バレーボール教室(東レアローズ)		
		開催日時	8月6日(水)12:20～16:00	参加者数	164人
		開催場所	体育館		
		実施概要	東レ(株)岡崎工場及び岡崎市スポーツ協会との共催により、東レアローズ(静岡・滋賀)の選手・コーチを講師に招いたバレーボール教室を体育館で開催しました。プロ選手による専門的な指導を通じて、地元子ども達が高度な技術に触れられる機会を提供しました。		
		自己評価	≪参加者の声≫ ・スパイクの細かい部分まで教えてくれて嬉しかった。 ・今までやったことのないレシーブ練習ができて満足。 ・部活でできないことを学べた。		

			東レアローズの選手・コーチによる専門的な指導のもと、レシーブやスパイクなどの実践的な練習を行い、子ども達が真剣に取り組む姿が印象的でした。アンケートでは、回答者 146 名中 140 名 (96%) が「満足」と回答しており、技術向上だけでなく、競技への意欲向上にもつながったと評価しています。 今後も、東レ(株)岡崎工場及び岡崎市スポーツ協会との連携を深め、地元の子も達がプロ選手から学べる貴重な機会を継続して提供してまいります。		
3	事業名	少年野球教室(三菱自動車岡崎)			
	開催日時	12 月 13 日 (土) 14:30～16:30	参加者数	110 人	
	開催場所	球技場			
	実施概要	三菱自動車岡崎硬式野球部 OB 及び日本生命硬式野球部 OB を講師に招き、球技場にて少年野球教室を開催しました。経験豊富な OB 選手による技術指導を通じて、子ども達が野球の基礎から応用まで幅広く学べる機会を提供しました。			
	自己評価	三菱自動車岡崎硬式野球部 OB と日本生命硬式野球部 OB による指導のもと、参加者の技能向上を図るとともに、スポーツの楽しさを改めて体感できる場を提供できました。多様な技術指導や実戦形式の練習を通じて、子ども達が真剣に取り組む、嬉しそうな表情を見せていたことが印象的でした。 今回の教室は、技術面だけでなく、野球への意欲向上にも繋がったと評価しています。 今後も、地域の子も達が質の高い指導を受けられる機会を継続して提供し、スポーツ振興と育成環境の充実を図ってまいります。			
4	事業名	サッカー教室(FC マルヤス岡崎)			
	開催日時	8 月 21 日 (木)16:00～17:00	参加者数	5 人	
	開催場所	岡崎中央総合公園 運動広場			
	実施概要	FC マルヤス岡崎の協力のもと、地元小学生を対象としたサッカー教室を運動広場で開催しました。選手から直接指導を受けられる機会を提供し、スポーツへの関心と基礎技術の習得を目的として実施しました。			
	自己評価	《参加者の声》 ・初めてサッカーをしたが楽しかった。 ・スポーツを行ういい機会になった。 ・選手の指導がわかりやすい。			

		《自己評価》 FC マルヤス岡崎の選手による専門的な指導を通じて、参加者にとって貴重な体験の場を提供できました。初めてサッカーに触れる児童も楽しんで参加しており、スポーツへの興味を広げる機会として一定の成果があったと評価しています。 一方で、参加者数が 5 名と募集人数(30 名)を大きく下回ったことは課題として認識しています。広報不足に加え、対象年齢層の多くが既にクラブチームに所属していることも影響したと考えられます。 今後は、学校との連携強化をはじめ、館内掲示やホームページ・SNSでの周知強化、地域スポーツ団体への直接案内など、児童や保護者に情報が届きやすい方法を拡充します。			
5	事業名	弓道・アーチェリー無料体験会			
	開催日時	弓道	4 月 5 日(土) 5 月 11 日(日) 3 月 8 日(日) 9:30～11:30	参加者数	16 人 19 人 20 人
		アーチェリー	9 月 14 日(日) 10:00～ 15:00	参加者数	24 人
	開催場所	弓道場、アーチェリー場			
	実施概要	市民の方々に弓道及びアーチェリーに親しむ機会を提供することを目的に、弓道場及びアーチェリー場にて無料体験会を開催しました。弓道は年間 3 回、アーチェリーは 1 回実施し、初心者でも安全に体験できるよう講師による丁寧な指導のもと実施しました。これにより、弓道施設の利用促進と競技人口の裾野拡大を図りました。			
	自己評価	前年度のスポーツフェスティバルをきっかけに弓道へ興味を持ち、今回の体験を楽しみに参加された方も見られました。参加者の多くは弓に触れるのが初めてで、矢をつがえる段階から苦戦しつつも、初めて放った矢が前に飛んだ瞬間に感動する姿が印象的でした。また、矢が的に当たった際の音を心地よく感じている様子も見られ、弓道・アーチェリーの魅力を実感していただけたと考えています。 これらの体験を通じて、競技への関心を高めるとともに、施設利用のきっかけづくりとして一定の成果があったと評価しています。 今後も、初心者が参加しやすい体験機会を継続し、弓道・アーチェリーの普及と利用促進に繋げてまいります。			
6	事業名	初級・中級アーチェリー教室			
	開催日時	初級	9 月 27 日(土) 10 月 4 日(土) 10 月 11 日(土)	参加者数	16 人

			10月18日(土) 11月1日(土) 11月15日(土) 13:00～15:30 全6回		
		中級	11月22日(土) 13:30～15:30	参加者数	14人
		開催場所	アーチェリー場		
		実施概要	アーチェリーに興味のある初級者(未経験者を含む)を対象に、全5回の初級教室と中級者向け教室をアーチェリー場で開催しました。基礎動作から距離を伸ばした実践練習まで、参加者のレベルに応じた技術指導を行い、継続的に取り組める環境づくりを図りました。		
		自己評価	幅広い年代の参加者に対応できるよう指導内容を段階的に構成し、基礎動作の習得から距離を伸ばした実践練習まで、参加者のレベルに応じた教室運営を行うことができました。初級者は安全な射技の基礎を習得し、中級者は技術向上を目指した練習に取り組むなど、それぞれの段階に応じた成果が見られました。 今後は、初心者が参加しやすい環境を維持するとともに、初級から中級へと継続的にステップアップできる教室体系を継続し、競技普及と安定的な施設利用の促進に繋げてまいります。		
7		事業名	親子で相撲体験会		
		開催日時	10月19日(日) 13:30～15:30	参加者数	15人
		開催場所	相撲場		
		実施概要	岡崎市相撲連盟の協力のもと、未就園児から小学生までの家族を対象とした「親子で相撲体験会」を相撲場で開催しました。参加者の年齢や経験に応じて内容を調整し、土俵に上がる体験から基本動作まで、親子で楽しみながら相撲に触れられるプログラムを実施しました。		
		自己評価	《参加者の声》 ・子どもでも参加できるイベントで良かったです。 ・土俵に上がるだけでも雰囲気を楽しめました。 《自己評価》 未就園児でもレクリエーション感覚で気軽に参加できる内容としたことで、参加者の満足度向上に繋がりました。途中退席が可能な柔軟な運営形態も、小さな子どもを持つ家庭から好評であり、親子で安心して参加できる環境づくりに寄与したと評価しています。 一方で、前年度と比較すると参加者数は減少傾向にあり、広報の強化や新たな魅力づくりが今後の課題として挙げられます。 今後は、相撲の楽しさがより伝わる体験内容の工夫や、家族で参加しやすい周知方法の検討を進め、参加者の拡大を図ってまいります。		

スポーツレクリエーション	8 - 1	事業名	中総杯(ゲートボール)		
		開催日時	11月12(水)8:30～15:00	参加者数	57人
		開催場所	球技場		
		実施概要	岡崎市内のゲートボールチームによる交流を目的に中総杯を開催しました。地域の愛好者が一堂に会し、競技を通じた交流と親睦を深める場として、スポーツ大会の機会を提供しました。		
		自己評価	岡崎ゲートボール協会協力のもと、前年度に引き続き多くの方に参加いただきました。なかには中総杯の開催を楽しみにされていた方もみえ、実施する意義を体感することもできました。競技を通じて参加者同士の交流が活発に行われ、地域スポーツの振興に寄与する大会となったと評価しています。 今後も地域のスポーツ活動を支える場として継続的に取り組み、参加者が楽しめる大会運営を目指してまいります。		
	8 - 2	事業名	中総杯(軟式野球)		
		開催日時	11月15日(土)10:30～16:00 11月16日(日)8:30～16:00 11月30日(日)9:00～13:00 12月13日(土)9:00～13:00	参加者数	169人
		開催場所	球技場		
		実施概要	岡崎軟式野球協会の協力のもと、地域の軟式野球チームを対象とした「中総杯争奪軟式野球大会」を球技場で開催しました。複数日にわたり試合を実施し、地域チームの競技力向上と交流促進の場として大会運営を行いました。		
		自己評価	≪参加者の声≫ ・この大会を目指して練習をしている。 ・緊張したが優勝できてよかった。 ≪自己評価≫ 地域の軟式野球チームが一堂に会する機会を提供することで、競技力向上だけでなく、チーム間交流や地域スポーツの活性化に寄与しました。また、複数日にわたる大会運営を通じて、球技場の利用促進にも繋がったと評価しています。 一方で、日程調整や天候リスクへの対応、参加チーム数の確保など、運営面での課題も確認されました。 今後は、募集方法の見直しや早期の広報展開、予備日の設定などを検討し、より円滑で参加しやすい大会運営を目指してまいります。		
	9	事業名	公園ウォークラリー		
		開催日時	10月1日(水)～12月9日(火)	参加者数	37人
		開催場所	園内		
		実施概要	「公園内の回遊」と「紅葉」をテーマとしたフォトウォークラリーコンテストをInstagram上で実施しました。園内を歩きながら撮影した写真を投稿してもらう形式とし、来園者が楽しみながら公園の魅力を再発見		

			できる機会を提供しました。		
		自 己 評 価	本企画には 37 人から投稿があり、紅葉の風景をはじめ、公園内を回遊しながら撮影した写真や、ラリージャパンなど園内で開催されたイベントの様子を捉えた投稿も見られました。 来園者自身が SNS を通じて当施設やイベントの魅力を発信することで、来園者視点での情報発信に繋がり、公園の認知向上にも寄与したと評価しています。 今後も、園内の魅力を楽しみながら発信できる参加型企画を継続し、来園促進と情報発信力の強化を図ってまいります。		
	10	事 業 名	岡崎サタデーナイトリレーマラソン		
		開 催 日 時	10 月 4 日(土)16:40～21:00	参加者数	2,700 人
		開 催 場 所	野球場及び園内		
		実 施 概 要	岡崎市スポーツ協会との共催により、野球場をスタート・ゴールとし園内を周遊する「岡崎サタデーナイトリレーマラソン」を開催しました。毎年恒例のイベントとして定着しており、家族連れや企業チーム、学生など幅広い層が参加し、夜間の公園を舞台にチームでタスキをつなぐリレー形式の大会を実施しました。		
		自 己 評 価	《参加者の声》 ・チームで走れて楽しかった。 ・このイベントに参加するのが毎年の楽しみ。 ・走り終わった後のキッチンカーが楽しみ。		
			《自己評価》 継続して実施しているスポーツイベントとして多くの参加者に親しまれており、今年度も家族連れや企業チーム、学生など幅広い層が参加しました。キッチンカーの出店や花火の演出など、イベント性を高めた取り組みにより、地域交流の促進とスポーツ参加機会の拡大に寄与しました。参加者からは「毎年楽しみにしている」との声も寄せられ、継続開催の価値を改めて感じることができました。 一方で、参加者数が多いことから、受付や動線、駐車場利用などで混雑が発生する場面もあり、運営体制のさらなる改善が必要であると認識しています。 今後は、受付方法の分散化、案内表示の強化、ボランティア配置の最適化などを検討し、より安全で円滑な大会運営を目指します。		
	11	事 業 名	トレランフェス岡崎		
		開 催 日 時	3 月 29(日)9:00～13:30	参加者数	469 人
		開 催 場 所	プロムナード、自然観察の森ほか		
		実 施 概 要	プロムナードや自然観察の森を含む公園敷地内及び隣接する私有地を活用し、「トレランフェス岡崎」を開催しました。自然豊かな環境を生かしたコース設定により、市内外の参加者が岡崎の魅力を体感しながら走ることができるトレイルランニング大会として実施しました。		

		自 己 評 価	岡崎の自然環境やアクセスの良さ、観光地としての魅力、そして額田地域の特色を、市外・県外の参加者へ広く PR することができました。投稿やアンケートからも、岡崎の自然や地域の雰囲気を楽しんだ様子が伺えました。 市制 100 周年を機に地域住民の協力を得て始まった本大会は、今回で 9 回目の開催となりました。公園敷地内だけでなく、隣接する私有地の地権者や地域住民が準備段階から協力しており、地域ぐるみで支えるイベントへと発展しています。これにより、森林整備や地域おこしにも繋がり、多方面に効果をもたらす事業となりました。 今後も、地域との連携を深めながら、参加者が安全に楽しめる大会運営を継続し、岡崎の魅力発信と地域活性化に寄与してまいります。		
	12	事 業 名	キャンドルナイトヨガ		
		開 催 日 時	9 月 13 日(土)18:30～19:30 予備日:9 月 20 日(土)	参加者数	未開催
		開 催 場 所	風の道		
		実 施 概 要	風の道にキャンドルを並べ、自然の風や夜の雰囲気を感じながら行うヨガ教室として企画しました。屋外ならではの開放感と、キャンドルの灯りによる非日常的な空間づくりを通して、心身のリラックスを促すことを目的としていました。		
		自 己 評 価	開催日及び予備日ともに雨天となり、安全面を考慮して中止としました。実施には至りませんでした。自然の中でキャンドルの灯りに包まれて行う屋外ヨガは、屋内では得られない魅力があり、参加希望者からの関心も高い企画でした。 今後は、天候リスクを踏まえた開催時期の検討や、雨天時の判断基準の明確化など、屋外の良さを損なわずに実施できる体制づくりを進めてまいります。		
子ども運動	13	事 業 名	親子ふれあい体操		
		開 催 回 数	37 回	参加者数	1,280 人
		開 催 場 所	第 1 錬成道場		
		実 施 概 要	未就園児とその保護者を対象に、親子で触れ合いながら体操や工作を行う教室を実施しました。同年代の子ども達と一緒に活動することで、楽しみながら社会性を育むことを目的としています。 3 か月更新制で年間を通して継続的に開催し、親子の交流と成長の場を提供しました。		
		自 己 評 価	《参加者の声》 ・歳が近い子ども達と交流できる。 ・挨拶ができるようになった。 ・子どもの笑顔が見られた。 ・とても楽しく身体を動かしてよかったです。 ・子どもの成長が見られてよかったです。 ・今しかできない特別な経験、宝物になりました。		

			《自己評価》 本事業は更新ごとに継続参加される方が多く、親子で安心して参加できる場として高い支持を得ています。活動を通して子どもの成長を実感できたという声も多く、親子のふれあいと社会性の育成に寄与していると評価しています。 今後も、利用者の満足度を維持・向上させられるよう、講師と連携しながら内容の工夫や環境づくりに取り組み、安定した運営を継続してまいります。		
14	事業名	キッズダンス			
	開催回数	43回	参加者数	239人	
	開催場所	多目的練習室			
	実施概要	年齢や発達段階に応じた3つのクラス(リトル・キッズ・ジュニア)に分けて実施しました。 ＜リトルコース(年中・年長対象クラス)＞ 子どもが親しみやすい音楽を使用し、楽しく踊りながらリズム感や身体の動きを身につける。 ＜キッズ(小学1～3年生対象クラス)＞ 怪我を防ぐための柔軟方法を学び、ステップや基本動作の大切さを体感しながらダンスの基礎を習得する。 ＜ジュニア(小学4～6年始対象クラス)＞ HIP HOPやジャズの基礎動作を取り入れ、音楽に合わせて表現力豊かに踊ることを目指す。			
	自己評価	4～6月期及び10～12月期には、当施設で開催される大規模イベントでステージ出演を行いました。また、イベント出演がない期間は、教室の最終日に発表会を実施しました。これらの発表の場は、子ども達にとって達成感を味わえる貴重な機会となり、保護者にとっても成長を実感できる場として高い満足度に繋がりました。 各クラスとも継続して参加する子どもが多く、ダンスを通じて体力向上だけでなく、表現力や自信の育成にも寄与していると評価しています。 今後も、子どもたちが楽しく成長できる教室運営を講師と連携しながら進めてまいります。			
15	事業名	子ども運動教室			
	開催回数	32回	参加者数	574人	
	開催場所	第1錬成道場			
	実施概要	小学校低学年を対象に、マット運動・鉄棒・跳び箱などの基礎的な運動を専門講師から学ぶ教室を実施しました。3か月更新制で年間を通して継続的に開催し、基礎体力の向上や運動への自信づくりを目的としています。多様な運動に取り組むことで、子ども達が楽しみながら身体の使い方を身につけられる環境を整えました。			

		自 己 評 価	《参加者の声》 ・最初はついていけなかったのが、次第にできるようになっていったのが、本人の自信に繋がったようでよかった。 ・縄跳びやマットができるようになり、自分に自信が持てるようになった。 《自己評価》 参加者の声からも、「できないことができるようになる」経験を積み重ねることで、子ども達の自己肯定感の向上に繋がっていることがうかがえます。基礎運動を段階的に学べることから、子どもの可能性を伸ばす場として高い評価を得ており、人気の教室となっています。 今後も、子ども達が達成感を味わいながら成長できるよう、講師と連携し内容の充実を図り、継続して参加したくなる教室運営に努めてまいります。		
健康増進	16	事業名	定例教室イベント ※新規取組①		
		開催日時	9月7日(日) 9:30～18:30	参加者数	129人
		実施概要	当施設で実施している7種目の定例教室(子ども運動教室、親子ふれあい体操、キッズダンス、ヨガ、エアロ、バレトン、ZUMBA)を、1日で無料体験できるイベントとして開催しました。幅広い年代が参加しやすいよう、時間帯ごとに複数のプログラムを設定し、教室の雰囲気や内容を気軽に体験できる機会を提供しました。		
		自己評価	初開催でありながら129人の参加があり、多くの方に教室の魅力を知っていただく機会となりました。無料で体験できる形式としたことで、これまで教室に参加したことがない方にも関心を持ってもらうことができ、教室全体のPR効果に繋がりました。 今後は、参加者のニーズを踏まえたプログラム構成や、教室への継続参加に繋がる仕組みづくりを検討し、より効果的な教室紹介イベントとして発展させてまいります。		
	17	事業名	介護予防運動教室 ※新規取組②		
		実施日時	9月7日(日)15:00～16:00 10月17日(金)、18日(土) 10:00～16:00	参加者数	25人
		実施概要	高齢者を対象に、介護予防を目的とした運動教室を新たに実施しました。9月7日は第1錬成道場で、10月17日・18日は高年者センターに出向いて開催し、参加者が身近な場所で受講できるよう配慮しました。指導は体育大学出身の職員が担当し、運動不足の解消や将来の健康づくりに繋がる内容を提供しました。		

		自己評価	《参加者の声》 ・運動不足解消になった。 ・将来のためにも継続して続けていきたい。		
		自己評価	《自己評価》 9月7日は12名、10月17日・18日は13名の参加があり、延べ25名に受講いただきました。当施設だけでなく、高年者センターでも実施したことで、対象年齢層にとって参加しやすい環境づくりに繋がりました。 また、体育大学出身の職員による指導は、参加者の体力に合わせた丁寧な運動サポートに繋がりと、安心して取り組める教室として評価されました。一方で、参加者の体力差への対応や、内容のさらなる多様化が必要であると感じました。 今後は、個々の運動レベルに応じたプログラムの工夫や、広報方法の見直しを進め、より多くの高齢者が参加しやすい教室運営を目指してまいります。		
18	定例教室	事業名	脂肪燃焼エアロビクス教室		
		開催回数	43回	参加者数	1,209人
		開催場所	多目的練習室		
		実施概要	脂肪を燃焼させやすい動きを中心に構成した、ベーシックなエアロビクス教室を実施しました。音楽に合わせて全身を動かし、運動不足の解消や体力向上を目指す内容としました		
19		事業名	かんたんエアロビクス教室		
		開催回数	43回	参加者数	912人
		開催場所	多目的練習室		
		実施概要	初心者でも無理なく取り組める、基本動作を中心としたエアロビクス教室を実施しました。音楽に合わせて楽しく体を動かし、運動習慣づくりや健康維持を目的とした内容としました。		
20		事業名	初級ヨガ教室(火曜・木曜)		
		開催回数	76回	参加者数	3,493人
		開催場所	第2錬成道場		
		実施概要	基本的なポーズを中心に、心身のバランスを整える入門編のヨガ教室を火曜・木曜の週2回実施しました。呼吸と姿勢に意識を向けながら、無理なく取り組める内容としました。		
21		事業名	リフレッシュヨガ教室		
		開催回数	40回	参加者数	1,396人
		開催場所	第2錬成道場		
		実施概要	筋力強化や関節の柔軟性向上、シェイプアップに効果のあるポーズを多く取り入れたヨガ教室を実施しました。心身をリフレッシュしながら取り組める内容としました。		

	22	事業名	ナイトヨガ教室 ※新規取組③		
		開催回数	34 回	参加者数	993 人
		開催場所	第 2 錬成道場		
		実施概要	ポーズで体を伸ばしながら呼吸を整え、血行を促す初心者向けのヨガ教室を夜間に実施しました。1 日の終わりに心身をリラックスさせる内容としました。		
	23	事業名	ZUMBA 教室		
		開催回数	42 回	参加者数	1,045 人
		開催場所	多目的練習室		
		実施概要	ラテンのリズムに合わせて体幹を動かし、心肺機能の向上や脂肪燃焼を目指すエクササイズとして ZUMBA 教室を実施しました。音楽に乗って楽しく全身を動かせる内容としました。		
	24	事業名	ZUMBA&ストレッチ教室		
		開催回数	42 回	参加者数	637 人
		開催場所	多目的練習室		
		実施概要	ストレッチを取り入れながら、ラテンのリズムに合わせて体を動かす ZUMBA 教室を実施しました。柔軟性向上と脂肪燃焼を同時に目指せる内容としました。		
	25	事業名	バレトン教室		
		開催回数	30 回	参加者数	516 人
		開催場所	多目的練習室		
		実施概要	バレエの動きを取り入れた、初心者向けのコアエクササイズとしてバレトン教室を実施しました。全身をバランスよく動かし、体幹強化や姿勢改善を目指す内容としました。		
	26	事業名	フラダンス教室		
		開催回数	39 回	参加者数	191 人
		開催場所	多目的練習室		
		実施概要	ゆったりとした音楽に合わせ、「太陽・海・花」をイメージした振り付けで踊る初級フラダンス教室を実施しました。基礎的なステップを中心に、楽しみながら体を動かせる内容としました。		
	—	定例教室 全体自己評価	定例教室全体では 10,392 人の参加がありました。前年度の 9,014 人から 1,378 人増となり、目標人数(9,132 人)に対しても 1,260 人上回る結果となりました。 6 月から新設したナイトヨガ教室が好調であったことに加え、定例教室イベントの実施効果、ホームページや SNS による広報、そして高い技術力を持つ講師陣の魅力が参加者増加に寄与したと考えられます。 来年度は、愛知・名古屋 2026 大会に伴う休業期間の影響で開催数が減少する見込みです。そのため、教室の PR 方法を工夫し、再開後の参加者獲得に繋がる取り組みを進めてまいります。		

27	事業名	新生活応援キャンペーン ※新規取組④		
	開催日時	4月8日(火)～5月11日(日)	参加者数	153人
	開催場所	トレーニング室		
	実施概要	新社会人を対象に、トレーニング室の利用促進を目的としたキャンペーンを実施しました。スタンプカードを配布し、5回利用で景品(トレーニング室無料券またはゼリー飲料)と交換できる仕組みとすることで、継続利用を促しました。		
	自己評価	前年度の施設改修による休業期間(1/4～2/28)で減少した利用者数の回復も目的として実施しました。参加者 153 人のうち、69 人がスタンプをコンプリートし、そのうち 46 人がトレーニング室無料券と交換しました。 休業直前の 12 月における新規利用者数 34 人を目標としていましたが、結果は 69 人と大きく上回り、新規利用者の獲得に効果が見られました。 今後も、利用頻度の向上と新規利用者の取り込みを図り、トレーニング室の利用率向上に繋がる取り組みを継続してまいります。		
28	事業名	ビギナーズ教室		
	開催日時	7月15日(火)、7月21日(月祝) 各日 15:00～16:00	参加者数	6人
	開催場所	トレーニング室		
	実施概要	新規利用者を対象に、トレーニング室の基本的な使い方を学べるビギナーズ教室を開催しました。マシンの操作方法や安全なトレーニング手順を説明し、安心して利用を始められるよう支援する内容としました。		
	自己評価	《参加者の声》 ・1人だと挑戦しづらい器具も使えた。 ・丁寧に説明してもらえて良かった。 《自己評価》 マシンの正しい使用方法や安全なトレーニング手順を丁寧に説明したことで、参加者の利用意欲向上に繋がりました。一方で、体力差や理解度に応じた個別対応が必要となる場面もあり、指導体制の強化が課題として挙がりました。 今後は、参加者のレベルに応じた説明方法の工夫や、教室後のフォローアップを検討し、より多くの方が安心してトレーニング室を利用できる環境づくりを進めてまいります。		
29	事業名	健康相談窓口		
	開催日時	6月5日(木) 7月3日(木) 7月17日(木) 各日 10:00～13:30	参加者数	計 19人

		開催場所	トレーニング室		
		実施概要	利用者が気軽に健康について相談できる場を提供することを目的に、愛知学泉大学の協力を得て健康相談窓口を設置しました。運動だけでなく、生活習慣や身体の悩みに関する幅広い相談に対応できる体制としました。		
		自己評価	≪参加者の声≫ ・専門的な意見が効けて良かった。 ・運動の継続に前向きになれた。		
			≪自己評価≫ 利用者が健康について気軽に相談できる環境を整えたことで、延べ19名の参加があり、健康意識の向上に寄与できたと考えます。一方で、相談内容が多岐にわたるため、より専門的な対応が必要となる場面もあり、相談体制の強化が課題として残りました。 今後は、相談内容の傾向を分析し、テーマ別の相談日設定や大学との連携強化を図ることで、より充実した健康支援の提供に繋がる取り組みを進めてまいります。		
障がい者スポーツ振興	30	事業名	パラスポーツ体験会		
		開催日時	3月28日(土)13:30～16:30	参加者数	24人
		開催場所	武道館		
		実施概要	一般社団法人日本パラバレーボール協会から講師を招き、パラバレーボールの体験会を開催しました。競技の概要やルールを学びながら、実際に座位でのプレーを体験する内容としました。		
		自己評価	≪参加者の声≫ ・今までやったことがないけれどやってみて楽しい。 ・サーブが難しい。		

			《自己評価》 前年度は関係者向けに実施していた体験会を、今年度は市内でバレーボールに携わる子ども達を対象として開催し、より広い層へのパラスポーツ普及を図りました。 一般社団法人日本パラバレーボール協会より講師を招き、競技概要やルールの説明に加え、実際に座位でのプレーを体験する内容としたことで、参加者が競技特性やパラスポーツへの理解を深める機会となりました。初めは戸惑いも見られましたが、体験を通じて楽しさを実感する声が多く寄せられ、競技への関心喚起及び共生社会への理解促進に寄与できたものと評価しています。 今後は、関係団体との連携を継続しながら、施設特性を活かしたパラスポーツ体験の機会提供を行い、誰もがスポーツに親しめる環境づくりと障がい者スポーツの普及促進に繋げてまいります。		
愛知・名古屋 2026 大会支援	31	事業名	愛知・名古屋 2026 大会競技体験イベント ※新規取組⑤		
		開催日時	10 月 26 日 (日) 10:00～17:00	参加者数	1,761 人
		開催場所	体育館		
		実施概要	「愛知・名古屋 2026 1 年前イベント業務共同事業体」が実施する「愛知・名古屋 2026 1 年前イベント」に協力し、当施設では 4 つの競技体験ブースを担当しました。 担当ブースは以下のとおりです。 ・バレーボールブロックフォトコーナー ・バスケットボールシュートチャレンジ ・卓球打ち返しチャレンジ ・カヌー写真撮影コーナー 子どもから大人まで気軽に参加できる内容とし、競技の魅力に触れられる体験機会を提供しました。		
		自己評価	《参加者の声》 ・バレーボールのジャンプの世界最高到達点ってこんなに高いんだ。 ・卓球のボールが自動的に出て来て打ち返すのが楽しかった。 ・バスケットボールは久しぶりにやって気持ちよかった。 ・カヌーは初めて本物を見ました。実際に世界大会に出場された方の物だと聞いて感動しました。 《自己評価》 「愛知・名古屋 2026」の競技会場となる当施設において、1 年前イベントに施設管理者として参画し、4 種目の競技体験ブースを運営しました。 子どもから大人まで気軽に参加できる体験内容となるよう工夫したことで、終日多くの来場者に参加いただき、競技の魅力を身近に感じてもらう機会を創出することができました。参加者の声からも、競技への関心喚起や新たなスポーツ体験の機会提供に繋がったことが確認		

			できました。 本事業を通じて、大会開催会場としての認知向上とともに、地域における大会機運の醸成に寄与できたものと評価しています。 今後も関係機関と連携しながら大会に向けた取り組みに協力し、スポーツ振興及び大会レガシーの形成に繋げてまいります。		
	32	事業名	アジア記録に挑戦コーナー		
		設置期間	「1 事業の実施状況 / (2) 提案事業 / イその他提案事業 / No.24 愛知・名古屋 2026 大会関連特設コーナーの設置」の一部として実施		
		設置場所			
		概要			
公園 利 活 用	33	自己評価			
		事業名	他施設連携イベント 「おかざき魅力発見スタンプラリー」 ※新規取組⑥		
		開催期間	11 月 11 日(火)～12 月 28 日(日)	参加者数	1,761 人
		連携施設	岡崎中央総合公園(総合体育館)・岡崎城公園(岡崎城・三河武士のやかた家康館)・道の駅藤川宿・奥殿陣屋		
		実施概要	当法人が管理する市内 5 施設を巡る「おかざき魅力発見スタンプラリー」を新規取組として実施しました。 各施設にスタンプポイントを設置し、5 施設すべてを巡ると景品抽選に応募できる仕組みとし、市内周遊の促進と施設の魅力発信を図りました。		
		自己評価	スタンプをコンプリートした 57 人の中から抽選で 5 人を選び、コンプリート賞として岡崎城オリジナルサコッシュを贈呈しました。景品に関する問い合わせが多く寄せられたことから、今回は「岡崎ゆかりの品」など、より参加意欲を高める表記や PR 方法の工夫が必要であると感じました。 当法人が管理する 5 施設を横断して巡る仕組みとしたことで、市内周遊の促進や各施設の魅力発信に繋がったと考えます。 今後も施設間連携を強化し、岡崎市の魅力をより多くの方に知っていただける取り組みを進めてまいります。		
	34	事業名	エール！マルシェ(キッチンカーマルシェ)		
		開催日時	7 月 19 日(土)～7 月 27 日(日)(高校野球開催日)		
		開催場所	野球場周辺		
		実施概要	高校野球開催日にあわせて、野球場周辺でキッチンカーマルシェ「エール！マルシェ」を実施しました。来場者が試合観戦とともに多彩なグルメを楽しめるよう、キッチンカーの出店を行いました。		
		自己評価	高校野球開催日に合わせてキッチンカーマルシェ「エール！マルシェ」を実施し、来場者が試合観戦とともに多様な飲食を楽しめる環境を整備しました。 観戦体験に飲食の楽しさを付加することで滞在満足度の向上に繋がりが、野球場周辺の賑わい創出及び大会開催時の魅力向上に寄与できたものと考えています。		

			また、試合観戦以外の来園動機にも繋がり、公園の利用価値を高める取り組みとして一定の効果があったと評価しています。 今後も大会やイベント特性に合わせた出店内容の調整を行いながら、来場者サービスの向上と施設の魅力向上に繋がる賑わいづくりを継続してまいります。
35	事業名	中総桜ライトアップ	
	開催期間	3月28日(土)～4月5日(日)	18:00～20:30 ※雨天中止
	開催場所	プロムナード	
	実施概要	プロムナードの桜並木をライトアップし、夜間でもゆったりと桜を楽しめる空間を提供しました。また、Instagram を活用したフォトコンテストを同時開催し、当公園の魅力発信と利用促進に繋げる取り組みとしました。	
	自己評価	Instagram の仕様変更により投稿数の把握はできませんでしたが、夜間のプロムナードには数十名の散策者が見受けられ、ライトアップされた桜を楽しむ姿が見られました。夜間の新たな来園機会を創出できたことから、季節イベントとして一定の効果があったと考えます。 今後は、来園者に安心して楽しんでもらえるよう、照明設備の点検や安全面の確認を徹底しつつ、広報方法の工夫や情報発信の強化を図り、より多くの方に足を運んでもらえるイベントとなるよう取り組んでまいります。	
36	事業名	花火大会サテライト会場	
	開催日時	8月2日(土)14:00～20:30	
	開催場所	体育館・野球場第1駐車場、体育館第3駐車場	
	実施概要	当公園が指定された「岡崎城下家康公夏まつり 第77回 花火大会サテライト会場」を盛り上げ、来場者の利便性向上と公園の賑わい創出を目的として実施しました。 《体育館・野球場第1駐車場》 ・花火ライブ配信 ・eスポーツ体験 ・キッチンカー等17店舗 《体育館・野球場第3駐車場》 ・露天商11店舗 《総合体育館エントランス》 ・段ボール迷路 ・はちみつ絞り	

		自己評価	観覧者は約 4,500 人で、気温の上昇の影響もあり前年の約 5,000 人には届きませんでしたが、会場全体としては多くの来場者で賑わいが見られました。 ビジョンカーによる花火のライブ配信が始まるまでの時間帯には e スポーツ体験会を実施し、子どもを中心に家族連れにも楽しんでいただけました。また、暑さを避けられる総合体育館エントランスでは段ボール迷路やはちみつ絞り体験を用意し、花火開始まで快適に過ごせる環境づくりに努めました。 飲食販売では 28 店舗に出店いただき、購入しやすい動線を考慮したレイアウトとしたことで、花火終了までコンスタントに待機列が形成され、来場者の満足度向上に繋がったと考えます。 今後は、会場運営の効率化や安全面の強化を図りつつ、来場者が安心して楽しめる環境づくりに取り組み、より良いサテライト会場の実現を目指してまいります。		
37	事業名	親子防災教室			
	開催日時	12 月 7 日(日)10:00～12:00		参加者数	3 組 7 人
	開催場所	体育館第 1 会議室			
	実施概要	南海トラフ地震を中心に災害について学び、ライフラインが途絶した際の対応や、閉じ込められた場合の救助要請の方法などを学ぶ親子向け防災教室を実施しました。また、防災工作として簡易ろ過装置の製作体験を行い、実践的な学びに繋がりました。			
	自己評価	《参加者の声》 ・防災の知識が身に付きました。 ・低学年と幼児と参加したため、子どもには少し難しい内容かなと思いました。幼児向けの防災教室があったら参加してみたいです。大人にとってはとてもためになりました。 《自己評価》 これまで宿泊体験や 1 日企画など、毎年趣向を変えて開催してきた防災イベントを、今年度は子どもの集中力に配慮し、2 時間の教室形式としました。地域性を踏まえた「岡崎で災害が起こったら」という視点の座学は興味深い内容でしたが、小学校低学年にはやや難しい部分も見受けられました。 一方で、実技として簡易ろ過装置の製作を取り入れたことで、気分転換にもなり、実際に作って確かめるという体験的な学びに繋がりました。 今後は、今回得られた意見や反応を参考にしながら、防災に関する啓発の機会づくりや情報発信の工夫を進め、地域の防災意識向上に寄与できる取り組みを継続してまいります。			
38	事業名	施設バックヤードツアー			
	開催日時	6 月 8 日(日)10:00～12:00		参加者数	2 組 5 名
	開催場所	岡崎レッドダイヤモンドスタジアム			

		実 施 概 要	岡崎レッドダイヤモンドスタジアム内の各部屋を巡り、球場の仕組みや裏側を知ってもらうバックヤードツアーを実施しました。 ・施設内見学 ・球場整備機械の解説(野球場職員より) ・スコアボードの操作体験 普段は入ることのできないエリアの見学や、実際に触れて体験できる内容を盛り込み、球場への理解を深める機会としました。		
		自 己 評 価	《参加者の声》 ・とても満足な体験でした。 ・スコアボードの操作が楽しかった。 ・整備機械の使い方が興味深かった。 ・告知方法を改善すればもっと参加が望めそう。 《自己評価》 スコアボード棟の内部やブルペン、カメラマン席など、普段は立ち入ることのできない場所の見学は参加者から好評でした。特別席での試合観戦も休憩を兼ねた良い体験となりました。 また、外野用芝刈り機や内野用グラウンドレーキなど、球場整備に使用する機械の説明と乗車体験も興味を引き、参加者の反応が良好でした。なかでも最も好評だったのはスコアボードの操作体験で、得点やストライク・ボールの表示を実際に操作する体験に子ども達が熱中していました。 一方で、募集 10 組 20 名に対し参加は 2 組 5 名にとどまり、参加人数の確保が課題として残りました。 今後は、今回の反応や参加者の声を踏まえ、告知方法や情報発信の工夫を図り、より多くの方に球場の魅力を知っていただける機会づくりに取り組んでまいります。		
公園リクリエーション	39	事 業 名	アウトドアクッキング教室		
		開 催 日 時	「1事業の実施状況／(2)提案事業／ア新規提案事業 恩賜苑レイクライト」の企画の 1 つとして実施		
		開 催 場 所			
		実 施 概 要			
		自 己 評 価			
	40	事 業 名	中総かるキャン		
		開 催 日 時	10 月 12 日(日) 9:30～18:00	参加者数	4 組 11 名
		開 催 場 所	風の道、バーベキュー広場芝生エリア		
		実 施 概 要	手ぶらで楽しめるデイキャンプイベント「中総かるキャン」を開催しました。 《風の道》 ・廃材竹の食器作り ・薪割り・火おこし体験		

		・野外料理に挑戦！（昼食） ・おやつタイム（マシュマロサンドづくり） 《バーベキュー広場》 ・家族対抗モルック大会 《健康の森》 ・散策ツアー 自然の中での体験活動を通じて、親子で楽しみながら学べるプログラムとしました。			
	自 己 評 価	《参加者の声》 ・廃竹材の工作が楽しかった。 ・マシュマロサンドが美味しかった。 ・雨が心配でしたが降られる前にできてよかったです。 ・森の散策ができなかったのが残念でした。			
		《自己評価》 例年は 1 泊 2 日の形式でしたが、より気軽に参加できるよう日帰りイベントとして実施しました。廃材竹の食器作りや薪割り・火おこし体験などの体験プログラムは大変好評で、特に食器作りでは細部までこだわって制作する家族の姿が多く見られました。 家族対抗モルック大会では、イベント協力を依頼したボーイスカウトのメンバーも加わり、会場全体で盛り上がりが生まれました。一方で、野外料理における食材不足や、雨天時の対応を事前に定めていなかった点は改善すべき課題として残りました。 今後は、今回の運営で得られた課題や参加者の声を踏まえ、準備体制や当日の対応方法をより丁寧に整えることで、参加者が安心して楽しめる体験型イベントの充実を図ってまいります。			
41	事 業 名	自然観察体験会			
	開 催 日 時	6 月 28 日(土)9:30～11:30		参加者数	10 人
	開 催 場 所	バーベキュー広場・健康の森			
	実 施 概 要	ネイチャーゲームや伐木材を使用した工作などを通じて、自然との繋がりを感じられる自然体験プログラムを実施しました。バーベキュー広場や健康の森の環境を活かし、親子で自然に触れながら学べる内容としました。			
	自 己 評 価	定員 10 人に対し、家族 9 組 21 人の応募があり、自然体験への関心の高さがうかがえました。散策しながら拾った材料を紙に貼り、生き物を描くワークショップでは、子ども達が自ら積極的に植物や昆虫を探し、観察し、拾った素材をどのように組み合わせて形にするかを工夫する姿が印象的でした。落ち葉の特徴を上手に活かして作品を作るなど、自然への興味を深めながら取り組む様子が見られました。			
		また、自然を通じて親子が一緒に活動することで、ふれあいの時間に			

			も繋がり、家族で楽しめる体験の場となりました。 今後は、今回の参加者の反応を踏まえ、自然に親しむ機会づくりや季節に応じた体験プログラムの検討を進め、より多くの方が自然と触れ合える環境づくりに取り組んでまいります。		
42	事業名	夏休み自由研究講座			
	開催日時	8月3日(日)、8月16日(土) 9:30～15:00		参加者数	7組 14名
	開催場所	野球場第1会議室、園内各所			
	実施概要	自然観察の里にて、生き物の見分け方や生態・生育環境について解説しながら、自由研究の題材となるテーマ探しを行いました。園内での観察を通じて興味を深め、自由研究の進め方やまとめ方についても指導し、夏休みの学習に活かせる内容としました。			
	自己評価	自然観察の里の生物を題材にした自由研究講座を実施することで、中央総合公園の自然環境や生き物について知っていただく機会となりました。参加者の中から「木村資生科学賞」受賞者が1名選出され、講座での学びが成果として結びついたことは大きな励みとなりました。 園内での観察を通して、子ども達が自ら生き物を探し、特徴を観察し、研究テーマとしてどうまとめるかを考える姿が見られ、主体的な学びに繋がったと感じています。 今後は、自然環境を活かした学びの場としての魅力をさらに高められるよう、季節ごとの生き物や環境をテーマにした学習機会の検討や、自然への興味を深めるきっかけづくりに取り組んでまいります。			
43	事業名	環境学習プログラムの提供 ※新規取組⑦			
	開催日時	11月11日(火)10:45～11:50			
	開催場所	バーベキュー広場			
	実施概要	専門家の協力のもと「環境学習プログラム(自然体験学習)」を作成し、当公園を自然との共存を学ぶ場として活用してもらうことを目的に、市内の小学校・幼稚園・保育園へ提供しました。今回はバーベキュー広場を会場に、自然に触れながら学べる内容で実施しました			
	自己評価	今年度は嫩幼稚園へ学習プログラムを提供し、15人と16人の2クラス、計31人が参加しました。複数のネイチャーゲームを通して、子ども達が自然に関心を持ち、植物や生き物に触れながら学ぶ時間となりました。自然の中での活動を通じて、子ども達の興味や発見が広がる様子が見られたことは大きな成果でした。 今後は、園児や児童の発達段階に応じた内容の工夫や、より自然への興味を深められる体験の充実を図り、環境学習の場としての公園の魅力をさらに高めてまいります。			
44	事業名	展望の丘登頂チャレンジ			
	開催期間	11月1日(土)～2月28日(土)		参加者数	64人 741件
	開催場所	健康の森展望の丘			

		実 施 概 要	健康の森 展望の丘への登頂回数を競う登頂チャレンジを行うことで、健康の森の利用を促すとともに、健康増進に繋げる。			
		自 己 評 価	参加者は 64 人、登頂件数は 741 件となり、前年度 (51 人・540 件) を上回る結果となりました。展望の丘への関心の高さがうかがえ、上位入賞者の中にはほぼ毎日登頂される方もおり、熱意ある参加が見られました。 展望の丘は眺望の良さや登りやすさから、日頃の散策コースとして利用される方が多く、今回のチャレンジを通じてその魅力を再認識していただく機会にもなりました。 今後は、参加者が継続して楽しめるよう、季節ごとの見どころ紹介や取り組みやすい仕掛けなど、飽きずに参加できる工夫を検討しながら、健康づくりと公園利用促進へ繋がる取り組みを続けてまいります。			
市民協働活動	45	事 業 名	みつばちプロジェクト			
		実 施 日	6 月 27 日 (金)・29 日 (日)			
		参 加 者 数	団体名	岡崎女子大学/岡崎女子短期大学	参加者数	学生 2 人 教員 1 人
				岡崎北高校		学生 10 人 教員 2 人
				岡崎市福祉事業団		9 人
			一般参加者	参加者数	0 人	
		実 施 場 所	であい橋付近			
		実 施 概 要	市民協働活動として、当法人が主導して中総フラワーボランティアを設立し、公園内の花壇づくりを行いました。岡崎女子大学・短期大学、岡崎北高校、岡崎市福祉事業団の皆さんに参加いただき、であい橋付近の花壇整備を実施しました。			
		自 己 評 価	花壇のデザインは岡崎北高校の学生が「sunshine！」をテーマに制作し、大きな太陽と色とりどりの花が印象的な花壇となりました。植え付け日は、学生が参加しやすい休日と、福祉事業団が参加しやすい平日の 2 日を設定し、それぞれの団体が無理なく参加できるよう配慮しました。 一方で、12 月に予定していた 2 回目の実施は雨天により作業ができず、日程調整が難しかったため中止となりました。 今後は、天候リスクへの備えやスケジュール調整の工夫を進めながら、参加団体との協働を深め、公園の魅力向上に繋がる花壇づくりを継続してまいります。			
	46	事 業 名	自然観察の里調査・再生プロジェクト			
		実 施 日	4/12、5/11、6/28、9/7、10/12、11/15、2/8、3/15	参加者数	9 家族 25 人	
		実 施 場 所	自然観察の里			
		実 施 概 要	自然観察の里において、生態系の調査や管理作業を行い、その活動内容を総合体育館エントランスに掲示する取り組みを実施しまし			

			た。年間を通じて複数回の調査日を設け、季節ごとの変化や生き物の状況を継続的に記録しました。		
		自己評価	過去 3 年間の調査結果を種類別に整理し、総合体育館エントランスに設置したことで、来館者に自然観察の里の生態系や取り組みを広く知ってもらう機会となりました。また、悪天候により水路が枯渇した際には、新たに水路の整備を行い、生態系の維持に努めることができました。 継続的な調査を通じて、季節ごとの生き物の変化や環境の状態を把握でき、自然観察の里の保全に向けた基礎データとしても有意義な取り組みとなりました。 今後は、調査結果の見せ方や情報発信の工夫を進め、より多くの方に自然観察の里の魅力や生態系保全の重要性が伝わるよう、活動の充実を図ってまいります。		
レストラン・売店	47	事業名	レストランを活用したイベント ※新規取組⑧ 花びら万華鏡づくり体験		
		開催日時	3 月 25 日(水) 11:00～13:30	参加者数	10 人
		実施場所	レストラン		
		実施概要	みつばちプロジェクトで咲かせた本物の花びらを使い、レストランを会場として「花びら万華鏡づくり体験」を実施しました。親子で楽しめる工作体験として企画し、食事と合わせて利用できるイベントとしました。		
		自己評価	親子で協力しながら万華鏡を制作することで、ものづくりを通したコミュニケーションの機会を提供できました。また、レストラン内での開催と食事提供を組み合わせることで、公園内に気軽に利用できる飲食スペースがあることを知っていただく良い機会となりました。 本物の花びらを使った万華鏡は完成度が高く、参加者からも満足度の高い反応が得られました。 今後は、レストラン空間を活かした体験型イベントの可能性を広げ、親子で楽しめる企画や季節感のあるワークショップなど、利用促進に繋がる取り組みを検討してまいります。		
	48	事業名	利便性向上サービス(レストラン)		
		実施場所	レストラン		
		実施概要	「1 事業の実施状況／(2)提案事業／イその他提案事業		
		自己評価	No.59 ビジネスミーティング等に利用できる予約制スペースの設置」に記載		
窓口サービス	49	事業名	運動会器具貸出サービス		
		実施期間	通年	貸出件数	12 件
		実施概要	室内運動会の需要に応えるため、大玉・玉入れ・綱引きなどの運動会器具の貸出サービスを通年で実施しました。企業や学校など、さまざまな団体が手軽に運動会を開催できるよう、必要な備品を施設側で提供する取り組みです。		

		自己評価	今年度は 12 件の貸し出しがあり、主に社内運動会や学校の体育祭で多く利用されました。運動会の開催に必要な備品を施設側で用意することで、利用者の準備負担を軽減でき、イベント実施の支援に繋がりました。 利用者からは、必要な器具が一式揃っていることで準備がスムーズに進んだとの声もあり、サービスとしての利便性を実感できる一年となりました。 今後は、利用状況やニーズを踏まえ、貸出器具の種類や管理方法の見直しを行い、より使いやすく、幅広いイベントに活用してもらえるサービスへと繋げてまいります。		
50	事業名	テント等備品の貸出 ※新規取組⑨			
	貸出開始日	6月1日(日)		貸出件数	0件
	実施概要	公園利用者の利便性向上を目的として、テーブル・椅子・テント等の備品貸出サービスの導入を計画し、貸出対応が可能な体制を整備しました。利用希望があった場合に対応できるよう準備を行いました。			
	自己評価	貸出体制の整備は行ったものの、今年度は利用申請がなく、実際の貸し出しには至りませんでした。周知不足や利用ニーズの把握が十分でなかったことが要因と考えられます。 今後はイベント主催者や公園利用団体への案内方法を見直し、利用機会の創出を図りながら、実際の活用に繋げてまいります。			
51	事業名	チケット販売サービス			
	実施期間	7月23日(水)～11月8日(土)			
	実施概要	当施設で開催される興行イベントのチケットを、総合体育館事務所にて代行販売するサービスを実施しました。来場者が施設内で直接チケットを購入できるようにすることで、イベント参加の利便性向上を図りました。			
	自己評価	フォーラムエイト・ラリージャパン 2025 のチケット窓口販売を行い、会場施設として券売に協力することでイベント運営の支援に繋がりました。施設で直接購入できる体制を整えたことで、来場者にとっての購入手段の幅を広げる役割も果たせたと感じています。 今後は、取り扱うチケットのイベント内容や来場者の動きに合わせて、案内の仕方や窓口での対応を少しずつ工夫しながら、引き続きイベントをサポートしていきたいと思います。			
52	事業名	窓口コンビニサービス			
	実施期間	通年			
	実施場所	総合体育館受付窓口			
	実施概要	総合体育館受付窓口にて、ラインテープや炭・着火剤などの消耗品を販売する「窓口コンビニサービス」を通年で実施しました。利用者が必要な物品を館内で購入できるようにすることで、利便性の向上を図りました。			

		自己評価	令年度の販売実績は次のとおりです。 ・炭 145 個 ・着火剤 99 個 ・硬式テニスボール 32 個 ・軟式テニスボール 14 個 ・ラインテープ(ビニール 20m) 20 個 ・ラインテープ(ビニール 25m) 6 個 ・ラインテープ(ポリ 50m) 4 個 ・トレーニング月券カードケース 1 件 バーベキュー利用者からは炭や着火剤のニーズが高く、在庫を切らさないよう適切に管理することで、利用者の利便性向上に繋がりました。また、ラインテープについては、準備した物が不足した際の“駆け込み需要”に対応でき、スポーツ利用者のサポートにも役立ちました。 今後も利用状況を見ながら品目や在庫の管理方法を工夫し、利用者が必要な時に必要なものを手に取れるサービスとして続けてまいります。
53	事業名		スマホ充電サービス ※新規取組⑩
	実施開始日		通年
	実施場所		総合体育館
	実施概要		大会やイベント等で長時間滞在する利用者の利便性向上を目的として、総合体育館においてスマートフォン充電の利用希望があった場合に申請により利用できる運用を新たに開始しました。 既存施設の管理運用の中で対応可能な仕組みとし、特別な設備整備を伴わず、利用者ニーズに柔軟に対応できるサービスとして通年実施しました。
	自己評価		大会やイベント開催時には利用される場面が多く、長時間滞在する利用者にとって便利なサービスとして機能しました。有償サービスとして運用することで、施設の自主財源の確保にも寄与し、公共施設における付加価値サービスの一例として意義のある取り組みとなりました。 一方で、利用が集中する時間帯が限られていることや、サービス自体の認知度に課題があると感じられました。 今後は、利用状況を踏まえながら必要に応じた案内方法の工夫を行い継続実施することで、利用者満足度の向上と付加価値サービスの充実に繋げてまいります。

(4) 事業全体の自己評価

項目	自己評価
岡崎市が開催を要求する事業及び提案事業	[評価できる点] ・「ファミリーフェスタ in 中総 2025」及び「恩賜苑レイクライト&森あそび」では、「あいち森と緑づくり都市緑化推進事業」を活用し、花壇づくりや苔玉アレンジ等の体験型ブースを多数展開しました。これにより、公園の使命である「緑化推進」を市民へ啓発するとともに、補助金の有効活用によって事業費負担の適正化・軽減を実現しました。 ・「ファミリーフェスタ in 中総 2025」では、「冒険(アドベンチャー)」という統一テーマを設定し、会場各所のコンテンツを連動させることで、広大な園内全体に一体感を創出しました。明確なコンセプト提示は、来園者の期待感向上とイベントのブランディングに寄与しました。 ・遊休地利活用事業として新規開催した「サバイバルウォーターゲーム」は、遊休地の活用や新たな体験機会の創出に取り組んだ結果、既存施設利用と組み合わせた公園利用の広がりが生まれ、来園者の滞在価値向上に繋げることができました。 ・「恩賜苑レイクライト&森あそび」を新規開催し、恩賜池を核とした光の演出を実施しました。既存の昼間イベントに加え、夜間の公園の魅力を生み出したことは、新たな公園利用の可能性を広げる成果となりました。
	[今後の取り組み] ・「ファミリーフェスタ in 中総 2026」では、テーマ設定による統一感の醸成を継続しつつ、来年度は「愛知・名古屋 2026 大会」を意識したテーマ・体験メニューを構築します。市民が国際大会を身近に感じられる機会を提供し、大会の機運醸成と当施設ならではのスポーツ振興を推進します。 ・新規事業「サバイバルウォーターゲーム」については、利用状況を踏まえながら実施方法の検討を行い、遊休地の継続的な利活用へ繋げてまいります。 ・新規事業「恩賜苑レイクライト&森あそび」において課題となった周知不足を解消するため、早期の広報展開や SNS 等の多角的な媒体活用を図ります。十分な周知期間を確保することで、幅広い市民層の集客増と満足度の向上に努めます。

その他提案事業	[評価できる点] ・今年度は 25 件の新規事業を展開しました。特に体育館・武道館の「部分貸し細分化」や多目的練習室での「卓球利用」の開始などは、個人利用者のニーズを的確に捉え、新たな層の利用促進に繋がりました。 ・愛知・名古屋 2026 大会に向けて、施設管理者として特設コーナーを設置し、大会の機運醸成を推進しました。また、ジェイテクト STINGS 愛知のオリジナルジャンパー製作・着用による一体感の醸成、アスリートギャラリーでの展示更新(シーホース三河・西田選手ユニフォーム、FC マルヤス岡崎の新デザインユニフォーム等)により、リピーター層へ常に新鮮な話題を提供し、地域スポーツの拠点としての存在感を高めました。 ・トレーニング室では、「新生活応援キャンペーン」や「健康相談窓口」、「ビギナーズ教室」等の多層的な施策を継続実施しました。これにより、新規利用者の獲得だけでなくリピート率の向上を図り、年間を通じて安定した利用実績を確保しました。 ・新たに配置した「プレイスマネージャー」による、ウォーキング・ランニングマップや子ども向けマップ、星空ガイド等の各種ツールの制作・配布に加え、健康の森への情報看板(セミや桜の解説)設置を推進しました。単なる施設利用に留まらない「公園の付加価値・日常利用」を高めることで、幅広い来園者の満足度向上に寄与しました
	[今後の取り組み] ・体育館・武道館の部分貸しや卓球利用制度について、依然として開拓の余地があるため、WEB サイトや SNS、館内掲示等を通じた多角的な広報を強化します。制度の周知を徹底することで、さらなる新規利用者の獲得と施設稼働率の向上を目指します。 ・ジェイテクト STINGS 愛知との連携をさらに深め、施設管理者としての枠を超えた応援企画や地域交流事業を検討します。ホームタウンの拠点施設として、チームと市民、そして施設が一体となったスポーツ文化の醸成に努めます。 ・アスリートギャラリーを、岡崎ゆかりのアスリートを顕彰する重要事業と位置づけ、選手やチームとのネットワークをさらに強固にします。常に最新かつ魅力的な展示を企画し、来館者が岡崎のスポーツの歴史と今に触れられる、当施設ならではの価値を創出します。 ・好評を得ている「子ども向けマップ」や「星空ガイド」、各種情報看板については、利用者のフィードバックを反映させながら内容の更新・拡充を図ります。公園の自然や施設をより深く楽しめる仕掛けを継続的に提供し、来園者の再訪意欲を高めます。

自主事業	[評価できる点] ・新規取組として 10 事業を実施しました。なかでも、ナイトヨガは 993 人の方に参加いただき、一定のニーズに応えることができたものと考えます。 ・愛知・名古屋 2026 大会競技体験イベントは、愛知・名古屋 2026 1 年前イベント業務共同事業体と連携して開催しました。大会会場施設管理者として、大会機運醸成の一助を担えたものと考えます。 ・他施設連携イベントは、当施設の他に、当法人が管理する岡崎城・三河武士のやかた家康館・奥殿陣屋・道の駅藤川宿の 5 施設を巡るスタンプラリーとし、市内周遊に一定の効果がみられました。 ・中総かるキャンでは、当公園の廃材竹を活用した工作、薪割り・火おこし体験、野外料理作りなどを日帰り体験できるイベントを開催しました。日常ではなかなか経験できない企画を提供できたものと考えます。 ・専門家を講師に招き、自然観察の里での自然観察体験会や夏休み自由研究講座を開催しました。生き物の生態や生育環境について学びました。夏休み自由研究講座では、参加者のうち 1 名の研究が表彰されました。 ・市民協働活動として継続実施したみつばちプロジェクトでは、2 校 1 団体に協力いただき、当公園に見事な花壇をつくっていただきました。また、ここで咲かせた花を用いてレストランを利用した花びら万華鏡づくり体験を開催し、新たな可能性を見出しました。
	[今後の取り組み] ・来年度は、愛知・名古屋 2026 大会開催に伴う施設休業期間により、定例教室も長期休業となります。再開時に休業前の参加人数獲得を目指し、休業中もホームページや SNS を活用してコンスタントに教室 PR を行ってまいります。 ・自然観察の里での活動は、当施設でも重要な事業の 1 つと捉えています。今後も専門講師と連携し、環境教育と生物多様性の保全等を目的に実施してまいります。

(5) 事業全体の総括

今年度は、公共施設としての安全・安心な供用を最優先とし、地域連携事業の推進、公園利用促進、料金改定に伴う制度移行、施設改修工事への対応及び維持管理手法の高度化を総合的に実施しました。その結果、指定管理者として求められる管理運営水準を安定的に確保するとともに、公園サービスの質的向上を図ることができたものと総括します。

ジェイテクト STINGS 愛知のホームタウン施設としては、オリジナルスタッフジャンパーを製作し、試合開催日に職員が着用するなど、施設管理者としてチームと一体となった応援環境づくりを行いました。今後は、ふるさと納税事業等も含め、地域とチームをつなぐ取り組みを推進し、連携強化を図ってまいります。

さらに、スポーツ利用に加え、バーベキュー広場や健康の森を活用した散策利用、季節を感じられる子ども向けパンフレットや星空ガイドの作成など、公園の自然環境や空間特性を活かした利用促進にも取り組みました。また、キッチンカーマルシェや体験型イベント、公園資源を活用した新規事業を実施し、日常的な憩いの場としての利用からイベント時の非日常的な利用まで、多様な来園ニーズに対応した公園運営を推進しました。

自主事業では、三菱自動車岡崎硬式野球部、FC マルヤス岡崎、東レアローズ、シーホース三河等のトップアスリートによるスポーツ教室や、地域スポーツ団体と連携した体験会を多数開催しました。さらに、来年度開催予定の愛知・名古屋 2026 大会に向けた競技体験イベントや特設コーナーの設置を行い、大会機運醸成にも取り組みました。

また、条例改正に伴い令和 8 年 4 月 1 日から実施される施設利用料金改定については、掲示物、ホームページ及び受付時説明等による段階的な周知を行い、利用者理解の促進に努めました。その結果、大きな混乱やトラブルを生じることなく円滑な制度移行を実現し、説明責任及び利用者対応を適切に果たすことができました。

施設改修工事対応として、ソーラーカーポート及び蓄電池設備の設置工事並びに野球場改修工事が実施されたことから、施設利用への影響を最小限とするため、利用者への事前周知及び利用調整を行うとともに、施工業者及び関係機関との継続的な工程調整を実施しました。野球場改修工事では、工事エリアと利用者動線が近接する中、安全確保を最優先として動線調整や案内誘導を行い、安全な利用環境の維持に努めました。ソーラーカーポート工事期間中は、施工工程の変更等に伴い利用環境への影響が生じ、利用者から問い合わせや要望が多数寄せられましたが、当法人が調整窓口となり、迅速な情報共有及び現場対応を行うことで、安全確保及びトラブルの早期解消に努めました。その結果、大きな事故や施設運営停止を招くことなく、施設供用を維持しながら工事を円滑に推進することができ、指定管理者として求められる調整機能及び現場対応力を発揮することができました。

維持管理業務では、年度末に高度化及び効率化を目的として芝生管理に無人芝刈機を導入しました。均一な刈高管理による利用環境の品質向上に加え、作業員の負担軽減及び労働安全性向上にも寄与しており、来年度以降に向けて持続可能な公園管理体制の構築を推進しました。

以上の取り組みにより、スポーツ施設としての機能に加え、総合公園として求められる「憩い」「交流」「健康増進」「地域活性化」機能の充実を図ることができました。今後もスポーツ利用をはじめ、自然・交流・レクリエーションなど多様な利用を通じて、地域に親しまれる総合公園運営を推進してまいります。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

施設名		件数				稼働率	
		R7 実績 (内自主 事業) (件)	目標 (件)	目標対比 (%)	前年対比 (%)	R7 実績 (%)	目標 (%)
総合体 育館	体育館	586 (13)	500	117.2	110.4	75.7	53.3
	武道館	706 (31)	560	126.1	107.1	73.8	59.6
	錬成道場	1,739 (453)	1,300	133.8	94.3	52.9	46.2
	会議室	974 (10)	720	135.3	115.5	－	－
	トレーニング室	34,868	28,870	120.8	113.8	－	－
野球場	野球場	507 (4)	450	112.7	74.2	65.3	53.3
	会議室	276 (8)	330	83.6	62.0	－	－
庭球場		25,536	23,870	107.0	100.8	63.7	60.4
弓道場		2,894 (3)	2,900	99.8	92.5	43.5	17.2
相撲場		85 (4)	80	106.3	109.0	9.0	8.7
運動広場		555 (10)	600	92.5	93.1	45.9	53.0
アーチェリー場		1,155 (7)	990	116.7	122.0	14.2	8.8
多目的広場		281	270	104.1	144.8	45.5	28.8
球技場		389 (18)	330	117.9	106.0	45.6	40.2
合計		70,551	61,770	114.2	106.4	－	－

※トレーニング室は人数記載

(2) 利用料金収入

			収入実績(円)		前年対比
			R7	R6	(%)
スポーツ施設使用料	総合体育館	体育館	36,149,683	23,975,906	150.8
		武道館	22,457,190	22,330,263	100.6
		錬成道場	8,427,775	7,135,823	118.1
		会議室	1,742,894	1,551,380	112.3
		トレーニング室	10,890,968	8,940,708	121.8
	野球場	野球場	13,956,605	10,002,635	139.5
		会議室	1,233,169	886,985	139.0
	庭球場		28,243,873	23,941,930	118.0
	弓道場		4,313,935	3,115,391	138.5
	相撲場		114,844	93,829	122.4
	運動広場		2,620,412	1,975,453	132.6
	アーチェリー場		489,218	406,501	120.3
	多目的広場		1,138,912	523,395	217.6
	球技場		1,878,171	1,128,940	166.4
	小計		133,657,649	106,009,139	126.1
都市公園行為許可使用料			930,400	-	-
合計			134,588,049	106,009,139	-

(3) 利用状況に対する自己評価

施設名		自己評価
総合体育館	体育館 武道館	[評価できる点] ・ 空き施設の利用促進事業である部分貸しサービスを、より利用しやすくするため細分化し、多くの方に利用いただきました。 [利用実績 体育館:86 件、武道館:26 件] ・ 継続的にプロスポーツ大会を誘致し、開催することができました。試合中は職員 1 名が会場に常駐することで、関係者の要望に迅速に対応することができました。 [利用実績 SV リーグ:10 回、B リーグ:1 回] ・ 武道館において、講演会を誘致し来場者が多く集まる利用を獲得しました。 [利用実績 1 回] ・ パラスポーツ競技の普及促進のため、座位バレーボール体験会の実施やボッチャの器具貸し出しを始めました。
	錬成道場	[今後の取り組み] ・ 空き施設有効活用としての部分貸しサービスについて、認知度を高めるため SNS 等で継続的に紹介してまいります。 ・ ホームタウンとして当施設を利用いただいているジェイテクト STINGS 愛知と他のスポーツ団体等とのバランスを図りながら、両者間の利用調整を行ってまいります。 [評価できる点] ・ 多目的練習室で卓球利用ができる仕組みを構築し、少人数での利用希望者がより利用し易い環境を整えました。 [利用実績 25 件] ・ 平日の午前中という比較的利用の少ない時間帯を中心に当法人主催の教室プログラムを開催することで、市民の健康増進と利用率向上を図る取り組みを継続して実施しました。 [今後の取り組み] ・ 多目的練習室の卓球利用者が、より利用し易い環境を整えるため、ラケットとボールの無料貸出サービスを展開します。 ・ 愛知・名古屋 2026 大会のため長期間中止となる教室プログラムの受講者数を、再開後に休止前同等の確保を目指して PR はじめ集客に努めます。

	トレーニング室	[評価できる点] ・ 岡崎幸田勤労者共済会、岡崎市職員互助会と連携し、福利厚生施設として継続的に利用いただくことで、利用件数の増加に繋がりました。 [利用実績 共済会:2,327 人、互助会:2,318 人] ・ 「新生活応援キャンペーン」を開催し新社会人の利用獲得に努めました。 [参加実績 153 人] ・ 新規利用者を対象に「ビギナーズ教室」を開催し、器具の基本的な使い方や運動方法について丁寧に指導することで、利用者の意欲増進を図り、利用促進に繋がりました。
野球場		[評価できる点] ・ 三菱自動車岡崎硬式野球部の練習会場として当施設を利用いただけるよう、柔軟な利用調整及び対応を行いました。 [利用実績 151 件] ・ 愛知県高等学校野球連盟、日本野球連盟東海地区連盟と連携を密に取り、大会期間中の利用支援や来年度の大会誘致に向けての取り組みを実施しました。 ・ 多くの来場者がある全国高等学校野球選手権愛知大会準決・決勝において、愛知県高等学校野球連盟や岡崎市と連携を図り、仮設トイレの設置運営や駐車場対応について取り組みました。 [今後の取り組み] ・ スコアボード改修工事により利用可能となったオーロラビジョンを積極的にPRし、利用促進に努めます。 ・ 結婚式前撮りなど、スポーツ以外の利用も積極的に誘致します。

庭球場	[評価できる点] ・ 地域ブロック部活動(中学校部活動)の活動拠点として継続して利用いただくことで、団体利用の件数増加に繋がりました。 [利用実績 144 件] ・ 大会予備日が解除になった際は、速やかにホームページ上で情報公開し、一般利用の促進を図りました。 ・ 利用直前のキャンセルを減らすため、5 面以上の予約者には事前に利用意志の有無を確認する連絡を入れ、キャンセルをされる場合は速やかに行っていただけよう働きかけしました。 [今後の取り組み] ・ 直前キャンセルは長年の課題であるため、少しでも減らせるよう継続して声かけを行ってまいります。
弓道場 アーチェリー場	[評価できる点] ・ 地域ブロック部活動(中学校部活動)の活動拠点として継続して利用いただくことで、団体利用の件数増加に繋がりました。 [利用実績 28 件] ・ 大きな大会が開催される時は、駐車場の混雑緩和のため、施設前の駐車場から体育館・野球場第 2 駐車場に抜ける一方通行の対応を図ることで、安全安心に利用いただけるよう支援しました。 [今後の取り組み] ・ 弓道及びアーチェリーの無料体験会並びに初心者教室を継続して実施することで、競技人口増加に寄与するとともに、個人利用の増加を図ります。
運動広場 球技場 多目的広場 相撲場	[評価できる点] ・ 運動広場において、FC マルヤス岡崎協力の下、サッカー教室を開催し、参加者のサッカー競技への関心を高めることで利用の促進を図りました。 ・ 球技場において、中総杯(ゲートボール・軟式野球)を開催し、競技団体の交流を図るとともに、競技への関心を高め、利用促進へと繋がりました。 ・ 多目的広場において、大学アルティメット部の合宿を誘致し、稼働率向上に繋がりました。 ・ 相撲場において岡崎市相撲連盟の協力の下、体験会を開催して相撲競技者の増加を図り、利用の促進に繋がりました。 [今後の取り組み] ・ 岡崎市内の幼稚園や企業に運動広場や球技場での運動会利用を提案し、平日昼間の利用促進を図ります。

(4) 利用状況の総括

利用状況につきましては、年間利用件数目標 61,770 件に対し実績 70,551 件(達成率 114.2%)となり、目標値を上回る結果となりました。全体として安定した施設供用を維持するとともに、利用促進に向けた取り組みが成果として表れたものと評価しております。

この成果は、空き枠の有効活用を目的とした部分貸しサービスの細分化や、多目的練習室における卓球利用の新規提案など、市民ニーズを踏まえた柔軟な運用改善を継続的に実施したことによるものです。単なる施設提供に留まらず、利用機会の創出と利便性向上を図ったことが利用件数増加に繋がりました。

屋内施設においては、SVリーグ及びBリーグ等のプロスポーツ大会を継続的に誘致するとともに、試合中に職員が会場内に常駐することで、主催者からの要望の速やかな把握と事務所との連携が図れ、円滑な大会運営を支援しました。また、講演会等の新たな利用形態の導入に加え、トレーニング室におけるビギナーズ教室をはじめとした各種教室事業を年間 389 回実施し、新規利用者の定着及び市民の健康増進に寄与しました。

屋外施設では、計画的なグラウンド整備により良好な利用環境を維持し、三菱自動車岡崎硬式野球部及び高野連等関係団体との継続的な調整を行うことで、年間を通じた安定利用を確保しました。加えて、中学校部活動の受け入れや事前確認の徹底によるキャンセル抑制など、管理運営面での積み重ねが利用実績の向上を支える基盤となりました。

来年度は施設使用料改定及び一部備品有料化を控えることから、利用者への丁寧な周知及び説明を継続するとともに、新たなスコアボードの活用促進や備品貸出サービスの充実など、支払われる対価に見合う、あるいはそれ以上の付加価値を提供し続けることで、利用者満足度の向上と安定的な施設運営の両立を目指してまいります。

3 収支状況

(1) 収支状況

	項目	内訳	決算額(円)
収入	指定管理料収入		374,276,883
	利用料金収入		134,588,049
	事業収入		0
	便益施設に関する収入	喫茶室、自動販売機収入	9,781,972
	その他収入		660,133
収入計			519,307,037
支出	直接管理運営費	直接人件費、光熱水費、消耗印刷費、修繕費、清掃等委託料、保険料等	458,602,608
	(うち光熱水費及び修繕費)	※精算項目	(98,256,923)
	事業費	事業に係る経費	0
	その他	本部経費、当期余剰金等	60,704,429
		(うちキャッシュレス決済手数料)	(236,202)
支出計			519,307,037
差引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

	項目	自己評価
収入	利用料金収入	・利用料金収入につきましては、ホームページや SNS 等を活用した施設情報の発信に加え、空き施設情報を利用団体へ随時提供することで、新規利用及び継続利用の促進に努めました。 ・令和 8 年 4 月 1 日より実施される施設使用料等を改定に伴う経過措置による駆け込み需要が多くあり、利用料金収入が増加しました。

	便益施設に関する収入	・施設利用者の利便性を維持できるよう運営事業者との調整やサービス継続を行いました。喫茶室収入が減少しました。また、自動販売機設置事業者選定における入札額の低下により、便益施設に関する収入が前年度を下回る結果となりました。
支出	直接管理費	・施設の安全・安心な利用環境を維持するため、日常点検に加え、雨漏りや体育館床の不具合など施設の老朽化に伴う課題に対して直営で迅速な初期対応や営繕を行い、利用への影響を最小限に抑えるよう努めました。 ・多目的広場の芝生管理においては、改修工事に芝生の下からネットが露出してくるトラブル対応や芝生変更に伴う除草、刈込回数の増加などへの適切な維持管理を行い、競技環境の向上を図りました。さらに、アジア競技大会開催に向けた各種準備や関係機関との調整を進めるとともに、緊急時にも迅速に対応できる人員配置及び情報共有体制の整備を行い、安全・安心な施設運営を実施しました。 ・委託業務費につきましては、限られた予算の中で維持管理水準を確保するため、各委託業務の実施内容や頻度を見直し、効率的かつ効果的な執行に努めました。
	精算項目	・電気料金につきましては、利用状況に応じた照明や空調機器の運転管理を行うとともに、館内巡視時には不要照明の消灯を徹底するなど、省エネルギーに努めました。また、夏季の電力使用ピーク時には、デマンド監視を行いながら空調機器の運転調整を実施し、利用者の快適性を確保しつつ電気使用量の抑制を図りました。 ・修繕費につきましては、施設の老朽化に伴う不具合に対し、日常点検による早期発見・早期対応に努めるとともに、軽微な修繕については職員対応を行うことで経費削減を図りました。特に睡蓮の浮橋やボスケなどの屋外木製構造物の劣化が激しく、重点的に直営補修作業を行いました。

4 利用者意見の聴取

(1) 利用者アンケート

(ア) 実施概要

実施期間	回答者数	アンケート実施方法
4月1日(火)～3月31日(火)	261	Google フォームの QR コードを園内に設置

(イ) 結果概要

	良い	やや良い	普通	あまり 良くない	悪い	無回答
職員の挨拶や対応	160	61	40	0	0	0
職員の身だしなみ	159	82	20	0	0	0
窓口の印象	128	66	66	0	1	0
予約から利用申請までの 手続きについて	便利	普通	不便	無回答		
	91	163	7	0		
受付までの窓口案内	わかり やすい	ややわか りやすい	普通	ややわか りにくい	わかり にくい	無回答
	98	94	68	0	1	0

(2) 一般観覧者アンケート

(ア) 実施概要

実施期間	回答者数	アンケート実施方法
4月1日(火)～3月31日(火)	320	Google フォームの QR コードを園内に設置

(イ) 結果概要

	良い	やや良い	普通	あまり 良くない	悪い	無回答
職員の挨拶や対応	206	28	79	5	2	0
職員の身だしなみ	213	36	68	3	0	0
窓口の印象	203	40	66	9	2	0
施設の状態	177	74	51	15	3	0
備品の充実度	162	50	85	21	2	0
施設の安全性	192	54	72	2	0	0
トイレの清潔さ	222	44	42	10	2	0
施設の案内表示	わかり やすい	ややわか りやすい	普通	ややわか りにくい	わかり にくい	無回答
	153	71	73	18	5	0
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	無回答
交通の利便性	106	57	102	47	8	0
駐車場の利便性	127	49	84	43	17	0

(3) 公園利用者アンケート

(ア) 実施概要

実施期間	回答者数	アンケート実施方法
4月1日(火)～3月31日(火)	343	Google フォームの QR コードを園内に設置

(イ) 結果概要

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	無回答
職員の挨拶や対応	132	33	156	12	10	0
職員の身だしなみ	125	30	172	9	7	0
園路の整備状況	131	92	56	46	18	0
ベンチ等の数・状況	122	91	71	42	17	0
トイレの清潔さ	清潔	やや清潔	普通	やや不潔	不潔	無回答
	90	62	153	32	6	0
園内の案内	わかりやすい	ややわかりやすい	普通	ややわかりにくい	わかりにくい	無回答
	76	96	104	49	18	0
案内板の数	多い	やや多い	ちょうど良い	やや少ない	少ない	無回答
	36	22	190	72	23	0
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	無回答
交通の利便性	106	35	161	33	8	0
駐車場の利便性	147	57	114	21	4	0

(4) 事業主催者アンケート

(ア) 実施概要

実施期間	回答者数	アンケート実施方法
4月1日(火)～3月31日(火)	106	各施設受付窓口に設置

(イ) 結果概要

利用内容	スポーツ大会	展示 (即売会)	講演会	その他	無回答
	105	0	0	1	0
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答	
施設管理は行き届いていたか	105	0	1	0	
備品が使いやすく整理整頓されていたか	102	2	2	0	
職員の対応	満足	どちらともいえない	不満	無回答	
	105	1	0	0	

(5) 未利用者アンケート

(ア) 実施概要

実施期間	回答者数	アンケート実施方法
11月1日(土)～11月30日(日)	105	Google フォームの QR コードを園内に設置

(イ) 結果概要

住まい	岡崎市 内	岡崎市 外	無回答					
	75	30	0					
施設の認知 度	知って いる	知らな い	無回答					
	78	27	0					
イベント情報 の入手方法 (当公園を認 知していない と回答した 方) ※複数回答 可	市政だ より	ポスタ ー・チラ シ	HP	SNS	無回答			
	6	3	13	12	0			
当公園を利用 したことは あるか(当公 園を認知して いると回答し た方)	ある	ない	無回答					
	62	16	0					
利用されたこ とのない理由 (上記設問で 「ない」の回 答した方) ※複数回答 可	興味の あるイベ ントがな い	交通の 便が悪 い	イベント 情報が わから ない	憩いの 場所が ない	距離が 遠い	遊具が ない	その他	無回答
	3	6	4	2	11	0	0	0

どうすれば「利用したい」 と思うか(上記設問の回答者)	交通機関の充実	イベント情報の充実	憩いの場所の充実	子どもが遊べる場所の充実	イベントの充実	その他	無回答	
※複数回答可	11	6	10	9	0	0	0	
情報の入手方法(上記設問の回答者)	市政だより	ポスター・チラシ	HP	SNS	知人の紹介	無回答		
※複数回答可	6	1	13	7	1	0		

(6) 市外からの来訪者向けアンケート

(ア) 実施概要

実施期間	回答者数	アンケート実施方法
4月1日(火)～3月31日(火)	160	Google フォームの QR コードを園内に設置

(イ) 結果概要

	良い	やや良い	普通	あまり良くない	悪い	無回答
職員の挨拶や対応	102	14	38	4	2	0
職員の身だしなみ	106	18	34	2	0	0
窓口の印象	96	22	32	8	2	0
施設の状態	88	29	27	14	2	0
備品の充実度	85	23	42	8	2	0
施設の安全性	95	25	38	2	0	0
トイレの清潔さ	113	19	21	5	2	0
施設の案内表示	わかりやすい	ややわかりやすい	普通	ややわかりにくい	わかりにくい	無回答
	79	34	36	7	4	0

交通の利便性	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	無回答
	49	27	54	26	4	0
駐車場の利便性	65	19	46	22	8	0

(7) 岡崎市が開催を要求する事業(ファミリーフェスタ)アンケート

(ア) 実施概要

実施期間	回答者数	アンケート実施方法
5月5日(月祝)	319	会場にて紙媒体のアンケートを配布

(イ) 結果概要

年齢	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	無回答
	52	27	6	78	86	15	31	24
住まい	岡崎市内	幸田町	その他	無回答				
	235	16	47	21				
誰と来たか	家族	親戚	友人・知人	1人	その他	無回答		
	258	21	15	10	3	12		
今催事に参加されるのは何回目か	初めて	2回目	3回以上	無回答				
	116	78	103	22				
今催事は何で知ったか	市政だより	チラシ	新聞	ラジオ	HP	知人の紹介	その他	無回答
	57	149	0	1	54	40	0	18
満足度	とても楽しい	楽しい	ふつう	楽しくない	つまらない	無回答		
	179	88	14	2	0	36		

(8) 提案事業(恩賜苑レイクライト&森あそび)アンケート

(ア) 実施概要

実施期間	回答者数	アンケート実施方法
12月6日(土)	55	会場に紙媒体及び Google フォーム QR コード設置

(イ) 結果概要

年齢	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	無回答
	7	3	3	16	11	9	6	0
住まい	岡崎市内	幸田町	その他	無回答				
	43	4	8					
誰と来たか	家族	親戚	友人・知人	1人	その他	無回答		
	38	0	9	6	2	0		
今催事は何で知ったか	市政だより	チラシ	新聞	ラジオ	HP SNS	知人の紹介	その他	無回答
	8	19	0	0	13	13	2	0
満足度	とても楽しかった	楽しかった	ふつう	あまり楽しなかった	無回答			
	37	18	0	0	0			

(9) 自主事業アンケート

ア 定例教室

(ア) 実施概要

実施期間	回答者数	アンケート実施方法
2月24日(火)～3月31日(火)	107	会場に紙媒体のアンケートを設置

(イ) 結果概要

年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	無回答
	0	1	1	9	27	43	21	4	1
住まい	岡崎市内	幸田町	その他	無回答					
	83	24	0	0					
目的 ※複数回答可	健康維持・増進	ダイエット	シェイプアップ	ストレス発散	その他	無回答			
	93	18	41	20	2	1			
きっかけ	紹介	市政だより	チラシ	HP	SNS	その他	無回答		
	36	46	7	7	3	7	1		
満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答			
	94	9	2	2	0	0			

イ 東レアローズバレーボール教室

(ア) 実施概要

実施日	回答者数	アンケート実施方法
8月6日(水)	146	会場に紙媒体のアンケートを設置

(イ) 結果概要

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答
練習の感想	116	24	6	0	0	0
選手・コーチの説明	126	19	0	0	0	1

ウ 1日アーチェリー無料体験

(ア) 実施概要

実施日	回答者数	アンケート実施方法
9月14日(日)	24	会場に紙媒体のアンケートを設置

(イ) 結果概要

年齢	小学生	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答
	14	1	0	0	2	0	6	1	0
性別	男性	女性	無回答						
	14	10	0						
体験会の時間	長い	ちょうどいい	短い	無回答					
	3	20	1	0					
満足度	満足	普通	不満	無回答					
	15	5	0	4					

エ 1日弓道無料体験

(ア) 実施概要

実施日	回答者数	アンケート実施方法
4月5日(土) 5月11日(日) 3月8日(日)	16 19 20 計 55	会場に紙媒体のアンケートを設置

(イ) 結果概要

年齢	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答
	18	7	6	9	9	4	2	0
性別	男性	女性	無回答					
	21	34	0					
体験会の時間	長い	ちょうどいい	短い	無回答				
	0	38	17	0				
満足度	満足	普通	不満	無回答				
	41	14	0	0				
きっかけ	市政だより	チラシ	HP	SNS	紹介	その他	無回答	
	32	3	17	2	1	0	0	
弓道を継続したいか	続けた い	続けた くない	その他	無回答				
	45	6	4	0				

(10) ご意見箱の設置

ア 実施概要

実施期間	設置場所	件数
4月1日(火)～3月31日(火)	総合体育館	20件
	野球場	0件
	庭球場	9件
	弓道場	8件

イ 結果概要

設置場所	主な意見	回答抜粋
総合体育館	この近くに子どもも遊べる公園をつかって欲しい	中央総合公園内には、多目的広場及びバーベキュー広場に遊具の設置がございます。また近隣の遊具がある公園として東公園もございますので、ぜひご利用ください。
庭球場	トイレをシャワートイレにして欲しい	当施設では現行の設備構造や予算の状況により、すぐにシャワートイレを導入することが難しい状況です。今後の施設改修や設備更新の際の検討材料として、関係機関と共有してまいります。
弓道場	更衣室に暖房器具が欲しい	現行の予算の状況、また維持管理体制の面から、現時点で暖房機器を設置することは難しい状況です。今後の施設改修や設備更新の際の検討材料として、関係機関と共有してまいります。

(11) 利用者ミーティングの実施

利用団体	主な意見・要望	回答及び対応
岡崎バスケットボール協会	ジェイテクト STINGS 愛知のホームタウンが岡崎市になったことにより、総合体育館の予約を大量に行うことになり、他の競技団体の活動が制限される状況となっており、強い不公平感を覚える。 説明責任を有する部署からの直接の説明及び回答を希望する。	協会関係者の意見を真摯に受け止め、すみやかに担当課に報告するとともに、対応を依頼しました。
岡崎テニス協会 岡崎ソフトテニス協会	来年度の利用調整において、愛知・名古屋 2026 大会に伴う施設休業の影響で例年の利用枠が確保できない。	利用調整は、各団体とそれぞれ行っていましたがいりませんが、折り合いがつかなかったため、両団体代表者と当法人の 3 者が一堂に会する機会を設け、施設休業に対する理解を得られるよう改めて直接説明するとともに、当法人が仲介する形で話し合いの上、合意にいたりしました。

(12) 利用者意見の聴取に対する総括

利用者アンケート 6 種(①利用者、②一般観覧者、③公園利用者、④事業主催者、⑤未利用者、⑥市外来訪者)の他、ファミリーフェスタ in 中総 2026、恩賜苑レイクライト&森あそび、自主事業の各種事業アンケート及びご意見箱、利用者ミーティングから利用者意見を聴取しました。

利用者アンケートではおおむね良い結果を得られましたが、駅から離れている立地条件もあり、交通や駐車場の利便性について、今後の改善点となりました。

ファミリーフェスタ in 中総につきましても、満足度 83.7%と高評価を得ることができ、記述欄でも継続して開催して欲しいといった意見を多くいただくことができました。

恩賜苑レイクライト&森遊びでは、満足度 100%を得られましたが、回収枚数が今後拡大の余地があるため、来年度は集客の増を目指すとともにアンケート調査にも力を注いでまいります。

自主事業につきましても、おおむね良好な結果を得られました。今後も充実した内容を提供することで、参加者に満足いただける事業展開を目指してまいります。

全体を通して事業の周知では、市政だよりで知っていただいた方が多く、ホームページや SNS での効果がまだ弱いことがわかりました。今年度 X や LINE アカウントを新たに開設したので、これらも有効に使いながら、情報発信に努めてまいります。

ご意見箱では、当施設の近くに子どもが遊べる公園を希望される方、庭球場にシャワートイレの設置を希望される方、弓道場更衣室に暖房器具の設置を希望される方から意見をいただきました。

利用者ミーティングでは岡崎市スポーツ協会加盟団体 3 団体と利用調整に関するミーティングを実施しました。当法人が仲介役として調整することで、理解を得られるよう対応いたしました。

今後も、ここに表記した手法だけでなく、日々の利用者とのコミュニケーションの中から利用者ニーズを把握し改善に努めることで、満足度向上を目指してまいります。

5 その他自己評価

(1) 利用者サービスに対する自己評価

項目	自己評価
利用案内	《評価できる点》 ・愛知・名古屋 2026 大会開催に伴う施設休業の案内をホームページに掲載並びに施設内に掲示することで、利用者の理解を得られるよう努めました。 ・来年度からの利用料金改定についての案内を、ホームページへの掲載をはじめ施設内に掲示並びに窓口等で丁寧に説明し、理解を得られるよう努めました。 ・トレーニング室に混雑状況を掲示し、利用時間の目安としていただきました。 ・主にトレーニング室や庭球場利用者に向けて、駐車場が混雑するような大規模催事がある日を事前に周知する「主な催事」を掲示しました。 ・定期的に施設の空き状況をホームページに掲載し、空き施設を利用いただけるよう案内しました。 ・ウォーキング・ランニングマップ、星空ガイド、子ども向けマップ、健康の森情報看板の設置など、公園施設の利用案内を充実させました。 ・新たに X 及び LINE アカウントを開設しました。
	《今後の取り組み》 ・施設休業や利用料金改定については、引き続き丁寧に説明し、理解いただけるよう努めてまいります。 ・公園施設の利用案内(ウォーキング・ランニングマップ、星空ガイド、子ども向けマップ、健康の森情報看板)については、発展させられる可能性があるため、中身を充実させるとともに、他施設に配架を依頼することで、当公園の魅力発信に役立ててまいります。 ・X 及び LINE については、今後フォローキャンペーンを実施し、フォロワーを増やすことで、既存の Instagram、Facebook とともに情報発信ツールとして強化してまいります。
利用支援	《評価できる点》 ・プロスポーツリーグや大規模イベント開催時に、利用者の負担軽減のため、会場設営及びごみ処理、弁当手配等を請け負うワンストップサービスを実施しました。 ・大規模催事開催時に、キッチンカー出店に関わる消防・保健所への申請手続きを代行しました。 ・高校野球開催時には、グラウンド整備も当施設のグラウンドキーパーが実施し、高い水準のグラウンドを提供しました。 ・プロスポーツリーグ開催時には、試合会場の職員が常駐することで、会場の温度管理やイレギュラー事案発生時に迅速な対応が図れるよう努めました。
	《今後の取り組み》 ・愛知・名古屋 2026 大会の会場施設管理者として、大会開催に向けての様々な対応に積極的に取り組みます。

安全 安心	《評価できる点》 ・ 毎日、防火管理者・通報連絡班・消火班・避難誘導班・救護班・警備班としての役割をホワイトボードの職員名に割り振りし、当日の防災担当者を見える化することで緊急時に、迅速に対応できるように備えました。 ・ 災害時に活動拠点になった際に使用される防災トイレについて、全職員がスムーズに設置できるように訓練を実施しました。 ・ 正規職員は全て上級救命講習を受講し、パート職員には当法人内の応急手当普及員が普通救命講習を実施しました。 ・ 熱中症対策として、野球場の通路及び庭球場の休憩場所にミストシャワーを設置したほか、総合体育館、野球場、庭球場、弓道場事務所の受付窓口に熱中症指標を掲示しました。 ・ 体育館木製移動収納席のささくれによるケガなどを防ぐため、必要な部分にウレタン塗装を行いました。 ・ 床のささくれなどによるケガ防止のため、体育館・武道館の木製床のチェックを定期的に行いました。 ・ 避難訓練、消防・救急救命訓練、緊急連絡訓練、参集訓練、設備復旧訓練、避難所開設訓練を年 2 回実施しました。 ・ 雨天時等、地面が濡れて滑りやすい時には総合体育館・野球場・庭球場・弓道場のエントランス部分に転倒事故防止のために注意喚起表示を行いました。 ・ 樹木の点検・診断に関する年間計画を作成し、年間計画を基に日常点検及び年 4 回の定期点検を行いました。 ・ 落雷事故を防ぐため、総合体育館・野球場・庭球場・弓道場の受付窓口において、利用者に雷警報器の貸出サービスを行いました。 ・ 安全衛生会議を毎月 1 回開催し、労働災害の防止に努めました。
	《今後の取り組み》 ・ 類似施設での事故や事件が発生した場合、当公園でも対応や対策を実施します。 ・ 熱中症患者の初期対応用に経口補水液を常備します。 ・ 熱中症対策やけがの応急処置用に十分な量の水を確保します。
利用 促進	《評価できる点》 ・ 庭球場の直前キャンセル防止のため、5 面以上予約されている利用者に対し、2 週間前を目安に連絡を入れて確認をするようにしました。 ・ 個人利用者の利用を促進するため、バドミントン 1 面から利用できるよう体育館・武道館の部分貸しの細分化を図るとともに多目的練習室での卓球利用を可能としました。 ・ トレーニング室の新規利用者を対象とした新生活応援キャンペーンを実施し、トレーニング室の利用促進を図りました。 ・ SV リーグ等がキャンセルとなった日について、岡崎市スポーツ協会加盟団体にメールで空き状況の通知を行うとともに、各種クラブチームに空き状況の案内を行いました。 《今後の取り組み》 ・ 運動会利用を促進するため、市内の学校等に事例を紹介した案内チラシを送付します。

	・ 個人利用を促進するため、手ぶらで気軽にプレーできるよう、ボールやラケットの無料貸出を実施します。
情報提供	《評価できる点》 ・ 岡崎ゆかりのアスリートを紹介するアスリートギャラリーを総合体育館エントランス部分に設置し、ユニフォームやサインボール等を展示しました。 ・ 既存の Instagram、Facebook に加え、新たに X と LINE アカウントを開設しました。 《今後の取り組み》 ・ アスリートギャラリーの展示替えを行い、飽きさせない工夫を行ってまいります。 ・ SNS フォローキャンペーンを実施し、フォロワーを増やすことで発信力を高めてまいります。
教室プログラム	《評価できる点》 ・ 6 月よりナイトヨガを新設しました。 ・ 定例教室イベント(無料体験会)を開催し、今まで体験したことがない参加者を中心に教室 PR を行いました。 ・ 体育館、武道館等の利用で駐車場が混雑した日など、開始時間で受付終了の原則を緩和させ 10 分以内は入場を認めるなど救済措置を施しました。 《今後の取り組み》 ・ 来年度は、愛知・名古屋 2026 大会による施設休業期間があり、それに伴い教室プログラムも休止期間が発生します。再開時に休止前と同等の参加者を確保できるよう、休止期間中も SNS で教室紹介をコンスタントに行い、教室の魅力を PR してまいります。 ・ 新規参加者獲得に向けて、定例教室イベントを継続して実施してまいります。

(2) 利用者ニーズの把握に対する自己評価

項目	自己評価
施設維持管理	《評価できる点》 ・ 弓道場や相撲場などの専門施設などは、スポーツ協会加盟団体と協議を行い、老朽設備の更新・修繕を計画的に実施しました。 ・ 野球場はプロ野球、社会人野球、高校野球と芝生の刈込高やマウンド形成のニーズが異なるため専門業者が連携することにより、効率的かつ専門的な管理を行いました。 ・ 自然観察の里を維持管理するため、当法人が主体となり専門家協力のもと立ち上げた市民協働活動団体の活動を継続し、管理方針や管理方法などをニーズの聞き取りを行い、協力しながら環境保全と生態調査を行いました。 ・ 弓道場の矢取り道際の植栽において、毛虫が出るとのことから、定期的に殺虫剤を噴霧し防虫予防に努め、快適な競技環境を整えました。 ・ 健康の森をはじめ、園内の植栽パトロールを実施し、倒木等危険木の除去に努めました。 ・ 利用者ニーズに基づき、公園内の桜や花木類について、重点管理を行うことで植栽の維持保全に努めました。 ・ 施設・設備の日常及び定期点検から、軽微な修繕は直営で実施するとともに、定期点検で報告のあった異常はすみやかに適切な対応を図ることで、施設・設備の延命化を図りました。
	《今後の取り組み》 ・ 樹木医による定期診断を実施し、診断結果の良くない樹木については、継続診断・精密診断等を実施し、専門家の診断に基づく適正な管理を行います。 ・ 目標樹形シートを作成し、樹木の健全な育成を確認し、計画的な管理を行います。 ・ 「評価できる点」に記載した取り組みを継続実施しながら、安全安心かつ快適な施設運営を心がけてまいります。
事業運営	《評価できる点》 ー施設運営(サービス)ー ・ 長年の課題であったトレーニング室・教室プログラム利用者のための券売機を、新札対応機種に変更しました。 ・ 個人利用者の利便性を高めるため、体育館・武道館の部分貸しをバドミントン1面から利用できるよう細分化するとともに、多目的練習室で少人数の卓球が楽しめるようにしました。 ・ 競技観戦やイベント参加の個人が、来場中にスマートフォンの充電切れが生じた際に充電できるよう「スマホ充電」サービスを新たに始めました。 ・ 公園散策をより快適に楽しんでもらえるよう、ウォーキング・ランニングマップ、子ども向けマップ、星空ガイドを新たに作成するとともに、健康の森情報看板を設置しました。 ・ 夏季のバーベキュー広場は日中の炎天下を避けて利用されたい方も多く、ニーズに応じて引き続き終了時間を1時間延長して17時までとしました。

	－事業運営(イベント等)－ ・「仕事終わりにゆっくり体をほぐしたい」というニーズに応え、教室プログラムにナイトヨガを新設しました。 ・1泊2日で実施していた「中総かるキャン」を宿泊無しの1日間のスケジュールにすることで、ハードルを下げ、参加しやすい内容に変更しました。 ・自主事業は、子どもから大人、高齢者まで、様々な世代の方が参加できる世代のニーズに合った多様な教室事業を展開し、広く市民の健康維持増進に寄与しました。 ・自主事業参加者募集にはGoogleフォームによるネット申込を取り入れ、いつでもどこからでも応募できるようにすることで、利便性を高めました。 ・自主事業の広報には市政だよりの他、ホームページやSNSを有効的に活用し、広く周知に努めました。
	《今後の取り組み》 －施設運営(サービス)－ ・新たに設置した新券売機をキャッシュレス対応できるように設定します。 ・個人利用者に部分貸しや多目的練習室で卓球をできることなどを広く周知し、多くの市民に気軽に当施設を利用していただけるように努めます。 ・スマホ充電サービスについても、同様に「申請すれば個人でも充電できる」ことを一般来場者に周知してまいります。 ・公園散策を楽しんでいただくための4つのコンテンツを充実させ、来園するたびに新たな発見を楽しめるよう工夫します。 ・スポーツ施設の利用申請を従来の手書きの申請書から、パソコンで出力できるよう利用承認システムを導入し、利用者の負担軽減に繋がります。 －事業運営(イベント等)－ ・教室プログラムは、来年度開催の愛知・名古屋2026大会に伴う施設休業により、長期休止期間が確定しています。再開後に休止前同等の参加者数を確保できるよう、休止期間中もSNS発信等を通して事業のPRに努めてまいります。

(3) 苦情対応に対する自己評価

項目	自己評価
ソーラーカーポート工事に伴う苦情	《 苦情内容 》 ・ 運動広場駐車場にて、当初は4月13日頃工事終了となっていたのが、4月末頃まで延長されるかもしれないと聞いた。なぜそんなに工期が伸びるのか？工事業者の連絡先を知りたい。 ・ テニスコート第1駐車場の工事は3月中旬に終わる予定だったが4月25日の時点で終わっていない。3月中旬に終わる予定だったものが、なぜこんなに延びているのか。工事期間が変更になったのなら看板を修正すべき。 ・ 運動広場に保護者が子どもを送り届ける際に、工事業者に「ここに駐車してもらっては困る。すぐに移動させるように」とかなりキツイ言い方をされた。テニスロード入口付近にはその旨案内が無かったために運動広場まで進入したのに、なぜそんな言い方をされないといけないのか。また、人の往来がある中で、安全対策もされないまま工事をしていて大変危険な状況であったことも併せて伝えておく。 《 対応 》 ソーラーカーポート工事に伴う苦情が複数件ありました。受付窓口となる施設管理者として、意見を申し出られた方から丁寧な聞き取りを行い、施主であるゼロカーボンシティ推進課及び担当課にすみやかに報告し対応を依頼しました。
トレランフェス開催に伴う苦情	《 苦情内容 》 トレランフェスの準備期間が長過ぎる。赤色のテープを木々に付けていて景観を壊して見苦しい。健康の森散策路の至る所で通行止めをされていて、一般散策者を排除するような行為はいかがなものか。大会終了後も掲示物の取り忘れがあった。準備期間が長過ぎるために貼ったのも忘れてしまうのではないかな。 《 対応 》 意見を申し出られた方には、丁寧な聞き取りと謝罪をし、掲示物についてはすみやかに撤去しました。 次回開催の折には、準備期間と通行止めはなるべく最小限に留め、一般散策者に配慮した準備と大会運営に努めてまいります。